１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人真宗大谷学園

（２）大　学　名

大谷大学

（３）調査対象大学等の位置

〒６０３－８１４３
京都府京都市北区小山上総町２０番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（タジマ　ヒロシ） 但 馬　　弘 （平成２８年１２月１９日）		
学　　長	（キゴシ　ヤスシ） 木 越　　康 （平成２８年４月１日）		
学 部 長	（シドウ　シュウシ） 志 藤　修 史 （平成３０年４月１日）	（ノムラ　アキヒロ） 野村　明宏 （令和３年４月１日）	任期満了のため 令和３年４月１日 （３）
学科長等	（タカイ　ヤスヒロ） 髙 井　康 弘 （平成３０年４月１日）	（アベ　トシヒロ） 阿部　利洋 （令和２年４月１日）	任期満了のため 令和２年４月１日 （２）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和２年度に報告済の内容　→（２）
令和３年度に報告する内容　→（３）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
・　様式は、平成２９年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
社会学部 現代社会学科 学士（社会学）	社会学・社会福祉学関係	年 4	人 120	年次 人 －	人 480		

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 120 （　－　） ［　－　］	人	人 120 （　－　） ［　－　］	人	人 120 （　－　） ［　－　］	人	人 120 （　－　） ［　－　］	人	1.05倍	—倍	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	1466 （－） ［－］	－ （－） ［－］	1368 （－） ［－］	－ （－） ［－］	1432 （－） ［1］	－ （－） ［－］	930 （－） ［1］	－ （－） ［－］			
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	1435 （－） ［－］	－ （－） ［－］	1334 （－） ［－］	－ （－） ［－］	1390 （－） ［1］	－ （－） ［－］	890 （－） ［1］	－ （－） ［－］			
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	243 （－） ［－］	－ （－） ［－］	336 （－） ［－］	－ （－） ［－］	286 （－） ［1］	－ （－） ［－］	542 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	124 （－） ［－］	－ （－） ［－］	134 （－） ［－］	－ （－） ［－］	121 （－） ［1］	－ （－） ［－］	125 （－） ［－］	－ （－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		1.03		1.11		1.00		1.04				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	124 [－] (－)	－ [－] (－)	139 [－] (5)	－ [－] (－)	123 [1] (2)	－ [－] (－)	127 [－] (2)	－ [－] (－)	
２年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	118 [－] (－)	－ [－] (－)	135 [－] (4)	－ [－] (－)	124 [1] (7)	－ [－] (－)	
３年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	110 [－] (－)	－ [－] (－)	130 [－] (4)	－ [－] (－)	
４年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	103 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	— [－] (－)		124 [－] (－)		257 [－] (5)		368 [1] (6)		484 [1] (13)		

・令和３年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・［　　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成29年度	－ 人	－ 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
平成30年度	124 人	1 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	1 人	0 人	その他＜他大学受験＞(1人)
令和元年度	257 人	9 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	6 人	0 人	除籍(3人)、家庭の事情(1人)、その他＜進路変更＞(1人)、その他＜経済的事情＞(1人)
			令和元年度	3 人	0 人	その他＜進路変更＞(3人)
令和2年度	368 人	9 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	5 人	0 人	除籍(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、その他＜進路変更＞(3人)
			令和元年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和2年度	3 人	0 人	除籍(1人)、その他＜進路変更＞(2人)
令和3年度	484 人	0 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合　計		19 人		19 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = － / － = #VALUE! %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 1 / 124 = 0.8 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 9 / 257 = 3.5 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 9 / 368 = 2.44 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 0 / 484 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜社会学部　現代社会学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目	人間学Ⅰ	1前・後	4								兼3
		人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4								兼13
	大学導入	学びの発見	1前	2				1				
	必修外国語	英語Ⅰ	1前・後	4								兼9
		英語Ⅱ	2前・後	4								兼12
学科専門科目	演習	社会学演習Ⅰa	1前	2			4	3	1			
		社会学演習Ⅰb	1後	2			4	3	1			
		社会学演習Ⅱa	2前	2			4	2	2			
		社会学演習Ⅱb	2後	2			4	2	2			
		社会学演習Ⅲa	3前	2			4	2	2			
		社会学演習Ⅲb	3後	2			4	2	2			
		社会学演習Ⅳa	4前	2			6	1	1			
		社会学演習Ⅳb	4後	2			6	1	1			
	入門・概論	仏教社会論	2前	2								兼1
		社会学概論	2後	2				1				
		現代社会基礎	1前	2					1			
		社会学入門	1後	2			3					
	講義	現代社会論	1前		2			1				
		人間関係論	1前		2			1				
		心理学基礎	1・2後		2							兼1
		現代家族論	2前		2							兼1
		ジェンダーと社会	2後		2							兼1
		比較心理学	2・3前		2				1			
		社会心理学	3・4後		2							兼1
		現代社会とコミュニケーション	2後		2			1				
		教育社会学	3・4前		2							兼1
		個人と公共	1前		2			1				
		社会問題論	2後		2			1				
		地域社会論	1後		2			1				
		地域福祉論1	2前		2							兼1
		地域福祉論2	2後		2							兼1
		環境社会学	2・3前		2							兼1
		グローバリゼーション論	3前		2			1				
		市民活動論	1後		2							兼1
		ボランティア論	1前		2							兼1
		地方自治論	3前		2							兼1
		犯罪と社会	2前		2		1					
		現代文化論	1後		2		1					
		文化社会学	2・3後		2							兼1
		観光社会学	2・3前		2							兼1
		宗教と社会	2後		2							兼1
		大衆文化論	1・2前		2							兼1
		スポーツと社会	1・2後		2							兼1
		消費社会論	3・4前		2							兼1
		文化人類学	2・3前		2		1					
		アジア社会論	2・3後		2							兼1
		情報と倫理	1後		2							兼1
	講義	情報社会論	1後		2		1					
		情報技術論	2後		2							兼1
		社会思想史	3・4後		2							兼1
		社会学史	3・4前		2							兼1
		社会調査論	2・3前		2							兼1
	実践研究 A	社会統計基礎	1前	2			1		1			兼1
		フィールドワーク技法基礎	1後	2			2					
	実践研究 B	フィールドワーク入門1	2前		2		1		1			
		フィールドワーク入門2	2後		2		1		1			
		探究フィールドワーク1	3前		2			2	1			兼1
		探究フィールドワーク2	3後		2			2	1			兼1
		ソーシャル・ドキュメント分析1	3前		2		2					
		ソーシャル・ドキュメント分析2	3後		2		2					
		社会統計演習1	2前		2		1		1			
		社会統計演習2	2後		2		1		1			
		メディア・コミュニケーション分析1	3前		2		1					
		メディア・コミュニケーション分析2	3後		2		1					
		社会学文献講読（人間関係）1	2・3前		2		1					
		社会学文献講読（人間関係）2	2・3後		2		1					
		社会学文献講読（公共社会）1	2・3前		2			1				
		社会学文献講読（公共社会）2	2・3後		2			1				
		社会学文献講読（現代文化）1	2・3前		2		1					
		社会学文献講読（現代文化）2	2・3後		2		1					
		エスノグラフィ講読・作成1	3・4前		2		1					
		エスノグラフィ講読・作成2	3・4後		2							兼1
		文化人類学文献講読1	3・4前		2							兼1
		文化人類学文献講読2	3・4後		2							兼1
		社会情報学文献講読1	2・3・4前		2		1					
		社会情報学文献講読2	2・3・4後		2							兼1
		社会心理学文献講読1	3・4前		2							兼1
		社会心理学文献講読2	3・4後		2							兼1
	卒業研究	卒業研究	4通	8			6	1	1	0	0	

【令和３年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目	人間学Ⅰ	1前・後	4								兼3
		人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4								兼19
	大学導入	学びの発見	1前	2				1				
	必修外国語	英語Ⅰ	1前・後	4								兼7
		英語Ⅱ	2前・後	4								兼8
学科専門科目	演習	社会学演習Ⅰa	1前	2			4	3	1			
		社会学演習Ⅰb	1後	2			4	3	1			
		社会学演習Ⅱa	2前	2			4	3	1			
		社会学演習Ⅱb	2後	2			4	3	1			
		社会学演習Ⅲa	3前	2			4	3	1			
		社会学演習Ⅲb	3後	2			4	3	1			
		社会学演習Ⅳa	4前	2			6	2				
		社会学演習Ⅳb	4後	2			6	2				
	入門・概論	仏教社会論	2前	2								兼4
		社会学概論	2後	2				1				
		現代社会基礎	1前	2					1			
		社会学入門	1後	2			3					
	講義	現代社会論	1前		2			1				
		人間関係論	1前		2			1				
		心理学基礎	1・2後		2							兼1
		現代家族論	2前		2							兼1
		ジェンダーと社会	2後		2							兼1
		比較心理学	2・3前		2			1				
		社会心理学	3・4後		2							兼1
		現代社会とコミュニケーション	2後		2			1				
		教育社会学	3・4前		2							兼1
		個人と公共	1前		2			1				
		社会問題論	2後		2			1				
		地域社会論	1後		2			1				
		地域福祉論1	2前		2							兼1
		地域福祉論2	2後		2							兼1
		環境社会学	2・3前		2							兼1
		グローバリゼーション論	3前		2			1				
		市民活動論	1後		2							兼1
		ボランティア論	1前		2							兼1
		地方自治論	3前		2							兼1
		犯罪と社会	2前		2		1					
		現代文化論	1後		2		1					
		文化社会学	2・3後		2							兼1
		観光社会学	2・3前		2							兼1
		宗教と社会	2後		2							兼1
		大衆文化論（未開講）	1・2前		2							兼1
		スポーツと社会	1・2後		2							兼1
		消費社会論	3・4前		2							兼1
		文化人類学	2・3前		2							兼1
		アジア社会論	2・3後		2							兼1
		情報と倫理	1後		2							兼1
	講義	情報社会論	1後		2		1					
		情報技術論	2後		2							兼1
		社会思想史	3・4後		2							兼1
		社会学史	3・4前		2							兼1
		社会調査論	2・3前		2							兼1
	実践研究 A	社会統計基礎	1前	2			1	1				兼1
		フィールドワーク技法基礎	1後	2			1		1			
	実践研究 B	フィールドワーク入門1	2前		2		2		1			
		フィールドワーク入門2	2後		2		2		1			
		探究フィールドワーク1	3前		2			2				兼1
		探究フィールドワーク2	3後		2			2				兼1
		ソーシャル・ドキュメント分析1	3前		2		2					
		ソーシャル・ドキュメント分析2	3後		2		2					
		社会統計演習1	2前		2		1	1				
		社会統計演習2	2後		2		1	1				
		メディア・コミュニケーション分析1	3前		2		1					
		メディア・コミュニケーション分析2	3後		2		1					
		社会学文献講読（人間関係）1	2・3前		2		1					
		社会学文献講読（人間関係）2	2・3後		2		1					
		社会学文献講読（公共社会）1	2・3前		2			1				
		社会学文献講読（公共社会）2	2・3後		2			1				
		社会学文献講読（現代文化）1	2・3前		2		1					
		社会学文献講読（現代文化）2	2・3後		2		1					
		エスノグラフィ講読・作成1	3・4前		2		1					
		エスノグラフィ講読・作成2	3・4後		2							兼1
		文化人類学文献講読1	3・4前		2							兼1
		文化人類学文献講読2	3・4後		2							兼1
		社会情報学文献講読1	2・3・4前		2		1					
		社会情報学文献講読2	2・3・4後		2							兼1
		社会心理学文献講読1	3・4前		2							兼1
		社会心理学文献講読2	3・4後		2							兼1
	卒業研究	卒業研究	4通	8			6	2	0	0	0	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
現代総合科目	キャリア形成系科目	日本国憲法	1・2・3・4前・後		2							兼1
		発想から表現へ	1・2・3・4後		2							兼1
		思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
		日本語表現（入門）	1・2・3・4前・後		2							兼1
		日本語表現（実践）	2・3・4前		2							兼1
		探究基礎演習	1・2・3・4後		2							兼1
		ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
		ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
		インターンシップ1 大学コンソ京都	2・3後		2				1			
		インターンシップ2 大谷大学	1・2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
		キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
		ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
		ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
		PC利用による表計算入門	2・3・4前		2							兼1
		PC利用による表計算応用	2・3・4後		2							兼1
		PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
		PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
		画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
		画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
		PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
		PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
		Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
		Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
	自然生命系科目	生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
		自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
		地震と火山1	1・2・3・4前		2							兼1
		地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
		こころの科学	1・2前		2							兼1
		人間理解の心理学	1・2後		2							兼1
		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4後		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	1・2・3・4前		2							兼1
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼1
		中国の宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼1
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4前		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
合計(157科目)			－	54	270	0	6	3	2	0	0	兼89

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、入門・概論8単位、講義科目から40単位以上、
　実践研究[A]4単位、[B]16単位以上、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の
　単位として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、
　フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
現代総合科目	キャリア形成系科目	日本国憲法 1	1・2・3・4前		2							兼1
		日本国憲法 2	1・2・3・4後		2							兼1
		日本国憲法 3	1・2・3・4前		2							兼1
		発想から表現へ	1・2・3・4後		2							兼1
		思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
		日本語表現（入門）	1・2前・後		2							兼1
		日本語表現（実践）	2・3・4前		2							兼1
		探究基礎演習（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
		ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
		ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
		インターンシップ特殊演習1 大学コンソ京都	2・3後		2							兼1
		インターンシップ特殊演習2 大谷大学	1・2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
		キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
		ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
		ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
		PC利用による表計算入門	1・2・3・4前		2							兼1
		PC利用による表計算応用	1・2・3・4後		2							兼1
		PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
		PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
		画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
		画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
		PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
		PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
		Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
		Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
		フィールドワーク特殊演習（PBL）	1・2・3・4後		2							兼1
		青年と社会教育	2・3・4前		2							兼1
		社会福祉と社会教育	2・3・4前		2							兼1
	自然生命系科目	生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
		自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
		地震と火山1	1・2・3・4前		2							兼1
		地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
		こころの科学	1・2・3・4前		2							兼1
		人間理解の心理学	1・2・3・4後		2							兼1
		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4前		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	2・3・4後		2							兼1
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
		心理療法概論	2・3・4前		2							兼1
		心理療法と教育	2・3・4後		2							兼1
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化（未開講）	1・2・3・4後		2							兼2
		中国の宗教と文化（未開講）	1・2・3・4後		2							兼2
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4後		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4前		2							兼1
合計(164科目)			－	54	294	0	6	4	1	0	0	兼104

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、入門・概論8単位、講義科目から40単位以上、実践研究[A]4単位、[B]16単位以上、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の単位として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

【平成３０年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	1前・後	4								兼3
			人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4								兼13
	大学導入		学びの発見	1前	2					1			
	必修外国語		英語Ⅰ	1前・後	4								兼9
			英語Ⅱ	2前・後	4								兼12
学科専門科目	演習		社会学演習Ⅰa	1前	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅰb	1後	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅱa	2前	2			4	2	2			
			社会学演習Ⅱb	2後	2			4	2	2			
			社会学演習Ⅲa	3前	2			4	2	2			
			社会学演習Ⅲb	3後	2			4	2	2			
			社会学演習Ⅳa	4前	2			6	1	1			
			社会学演習Ⅳb	4後	2			6	1	1			
	入門・概論		仏教社会論	2前	2								兼1
			社会学概論	2後	2				1				
			現代社会基礎	1前	2					1			
			社会学入門	1後	2			3					
	講義		現代社会論	1前		2			1				
			人間関係論	1前		2			1				
			心理学基礎	1・2後		2							兼1
			現代家族論	2前		2							兼1
			ジェンダーと社会	2後		2							兼1
			比較心理学	2・3前		2				1			
			社会心理学	3・4後		2							兼1
			現代社会とコミュニケーション	2後		2			1				
			教育社会学	3・4前		2							兼1
			個人と公共	1前		2			1				
			社会問題論	2後		2			1				
			地域社会論	1後		2			1				
			地域福祉論1	2前		2							兼1
			地域福祉論2	2後		2							兼1
			環境社会学	2・3前		2							兼1
			グローバリゼーション論	3前		2			1				
			市民活動論	1後		2							兼1
			ボランティア論	1前		2							兼1
			地方自治論	3前		2							兼1
			犯罪と社会	2前		2		1					
			現代文化論	1後		2		1					
			文化社会学	2・3後		2							兼1
			観光社会学	2・3前		2							兼1
			宗教と社会	2後		2							兼1
			大衆文化論	1・2前		2							兼1
			スポーツと社会	1・2後		2							兼1
			消費社会論	3・4前		2							兼1
			文化人類学	2・3前		2		1					
			アジア社会論	2・3後		2							兼1
			情報と倫理	1後		2							兼1
	講義		情報社会論	1後		2		1					
			情報技術論	2後		2							兼1
			社会思想史	3・4後		2							兼1
			社会学史	3・4前		2							兼1
			社会調査論	2・3前		2							兼1
	実践研究	A	社会統計基礎	1前	2			1		1			兼1
			フィールドワーク技法基礎	1後	2			1		1			
		B	フィールドワーク入門1	2前		2		1		1			
			フィールドワーク入門2	2後		2		1		1			
			探究フィールドワーク1	3前		2			2	1			兼1
			探究フィールドワーク2	3後		2			2	1			兼1
			ソーシャル・ドキュメント分析1	3前		2		2					
			ソーシャル・ドキュメント分析2	3後		2		2					
			社会統計演習1	2前		2		1		1			
			社会統計演習2	2後		2		1		1			
			メディア・コミュニケーション分析1	3前		2		1					
			メディア・コミュニケーション分析2	3後		2		1					
			社会学文献講読（人間関係）1	2・3前		2		1					
			社会学文献講読（人間関係）2	2・3後		2		1					
			社会学文献講読（公共社会）1	2・3前		2			1				
			社会学文献講読（公共社会）2	2・3後		2			1				
			社会学文献講読（現代文化）1	2・3前		2		1					
			社会学文献講読（現代文化）2	2・3後		2		1					
			エスノグラフィ講読・作成1	3・4前		2		1					
			エスノグラフィ講読・作成2	3・4後		2							兼1
			文化人類学文献講読1	3・4前		2							兼1
			文化人類学文献講読2	3・4後		2							兼1
			社会情報学文献講読1	2・3・4前		2		1					
			社会情報学文献講読2	2・3・4後		2							兼1
			社会心理学文献講読1	3・4前		2							兼1
			社会心理学文献講読2	3・4後		2							兼1
	卒業研究		卒業研究	4通	8			6	1	1	0	0	
現代総合科目	キャリア形成系科目		日本国憲法	1・2・3・4前・後		2							兼1
			発想から表現へ	1・2・3・4前		2							兼1
			思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
			日本語表現（入門）	1・2前・後		2							兼1
			日本語表現（実践）	2・3・4後		2							兼1
			探究基礎演習	1・2・3・4後		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
			インターンシップ1 大学コンソ京都	2・3後		2				1			
			インターンシップ2 大谷大学	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
			キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用による表計算入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PC利用による表計算応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
	キャリア形成系科目		画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
			Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
			Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
	自然生命系科目		生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
			自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
			地震と火山1	1・2・3・4前		2							兼1
			地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
			地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
			こころの科学	1・2・3・4前		2							兼1
			人間理解の心理学	1・2・3・4後		2							兼1
			スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
			スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
			脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
			障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
			生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4後		2							兼1
			スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
			障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
			スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1

【令和元年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	1前・後	4								兼3
			人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4								兼18
	大学導入		学びの発見	1前	2				1				
	必修外国語		英語Ⅰ	1前・後	4								兼7
			英語Ⅱ	2前・後	4								兼8
学科専門科目	演習		社会学演習Ⅰa	1前	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅰb	1後	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅱa	2前	2			6	2				
			社会学演習Ⅱb	2後	2			6	2				
			社会学演習Ⅲa	3前	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅲb	3後	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅳa	4前	2			6	2				
			社会学演習Ⅳb	4後	2			6	2				
	入門・概論		仏教社会論	2前	2								兼4
			社会学概論	2後	2				1				
			現代社会基礎	1前	2					1			
			社会学入門	1後	2			3					
	講義		現代社会論	1前		2			1				
			人間関係論	1前		2			1				
			心理学基礎	1・2後		2							兼1
			現代家族論	2前		2							兼1
			ジェンダーと社会	2後		2							兼1
			比較心理学	2・3前		2			1				
			社会心理学	3・4後		2							兼1
			現代社会とコミュニケーション	2後		2			1				
			教育社会学	3・4前		2							兼1
			個人と公共	1前		2			1				
			社会問題論	2後		2			1				
			地域社会論	1後		2			1				
			地域福祉論1	2前		2							兼1
			地域福祉論2	2後		2							兼1
			環境社会学	2・3前		2							兼1
			グローバリゼーション論	3前		2			1				
			市民活動論	1後		2							兼2
			ボランティア論	1前		2							兼1
			地方自治論	3前		2							兼1
			犯罪と社会	2前		2		1					
			現代文化論	1後		2		1					
			文化社会学	2・3後		2							兼1
			観光社会学	2・3前		2							兼1
			宗教と社会	2後		2							兼1
			大衆文化論	1・2前		2							兼1
			スポーツと社会	1・2後		2							兼1
			消費社会論	3・4前		2							兼1
			文化人類学	2・3前		2			1				
			アジア社会論	2・3後		2							兼1
			情報と倫理	1後		2							兼1
	講義		情報社会論	1後		2		1					
			情報技術論	2後		2							兼1
			社会思想史	3・4後		2							兼1
			社会学史	3・4前		2							兼1
			社会調査論	2・3前		2							兼1
	実践研究	A	社会統計基礎	1前	2			1	1				兼1
			フィールドワーク技法基礎	1後	2			1		1			
		B	フィールドワーク入門1	2前		2		1	1	1			
			フィールドワーク入門2	2後		2		1	1	1			
			探究フィールドワーク1	3前		2			2	1			兼1
			探究フィールドワーク2	3後		2			2	1			兼1
			ソーシャル・ドキュメント分析1	3前		2		2					
			ソーシャル・ドキュメント分析2	3後		2		2					
			社会統計演習1	2前		2		1	1				
			社会統計演習2	2後		2		1	1				
			メディア・コミュニケーション分析1	3前		2		1					
			メディア・コミュニケーション分析2	3後		2		1					
			社会学文献講読（人間関係）1	2・3前		2		1					
			社会学文献講読（人間関係）2	2・3後		2		1					
			社会学文献講読（公共社会）1	2・3前		2			1				
			社会学文献講読（公共社会）2	2・3後		2			1				
			社会学文献講読（現代文化）1	2・3前		2		1					
			社会学文献講読（現代文化）2	2・3後		2		1					
			エスノグラフィ講読・作成1	3・4前		2		1					
			エスノグラフィ講読・作成2	3・4後		2							兼1
			文化人類学文献講読1	3・4前		2							兼1
			文化人類学文献講読2	3・4後		2							兼1
			社会情報学文献講読1	2・3・4前		2		1					
			社会情報学文献講読2	2・3・4後		2							兼1
			社会心理学文献講読1	3・4前		2							兼1
			社会心理学文献講読2	3・4後		2							兼1
	卒業研究		卒業研究	4通	8			6	2	0	0	0	
現代総合科目	キャリア形成系科目		日本国憲法1	1・2・3・4前		2							兼1
			日本国憲法2	1・2・3・4後		2							兼1
			日本国憲法3	1・2・3・4前		2							兼1
			発想から表現へ	1・2・3・4後		2							兼1
			思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
			日本語表現（入門）	1・2前・後		2							兼1
			日本語表現（実践）	2・3・4前		2							兼1
			探究基礎演習	1・2・3・4後		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
			インターンシップ1 大学コンソ京都	2・3後		2							兼1
			インターンシップ2 大谷大学	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
			キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用による表計算入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PC利用による表計算応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
	キャリア形成系科目		画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
			Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
			Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
	自然生命系科目		生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
			自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
			地震と火山1	1・2・3・4前		2							兼1
			地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
			地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
			こころの科学	1・2・3・4前		2							兼1
			人間理解の心理学	1・2・3・4後		2							兼1
			スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
			スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
			脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
			障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
			生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4前		2							兼1
			スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
			障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
			スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	2・3・4前		2							兼1
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化	1・2・3・4後		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼1
		中国の宗教と文化（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4後		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
合計（157科目）			－	54	270	0	6	3	2	0	0	兼89

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、入門・概論8単位、講義科目から40単位以上、
　実践研究[A]4単位、[B]16単位以上、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の
　単位として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、
　フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	2・3・4後		2							兼1
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化	1・2・3・4後		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼2
		中国の宗教と文化（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4後		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
合計（159科目）			－	54	274	0	6	4	1	0	0	兼98

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、入門・概論8単位、講義科目から40単位以上、
　実践研究[A]4単位、[B]16単位以上、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の
　単位として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、
　フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	1前・後	4								兼3
			人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4								兼19
	大学導入		学びの発見	1前	2				1				
	必修外国語		英語Ⅰ	1前・後	4								兼7
			英語Ⅱ	2前・後	4								兼8
学科専門科目	演習		社会学演習Ⅰa	1前	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅰb	1後	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅱa	2前	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅱb	2後	2			4	3	1			
			社会学演習Ⅲa	3前	2			6	2				
			社会学演習Ⅲb	3後	2			6	2				
			社会学演習Ⅳa	4前	2			6	2				
			社会学演習Ⅳb	4後	2			6	2				
	入門・概論		仏教社会論	2前	2								兼4
			社会学概論	2後	2				1				
			現代社会基礎	1前	2					1			
			社会学入門	1後	2			3					
	講義		現代社会論	1前		2			1				
			人間関係論	1前		2			1				
			心理学基礎	1・2後		2							兼1
			現代家族論	2前		2							兼1
			ジェンダーと社会	2後		2							兼1
			比較心理学	2・3前		2			1				
			社会心理学	3・4後		2							兼1
			現代社会とコミュニケーション	2後		2			1				
			教育社会学	3・4前		2							兼1
			個人と公共	1前		2			1				
			社会問題論	2後		2			1				
			地域社会論	1後		2			1				
			地域福祉論1	2前		2							兼1
			地域福祉論2	2後		2							兼1
			環境社会学	2・3前		2							兼1
			グローバリゼーション論	3前		2			1				
			市民活動論	1後		2							兼2
			ボランティア論	1前		2							兼1
			地方自治論	3前		2							兼1
			犯罪と社会	2前		2		1					
			現代文化論	1後		2		1					
			文化社会学	2・3後		2							兼1
			観光社会学	2・3前		2							兼1
			宗教と社会	2後		2							兼1
			大衆文化論	1・2前		2							兼1
			スポーツと社会	1・2後		2							兼1
			消費社会論	3・4前		2							兼1
			文化人類学	2・3前		2			1				
			アジア社会論	2・3後		2							兼1
			情報と倫理	1後		2							兼1
	講義		情報社会論	1後		2		1					
			情報技術論	2後		2							兼1
			社会思想史	3・4後		2							兼1
			社会学史	3・4前		2							兼1
			社会調査論	2・3前		2							兼1
	実践研究	A	社会統計基礎	1前	2			1	1				兼1
			フィールドワーク技法基礎	1後	2			1		1			
		B	フィールドワーク入門1	2前		2		1	1	1			
			フィールドワーク入門2	2後		2		1	1	1			
			探究フィールドワーク1	3前		2			2	1			兼1
			探究フィールドワーク2	3後		2			2	1			兼1
			ソーシャル・ドキュメント分析1	3前		2		2					
			ソーシャル・ドキュメント分析2	3後		2		2					
			社会統計演習1	2前		2		1	1				
			社会統計演習2	2後		2		1	1				
			メディア・コミュニケーション分析1	3前		2		1					
			メディア・コミュニケーション分析2	3後		2		1					
			社会学文献講読（人間関係）1	2・3前		2		1					
			社会学文献講読（人間関係）2	2・3後		2		1					
			社会学文献講読（公共社会）1	2・3前		2			1				
			社会学文献講読（公共社会）2	2・3後		2			1				
			社会学文献講読（現代文化）1	2・3前		2		1					
			社会学文献講読（現代文化）2	2・3後		2		1					
			エスノグラフィ講読・作成1	3・4前		2		1					
			エスノグラフィ講読・作成2	3・4後		2							兼1
			文化人類学文献講読1	3・4前		2							兼1
			文化人類学文献講読2	3・4後		2							兼1
			社会情報学文献講読1	2・3・4前		2		1					
			社会情報学文献講読2	2・3・4後		2							兼1
			社会心理学文献講読1	3・4前		2							兼1
			社会心理学文献講読2	3・4後		2							兼1
	卒業研究		卒業研究	4通	8			6	2	0	0	0	
現代総合科目	キャリア形成系科目		日本国憲法1	1・2・3・4前		2							兼1
			日本国憲法2	1・2・3・4後		2							兼1
			日本国憲法3	1・2・3・4前		2							兼1
			発想から表現へ	1・2・3・4後		2							兼1
			思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
			日本語表現（入門）	1・2前・後		2							兼1
			日本語表現（実践）	2・3・4前		2							兼1
			探究基礎演習（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
			インターンシップ1 大学コンソ京都（未開講）	2・3後		2							兼1
			インターンシップ2 大谷大学（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
			キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用による表計算入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PC利用による表計算応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
			Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
			Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
			フィールドワーク特殊演習（PBL）	1・2・3・4後		2							兼1
			青年と社会教育	2・3・4前		2							兼1
			社会福祉と社会教育	2・3・4後		2							兼1
	自然生命系科目		生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
			自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
			地震と火山1	1・2・3・4前		2							兼1
			地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
			地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
			こころの科学	1・2・3・4前		2							兼1
			人間理解の心理学	1・2・3・4後		2							兼1
			スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
			スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
			脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
			障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
			生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4前		2							兼1
			スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
			障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
			スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
			障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
			カウンセリング	2・3・4後		2							兼1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4**後**		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
		心理療法概論	**2・3・4前**		**2**							**兼1**
		心理療法と教育	**2・3・4後**		**2**							**兼1**
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化	1・2・3・4**後**		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼**2**
		中国の宗教と文化**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼**2**
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4**後**		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
合計（**184**科目）			－	54	**284**	0	6	**4**	**1**	0	0	兼**104**

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、入門・概論8単位、講義科目から40単位以上、
　実践研究[A]4単位、[B]16単位以上、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の
　単位として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、
　フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を
　黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
　（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、
　「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・専任担当者の担当コマ数の事情（旧学科科目の担当開講科目数の増加）により別の専任教員に担当を変更。
「学びの発見」　准教授→講師
「フィールドワーク技法基礎」　教授→講師
・前年度受講者の状況や要望、兼任担当者の事情等を勘案した受講対象学年・開講期別の変更
「発想から表現」　後期→前期
「日本語表現（入門）」　1・2・3・4→1・2
「日本語表現（実践）」　前期→後期
「PC利用による表計算入門」　2・3・4→1・2・3・4
「PC利用による表計算応用」　2・3・4→1・2・3・4
「こころの科学」　1・2→1・2・3・4
「人間理解の心理学」　1・2→1・2・3・4
「カウンセリング」　1・2・3・4→2・3・4
「東アジアの宗教文化」　前期→後期
「アイヌ民族と共に」　前期→後期

【令和元年度】

・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことによる変更。
「人間学Ⅱ」：兼13→兼18、「日本国憲法」→「日本国憲法１・２・３」兼1
・受講人数の適正化、教育の質保証を図るために科目担当教員数を増加したことによる変更。
「仏教社会論」：兼1→兼4、「市民活動論」：兼1→兼2、「フィールドワーク入門１・２」：教授1・講師1→教授1・准教授1・講師1、
「インドの宗教と文化」：兼1→兼2
・専任担当者の昇格（講師→准教授）による変更。
「学びの発見」：講師1→准教授1、「社会学演習Ⅲａ」・「社会学演習Ⅲｂ」：教授4・准教授2・講師2→教授4・准教授3・講師1、
「社会学演習Ⅳａ」・「社会学演習Ⅳｂ」：教授6・准教授1・講師1→教授6・准教授2、「比較心理学」：講師1→准教授1、
「社会統計基礎」：教授1・講師1・兼1→教授1・准教授1・兼1、「社会統計演習１・２」：教授1・講師1→教授1・准教授1、
「卒業研究」：教授6・准教授1・講師1→教授6・准教授2
・専任担当者の担当コマ数の事情（旧学科科目の担当開講科目数の増加）により別の専任教員に担当を変更。
「社会学演習Ⅱａ」、「社会学演習Ⅱｂ」：教授4・准教授2・講師2→教授6・准教授2、「文化人類学」：教授1→准教授1、
「インターンシップ１大学コンソ京都」：講師1→兼1
・兼任担当者の就任辞退に伴う担当者変更による変更。
「英語Ⅰ」：兼9→兼7、「英語Ⅱ」：兼12→兼8、「生涯スポーツ・レクリエーション活動」：後期→前期
・前年度の誤記・修正漏れ
「発想から表現へ」：前期→後期、「日本語表現（実践）」：後期→前期、「カウンセリング」：前期→後期

【令和２年度】

・担当者交代に伴う変更
「人間学Ⅱ」　兼18→兼19（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「社会学演習Ⅱａ・ｂ」　教授6、准教授2→教授4、准教授3、講師1（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「社会学演習Ⅲａ・ｂ」　教授4、准教授3、講師1→教授6、准教授2（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「中国の宗教と文化」　兼1→兼2（担当教員の持ちコマ調整による変更）

・授業科目の新規開設
「青年と社会教育」、「社会福祉と社会教育」、「心理療法概論」、「心理療法と教育」（2020年社会教育課程法改正に対応）
「フィールドワーク特殊演習（PBL）」（「京都市京セラ美術館」をフィールドとしたPBL科目の新規開設）

・開講期別変更
「人間関係と身体表現」：前期→後期（担当教員の体調不良による変更）

【令和３年度】

・担当者交代に伴う変更
「社会学演習Ⅲａ・ｂ」　教授6、准教授2→教授4、准教授3、講師1（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「市民活動論」　兼2→兼1（担当教員の退職による変更）
「文化人類学」　准教授1→兼1（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「フィールドワーク入門１・２」　教授1、准教授1、講師1→教授2、講師1（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「探究フィールドワーク入門１・２」　准教授2、講師1、兼任1→准教授2、兼任1（担当教員の持ちコマ調整による変更）

・授業名称の変更
「インターンシップ１大学コンソ京都」　→　「インターンシップ特殊演習１大学コンソ京都」
「インターンシップ２大谷大学」　→　「インターンシップ特殊演習２大谷大学」

・開講期別変更
「社会福祉と社会教育」：後期→前期（担当教員（兼任）の本務先都合による担当辞退に伴う担当者変更により）
「人間関係と身体表現」：後期→前期（担当教員（兼担）の体調不良により20年度に期別変更を行ったが、21年度より当初に届出ていた期別に戻した）
「仏教福祉論」：後期→前期（担当教員（兼任）の本務先都合により）

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
148 科目	141 科目	0 科目	289 科目	148 科目 [0]	154 科目 [13]	0 科目 [0]	302 科目 [13]	・共通基礎科目「人間学Ⅱ」を6科目増設 ・現代総合科目「日本国憲法」を2科目増設 ・現代総合科目「青年と社会教育」など5科目増設

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	大衆文化論	2	1・2	専門	選択	担当教員（兼任）の本務校決定による転居に伴う出講不可により（申出時期が3月であったため後任人事を進める日程的な余裕がなかったため）
2	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
3	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
4	東アジアの宗教文化	2	1・2・3・4	一般	選択	担当教員（兼担）の在外研究により
5	インドの宗教と文化	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
6	中国の宗教と文化	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生向け情報提供システムにて学生へ周知を行った。

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{6}{289} = 2.07\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	~~0.00 ㎡~~ 41,194.92 ㎡	~~44,452.60 ㎡~~ ~~41,194.92 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~44,452.60 ㎡~~ 41,194.92 ㎡	~~大谷大学短期大学部と共用~~ 大谷大学短期大学部の廃止によるもの（在籍者0名のため廃止認可申請中）（3） 旧学寮敷地を、建物譲渡特約付定期借地契約したことによるもの（3） 用途変更及び湖西キャンパス人工芝化工事の際の再測量結果によるもの（2）
	運動場用地	~~0.00 ㎡~~ 23,655.48 ㎡	~~29,680.12 ㎡~~ ~~23,655.48 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~29,680.12 ㎡~~ 23,655.48 ㎡	
	小計	~~0.00 ㎡~~ 64,850.40 ㎡	~~74,132.72 ㎡~~ ~~64,850.40 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~74,132.72 ㎡~~ 64,850.40 ㎡	
	その他	~~0.00 ㎡~~ 20,084.21 ㎡	~~11,464.30 ㎡~~ ~~20,746.62 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~11,464.30 ㎡~~ ~~20,746.62 ㎡~~ 20,084.21 ㎡	
	合計	~~0.00 ㎡~~ 84,934.61 ㎡	~~85,597.02 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~85,597.02 ㎡~~ 84,934.61 ㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		~~6,236.11 ㎡~~ ~~6,160.94 ㎡~~ ~~6,136.29 ㎡~~ ~~6,444.66 ㎡~~ 53,597.58 ㎡ ~~(6,236.11 ㎡)~~ ~~(6,160.94 ㎡)~~ ~~(6,136.29 ㎡)~~ ~~(6,444.66 ㎡)~~ (53,597.58 ㎡)	~~47,260.21 ㎡~~ ~~46,989.56 ㎡~~ ~~47,117.63 ㎡~~ ~~46,999.11 ㎡~~ 0.00 ㎡ ~~(47,260.21 ㎡)~~ ~~(46,989.56 ㎡)~~ ~~(47,117.63 ㎡)~~ ~~(46,999.11 ㎡)~~ (0.00 ㎡)	~~450.46 ㎡~~ ~~447.08 ㎡~~ ~~343.66 ㎡~~ ~~153.81 ㎡~~ 0.00 ㎡ ~~(450.46 ㎡)~~ ~~(447.08 ㎡)~~ ~~(343.66 ㎡)~~ ~~(153.81 ㎡)~~ (0.00 ㎡)	~~53,946.78 ㎡~~ 53,597.58 ㎡ ~~(53,946.78 ㎡)~~ (53,597.58 ㎡)	~~大谷大学短期大学部と共用~~ 大谷大学短期大学部の廃止によるもの（3） 教員の所属変更に伴う変更（元）（2）

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	61 ~~63~~ ~~65~~ 室	52 ~~49~~ 室	60 ~~40~~ 室	8 室 （補助職員 0人）	1 ~~0~~ 室 （補助職員 1人）	大学全体 科目開講実態に対応した環境整備による変更(30) 大谷大学短期大学部の廃止によるもの（3）

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	社会学部　現代社会学科	11 室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	社会学部 現代社会学科	889,727〔186,467〕 ~~882,796〔181,621〕~~ (891,286〔185,507〕) ~~(882,729〔185,538〕)~~ ~~(875,757〔181,467〕)~~ ~~(863,572〔181,405〕)~~ ~~(846,796〔176,621〕)~~	6,648〔645〕 ~~6,561〔667〕~~ (6,653〔640〕) ~~(6,640〔640〕)~~ ~~(6,503〔640〕)~~ ~~(6,479〔640〕)~~ ~~(6,481〔647〕)~~	115〔0〕 ~~589〔530〕~~ (115〔 0〕) ~~(116〔 0〕)~~ ~~(589〔530〕)~~	2,100 (2,126) ~~(2,107)~~ ~~(2,088)~~ ~~(2,078)~~ ~~(2,080)~~	30 (30)	0 (0)	大学全体、大谷大学短期大学部との共用 ①学術雑誌：重複登録雑誌を除外したため(30) ②電子ジャーナル：利用実態を勘案し、契約更新時に一部解約したため(30) ③視聴覚資料：再生不能になった資料を除却したため(30) ④図書・学術雑誌：国際学部新設のため図書の増設があり、完成年度の見込み数が増加したため（2） ⑤電子ジャーナル：購読誌数増加の見込みがないため（2） ⑥外国書：英語以外の言語圏の図書の希望が減少し想定増加数が鈍化したため。（3） ⑦学術雑誌：重複雑誌登録を除外したため。（3）
	計	889,727〔186,467〕 ~~882,796〔181,621〕~~ (891,286〔185,507〕) ~~(882,729〔185,538〕)~~ ~~(875,757〔181,467〕)~~ ~~(863,572〔181,405〕)~~ ~~(846,796〔176,621〕)~~	6,648〔645〕 ~~6,561〔667〕~~ (6,653〔640〕) ~~(6,640〔640〕)~~ ~~(6,503〔640〕)~~ ~~(6,479〔640〕)~~ ~~(6,481〔647〕)~~	115〔0〕 ~~589〔530〕~~ (115〔 0〕) ~~(116〔 0〕)~~ ~~(589〔530〕)~~	2,100 (2,126) ~~(2,107)~~ ~~(2,088)~~ ~~(2,078)~~ ~~(2,080)~~	30 (30)	0 (0)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	7,604.82 ㎡	588	1,115,833

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	4,857.06 ㎡	柔道場	弓道場

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員１人当り研究費等	350 千円	350 千円	図書購入費	~~65,970 千円~~ 52,458 千円	~~65,000 千円~~ ~~63,028 千円~~ 55,917 千円	~~65,000 千円~~ 62,689 千円	共同研究費等は大学全体。 図書購入費、設備購入費は、大谷大学短期大学部との共用図書および設備として購入。 図書費には、電子ジャーナル・データベースの整備費を含む。
	共同研究費等	~~80,000 千円~~ 54,167 千円	~~80,000 千円~~ 76,446 千円	設備購入費	~~38,300 千円~~ 40,150 千円	~~8,000 千円~~ ~~39,836 千円~~ 32,614 千円	~~8,000 千円~~ 10,997 千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
	1,190 千円	1,140 千円	1,140 千円	1,140 千円	－ 千円	－ 千円	図書購入費および設備購入費の増減は、執行の見直しおよび予算額の変更による。（30） 共同研究費等、図書購入費および設備購入費の減額は、執行の見直しによる。（元） 共同研究費等、図書購入費および設備購入費の増減は、予算額の変更による。（3）

学生納付金以外の維持方法の概要	手数料、寄付金、補助金、受取利息・配当金収入等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和３年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	大谷大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
社会学部	4	220	－	880	－	1.03	0.95	－	平成30年度	－	
現代社会学科	4	120	－	480	学士（社会学）	1.05	1.04	－	平成30年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	
ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	100	－	400	学士（社会学）	1.01	0.86	－	平成30年度	同上	
教育学部	4	130	－	520	－	1.02	1.03	－	平成30年度	－	
教育学科	4	130	－	520	学士（教育学）	1.02	1.03	－	平成30年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	
初等教育コース	4	50	－	200	学士（教育学）	1.08	1.06	－	平成30年度	同上	
幼児教育コース	4	80	－	320	学士（教育学）	0.99	1.01	－	平成30年度	同上	
文学部	4	318	－	1,246	－	1.04	0.99	－	昭和24年度	－	
真宗学科	4	60	－	240	学士（文学）	0.98	0.96	－	昭和40年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	
仏教学科	4	25	－	100	学士（文学）	0.89	0.64	－	昭和24年度	同上	
哲学科	4	50	－	200	学士（文学）	1.19	1.16	－	昭和24年度	同上	
社会学科	4	－	－	－	学士（社会学）	－	－	－	昭和40年度	同上	平成30年学生募集停止
歴史学科	4	105	－	410	学士（文学）	1.04	1.05	令和２年度	昭和40年度	同上	定員変更（5）
文学科	4	78	－	296	学士（文学）	1.03	0.92	令和２年度	昭和40年度	同上	定員変更（8）
国際文化学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成 5年度	同上	令和3年学生募集停止
人文情報学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成12年度	同上	平成30年学生募集停止
教育・心理学科	4	－	－	－	学士（教育学）	－	－	－	平成21年度	同上	平成30年学生募集停止
国際学部	4	100	－	100	－	1.03	1.03	－	令和3年度	－	
国際文化学科	4	100	－	100	学士（文学）	1.03	1.03	令和3年度	令和3年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	定員変更（10）

大学の名称	大谷大学大学院						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
文学研究科											
真宗学専攻			－								
（修士課程）	2	20	－	40	修士（文学）	0.75	0.60	－	昭和28年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.88	0.66	－	昭和30年度		
仏教学専攻			－								
（修士課程）	2	15	－	30	修士（文学）	0.06	0.06	－	昭和28年度	同上	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.55	1.00	－	昭和30年度		
哲学専攻			－								
（修士課程）	2	10	－	20	修士（文学）	0.00	0.00	－	昭和29年度	同上	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.00	0.00	－	昭和31年度		
社会学専攻			－								
（博士後期課程）	3	－	－	－	博士（文学）	－	－	－	平成13年度	同上	令和2年学生募集停止
仏教文化専攻			－								
（修士課程）	2	10	－	20	修士（文学）	0.60	0.20	－	昭和29年度	同上	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.00	0.00	－	昭和31年度		
国際文化専攻			－								
（修士課程）	2	10	－	20	修士（文学）	0.00	0.00	－	平成11年度	同上	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.00	0.00	－	平成13年度		
教育･心理学専攻			－								
（修士課程）	2	8	－	16	修士（教育学）	0.12	0.00	－	平成25年度	同上	

大学の名称	大谷大学短期大学部						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
幼児教育保育科	2	－	－	－	短期大学士（幼児教育保育学）	－	－	－	昭和24年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	平成31年学生募集停止

大 学 の 名 称	九州大谷短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備　　考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定　員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所　在　地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
仏教学科	2	10	－	20	短期大学士（仏教学）	0.65	0.60	－	昭和45年度	福岡県筑後市蔵数495-1	
表現学科	2	65	－	130	短期大学士（表現学）	0.66	0.56	－	昭和45年度	同上	定員変更（15）
幼児教育学科	2	100	－	200	短期大学士（幼児教育学）	0.75	0.82	－	昭和45年度	同上	
福祉学科	2	20	－	40	短期大学士（介護福祉学）	0.50	0.45	－	平成11年度	同上	定員変更（△15）

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

＜社会学部　現代社会学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	滝口　直子 (62) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 文化人類学 フィールドワーク技法基礎 社会学文献講読（人間関係）1 社会学文献講読（人間関係）2 卒業研究
専	教授	髙井　康弘 (61) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb フィールドワーク技法基礎 フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 社会学文献講読（現代文化）2 エスノグラフィ講読・作成1 卒業研究
専	教授	脇中　洋 (58) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 犯罪と社会 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究
専	教授	柴田　みゆき (54) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 情報社会論 社会統計基礎 メディア・コミュニケーション分析1 メディア・コミュニケーション分析2 社会情報学文献講読1 卒業研究
専	教授	野村　明宏 (47) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 現代文化論 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 社会学文献講読（現代文化）1 卒業研究
専	教授	阿部　利洋 (44) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 卒業研究

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	滝口　直子 (62) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 文化人類学 フィールドワーク技法基礎 社会学文献講読（人間関係）1 社会学文献講読（人間関係）2 卒業研究
専	教授	髙井　康弘 (61) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb （削除） フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 社会学文献講読（現代文化）2 エスノグラフィ講読・作成1 卒業研究
専	教授	脇中　洋 (58) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 犯罪と社会 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究
専	教授	柴田　みゆき (54) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 情報社会論 社会統計基礎 メディア・コミュニケーション分析1 メディア・コミュニケーション分析2 社会情報学文献講読1 卒業研究
専	教授	野村　明宏 (48) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 現代文化論 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 社会学文献講読（現代文化）1 卒業研究
専	教授	阿部　利洋 (45) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 卒業研究

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	滝口　直子 (63) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 （削除） フィールドワーク技法基礎 社会学文献講読（人間関係）1 社会学文献講読（人間関係）2 卒業研究
専	教授	髙井　康弘 (62) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb （削除） フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 社会学文献講読（現代文化）2 エスノグラフィ講読・作成1 卒業研究
専	教授	脇中　洋 (59) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 犯罪と社会 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究
専	教授	柴田　みゆき (55) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 情報社会論 社会統計基礎 メディア・コミュニケーション分析1 メディア・コミュニケーション分析2 社会情報学文献講読1 卒業研究
専	教授	野村　明宏 (49) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 現代文化論 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 社会学文献講読（現代文化）1 卒業研究
専	教授	阿部　利洋 (46) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 卒業研究

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	滝口　直子 (64) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb （削除） （削除） 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 （削除） フィールドワーク技法基礎 社会学文献講読（人間関係）1 社会学文献講読（人間関係）2 卒業研究
専	教授	髙井　康弘 (63) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb （削除） （削除） 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb （削除） フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 社会学文献講読（現代文化）2 エスノグラフィ講読・作成1 卒業研究
専	教授	脇中　洋 (60) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 犯罪と社会 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究
専	教授	柴田　みゆき (56) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 情報社会論 社会統計基礎 メディア・コミュニケーション分析1 メディア・コミュニケーション分析2 社会情報学文献講読1 卒業研究
専	教授	野村　明宏 (50) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 現代文化論 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 社会学文献講読（現代文化）1 卒業研究
専	教授	阿部　利洋 (47) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 卒業研究

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	滝口　直子 (65) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb （削除） （削除） （削除） （削除） 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 （削除） フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 フィールドワーク技法基礎 社会学文献講読（人間関係）1 社会学文献講読（人間関係）2 卒業研究
専	教授	髙井　康弘 (64) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb （削除） （削除） （削除） （削除） 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb （削除） フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 社会学文献講読（現代文化）2 エスノグラフィ講読・作成1 卒業研究
専	教授	脇中　洋 (61) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 犯罪と社会 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究
専	教授	柴田　みゆき (57) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 情報社会論 社会統計基礎 メディア・コミュニケーション分析1 メディア・コミュニケーション分析2 社会情報学文献講読1 卒業研究
専	教授 （学術長）	野村　明宏 (51) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 現代文化論 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 社会学文献講読（現代文化）1 卒業研究
専	教授	阿部　利洋 (48) ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 社会学入門 ソーシャル・ドキュメント分析1 ソーシャル・ドキュメント分析2 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	田中　正隆 （50） ＜平成30年4月＞	学びの発見 社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論 社会学文献講読（公共社会）2
専	准教授	徳田　剛 （46） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学概論 個人と公共 社会問題論 地域社会論 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 社会学文献講読（公共社会）1
専	准教授	渡邊　拓也 （43） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 人間関係論 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 卒業研究
専	講師	高橋　真 （40） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 比較心理学 社会統計基礎 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究 インターンシップ1大学コンソ京都
専	講師	古谷　伸子 （39） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 現代社会基礎 フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2
兼担	教授	ロバート　ローズ （64） ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	織田　顕祐 （63） ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	朴　一　功 （64） ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）
兼担	教授	山下　憲昭 （62） ＜平成30年4月＞	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	田中　正隆 （50） ＜平成30年4月＞	（削除） 社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論 社会学文献講読（公共社会）2
専	准教授	徳田　剛 （46） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学概論 個人と公共 社会問題論 地域社会論 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 社会学文献講読（公共社会）1
専	准教授	渡邊　拓也 （43） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 人間関係論 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 卒業研究
専	講師	高橋　真 （41） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 比較心理学 社会統計基礎 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究 インターンシップ1大学コンソ京都 学びの発見
専	講師	古谷　伸子 （39） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 現代社会基礎 フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 フィールドワーク技法基礎
兼担	教授	ロバート　ローズ （64） ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	荒瀬　克己 （64） ＜平成30年4月＞	探究基礎演習
兼担	教授	織田　顕祐 （63） ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	朴　一　功 （64） ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）
兼担	教授	山下　憲昭 （62） ＜平成30年4月＞	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2 市民活動論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	田中　正隆 （51） ＜平成30年4月＞	（削除） 社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb （削除） （削除） 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論 文化人類学 社会学文献講読（公共社会）2
専	准教授	徳田　剛 （47） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学概論 個人と公共 社会問題論 地域社会論 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 社会学文献講読（公共社会）1
専	准教授	渡邊　拓也 （44） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 人間関係論 フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 卒業研究
専	准教授	高橋　真 （42） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 比較心理学 社会統計基礎 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究 （削除） 学びの発見
専	講師	古谷　伸子 （40） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb （削除） （削除） 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 現代社会基礎 フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 フィールドワーク技法基礎
兼任	講師	ロバート　ローズ （65） ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	荒瀬　克己 （65） ＜平成30年4月＞	探究基礎演習
兼担	教授	織田　顕祐 （64） ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	朴　一　功 （65） ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）
兼担	教授	山下　憲昭 （63） ＜平成30年4月＞	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2 市民活動論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	田中　正隆 （52） ＜平成30年4月＞	（削除） 社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb （削除） （削除） 現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論 文化人類学 社会学文献講読（公共社会）2
専	准教授	徳田　剛 （48） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学概論 個人と公共 社会問題論 地域社会論 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 社会学文献講読（公共社会）1
専	准教授	渡邊　拓也 （45） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 人間関係論 フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 卒業研究
専	准教授	高橋　真 （43） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 比較心理学 社会統計基礎 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究 （削除） 学びの発見
専	講師	古谷　伸子 （41） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb （削除） （削除） 現代社会基礎 フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 フィールドワーク技法基礎
兼任	講師	ロバート　ローズ （66） ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	織田　顕祐 （66） ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	朴　一　功 （66） ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）
兼担	教授	山下　憲昭 （64） ＜平成30年4月＞	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2 市民活動論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	田中　正隆 （53） ＜平成30年4月＞	（削除） 社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論 （削除） 社会学文献講読（公共社会）2
専	准教授	徳田　剛 （49） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学概論 個人と公共 社会問題論 地域社会論 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 社会学文献講読（公共社会）1
専	准教授	渡邊　拓也 （46） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 人間関係論 （削除） （削除） 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 卒業研究
専	准教授	高橋　真 （44） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 社会学演習Ⅳa 社会学演習Ⅳb 比較心理学 社会統計基礎 社会統計演習1 社会統計演習2 卒業研究 （削除） 学びの発見
専	講師	古谷　伸子 （42） ＜平成30年4月＞	社会学演習Ⅰa 社会学演習Ⅰb 社会学演習Ⅱa 社会学演習Ⅱb 社会学演習Ⅲa 社会学演習Ⅲb 現代社会基礎 フィールドワーク入門1 フィールドワーク入門2 （削除） （削除） フィールドワーク技法基礎
兼任	講師	ロバート　ローズ （67） ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	織田　顕祐 （66） ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	朴　一　功 （67） ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	平尾　良治 (60) ＜平成31年4月＞	地域福祉論1 地域福祉論2
兼担	教授	渡辺　啓真 (59) ＜平成30年4月＞	情報と倫理
兼担	教授	木越　康 (55) ＜平成31年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	志藤　修史 (54) ＜平成32年4月＞	地方自治論
兼担	教授	福島　栄寿 (53) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	鈴木　寿志 (51) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 地震と火山1
兼担	教授	田中　久美子 (46) ＜平成32年4月＞	社会心理学 社会心理学文献講読1 社会心理学文献講読2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	平尾　良治 (60) ＜平成31年4月＞	地域福祉論1 地域福祉論2
禁担	教授	一楽　真 (60) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	教授	渡辺　啓真 (59) ＜平成30年4月＞	情報と倫理
兼担	教授	木越　康 (55) ＜平成31年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	志藤　修史 (54) ＜平成32年4月＞	地方自治論
兼担	教授	鈴木　寿志 (51) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 地震と火山1
兼担	教授	田中　久美子 (46) ＜平成32年4月＞	社会心理学 社会心理学文献講読1 社会心理学文献講読2
禁担	講師	冨岡　豊秀 (51) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	平尾　良治 (61) ＜令和元年4月＞	地域福祉論1 地域福祉論2
禁担	教授	山木　貴子 (62) ＜令和元年4月＞	インターンシップ1大学コンソ京都
禁担	教授	一楽　真 (61) ＜令和元年4月＞	（削除） 人間学Ⅱ
兼担	教授	渡辺　啓真 (60) ＜平成30年4月＞	情報と倫理
兼担	教授	木越　康 (56) ＜令和元年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	志藤　修史 (55) ＜令和2年4月＞	地方自治論
兼担	教授	鈴木　寿志 (52) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 地震と火山1
兼担	教授	田中　久美子 (47) ＜令和2年4月＞	社会心理学 社会心理学文献講読1 社会心理学文献講読2
禁担	教授	冨岡　豊秀 (52) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	平尾　良治 (62) ＜令和元年4月＞	地域福祉論1 地域福祉論2
禁担	教授	山木　貴子 (63) ＜令和元年4月＞	インターンシップ1大学コンソ京都
禁担	教授	一楽　真 (62) ＜令和元年4月＞	（削除） 人間学Ⅱ
兼担	教授	渡辺　啓真 (61) ＜平成30年4月＞	情報と倫理
禁担	教授	井上　崚実 (60) ＜令和2年4月＞	人間学Ⅱ
禁担	教授	宮崎　健司 (60) ＜令和2年4月＞	フィールドワーク特殊演習（PBL）
兼担	教授	木越　康 (57) ＜令和元年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	志藤　修史 (56) ＜令和2年4月＞	地方自治論
兼担	教授	鈴木　寿志 (53) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 地震と火山1
兼担	教授	田中　久美子 (48) ＜令和2年4月＞	社会心理学 社会心理学文献講読1 社会心理学文献講読2
禁担	教授	冨岡　豊秀 (53) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	平尾　良治 (63) ＜令和元年4月＞	地域福祉論1 地域福祉論2
禁担	教授	一楽　真 (63) ＜令和元年4月＞	（削除） 人間学Ⅱ
兼担	教授	渡辺　啓真 (62) ＜令和2年4月＞	情報と倫理
禁担	教授	井上　崚実 (61) ＜令和2年4月＞	人間学Ⅱ
禁担	教授	宮崎　健司 (61) ＜令和2年4月＞	フィールドワーク特殊演習（PBL）
兼担	教授	木越　康 (58) ＜令和元年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	志藤　修史 (57) ＜令和2年4月＞	地方自治論
禁担	教授	浅岩　裕彦 (54) ＜令和3年4月＞	インターンシップ特殊演習1大学コンソ京都
兼担	教授	鈴木　寿志 (54) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 地震と火山1
禁担	教授	安田　誠人 (63) ＜令和3年4月＞	インターンシップ特殊演習2大谷大学
兼担	教授	田中　久美子 (49) ＜令和2年4月＞	社会心理学 社会心理学文献講読1 社会心理学文献講読2
禁担	教授	冨岡　豊秀 (54) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤原　正寿 (55) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 部落史論1 部落史論2
兼担	准教授	武田　和哉 (52) ＜平成31年4月＞	社会情報学文献講読2
兼担	准教授	喜多　恵美子 (51) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	酒井　恵光 (50) ＜平成31年4月＞	情報技術論
兼担	准教授	三宅　伸一郎 (51) ＜平成30年4月＞	PC利用によるレポート・論文技法 ブッダに学ぶ
兼担	准教授	井上　摩紀 (49) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	准教授	藤田　義孝 (48) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）
兼担	准教授	釆睡　晃 (48) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	箕浦　暁雄 (48) ＜平成30年4月＞	中国の宗教と文化 反カースト運動論
兼担	准教授	山田　恵文 (47) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	准教授	大秦　一浩 (45) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
禁担	准教授	井上　和久 (56) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	藤原　正寿 (55) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 （削除） （削除）
兼担	准教授	武田　和哉 (52) ＜平成31年4月＞	社会情報学文献講読2
兼担	准教授	喜多　恵美子 (51) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	酒井　恵光 (50) ＜平成31年4月＞	情報技術論
兼担	准教授	三宅　伸一郎 (51) ＜平成30年4月＞	PC利用によるレポート・論文技法 ブッダに学ぶ
兼担	准教授	井上　摩紀 (49) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	准教授	藤田　義孝 (49) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）
兼担	准教授	釆睡　晃 (48) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	箕浦　暁雄 (48) ＜平成30年4月＞	中国の宗教と文化 反カースト運動論
兼担	准教授	山田　恵文 (47) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	准教授	大秦　一浩 (45) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
禁担	准教授	井上　和久 (57) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
禁担	准教授	四方　保仁 (58) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	藤原　正寿 (56) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 （削除） （削除） 仏教社会論
兼担	教授	武田　和哉 (53) ＜令和元年4月＞	社会情報学文献講読2
兼担	教授	喜多　恵美子 (52) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	酒井　恵光 (51) ＜令和元年4月＞	情報技術論
禁担	准教授	DASH SHOBHA (52) ＜令和元年4月＞	インドの宗教と文化
兼担	教授	三宅　伸一郎 (52) ＜平成30年4月＞	PC利用によるレポート・論文技法 ブッダに学ぶ
兼担	教授	井上　摩紀 (50) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	教授	藤田　義孝 (50) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）
兼担	准教授	釆睡　晃 (49) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	箕浦　暁雄 (49) ＜平成30年4月＞	中国の宗教と文化 反カースト運動論
兼担	准教授	山田　恵文 (48) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	准教授	大秦　一浩 (46) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
禁担	准教授	井上　和久 (58) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
禁担	准教授	四方　保仁 (59) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	藤原　正寿 (57) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 （削除） （削除） 仏教社会論 中国の宗教と文化
兼担	教授	武田　和哉 (54) ＜令和元年4月＞	社会情報学文献講読2
兼担	教授	喜多　恵美子 (53) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	酒井　恵光 (52) ＜令和元年4月＞	情報技術論
禁担	准教授	DASH SHOBHA (53) ＜令和元年4月＞	インドの宗教と文化
兼担	教授	三宅　伸一郎 (53) ＜平成30年4月＞	PC利用によるレポート・論文技法 （削除）
兼担	教授	井上　摩紀 (51) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	教授	藤田　義孝 (51) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）
兼担	准教授	釆睡　晃 (50) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	箕浦　暁雄 (50) ＜平成30年4月＞	（削除） 反カースト運動論
兼担	准教授	山田　恵文 (49) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	准教授	大秦　一浩 (47) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
禁担	准教授	井上　和久 (59) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	藤原　正寿 (58) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 （削除） （削除） 仏教社会論 中国の宗教と文化
兼担	教授	武田　和哉 (55) ＜令和元年4月＞	社会情報学文献講読2
兼担	教授	喜多　恵美子 (54) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	酒井　恵光 (53) ＜令和元年4月＞	情報技術論
禁担	教授	DASH SHOBHA (54) ＜令和元年4月＞	インドの宗教と文化 反カースト運動論
兼担	教授	井上　摩紀 (52) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	教授	藤田　義孝 (52) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）
兼担	教授	釆睡　晃 (51) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ ブッダに学ぶ
兼担	准教授	山田　恵文 (50) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	准教授	大秦　一浩 (48) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤枝　真 (45) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	三浦　誉史加 (45) ＜平成30年4月＞	発想から表現へ 日本語表現（実践）
兼担	准教授	高瀬　淳也 (44) ＜平成30年4月＞	生涯スポーツ・レクリエーション活動
兼担	准教授	井黒　忍 (43) ＜平成30年4月＞	東アジアの宗教文化
兼担	准教授	廣川　智貴 (44) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	講師	新田　智通 (47) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	講師	藤元　雅文 (45) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ
兼担	講師	川端　泰幸 (42) ＜平成30年4月＞	探究基礎演習
兼担	講師	大原　ゆい (38) ＜平成30年4月＞	市民活動論 ボランティア論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤枝　真 (45) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	三浦　誉史加 (45) **＜平成31年4月＞**	**（削除）** 日本語表現（実践）
兼担	講師	廣川　智貴 (44) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	講師	新田　智通 (47) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	講師	大原　ゆい (39) ＜平成30年4月＞	市民活動論 ボランティア論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤枝　真 (46) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	**准教授**	**石木　哲子** **(46)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅱ**
兼担	准教授	三浦　誉史加 (46) ＜令和元年4月＞	**（削除）** 日本語表現（実践）
兼担	**准教授**	**井黒　忍** **(45)** **＜令和元年4月＞**	**東アジアの宗教文化**
兼担	准教授	廣川　智貴 (45) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	**准教授**	**赤澤　清孝** **(44)** **＜令和元年4月＞**	**人間学Ⅱ**
兼担	**准教授**	新田　智通 (48) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	**准教授**	**藤元　雅文** **(46)** **＜令和元年4月＞**	**仏教社会論**
兼担	**講師**	**M. J. CONWAY** **(42)** **＜令和元年4月＞**	**観響に学ぶ**
兼担	**助教**	**野末　幸子** **(41)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅰ**
兼担	講師	大原　ゆい (40) ＜平成30年4月＞	市民活動論 ボランティア論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤枝　真 (47) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	**准教授**	**石木　哲子** **(47)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅱ**
兼担	准教授	三浦　誉史加 (47) ＜令和元年4月＞	**（削除）** 日本語表現（実践）
兼担	**准教授**	**井黒　忍** **(46)** **＜令和元年4月＞**	**東アジアの宗教文化** **中国の宗教と文化**
兼担	准教授	廣川　智貴 (46) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	**准教授**	**赤澤　清孝** **(45)** **＜令和元年4月＞**	**人間学Ⅱ**
兼担	**准教授**	新田　智通 (49) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	**准教授**	**藤元　雅文** **(47)** **＜令和元年4月＞**	**仏教社会論**
兼担	**講師**	**M. J. CONWAY** **(43)** **＜令和元年4月＞**	**観響に学ぶ**
兼担	**助教**	**野末　幸子** **(42)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅰ**
兼担	講師	大原　ゆい (41) ＜平成30年4月＞	市民活動論 ボランティア論
兼担	**講師**	**戸次　顕彰** **(38)** **＜令和2年4月＞**	**ブッダに学ぶ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤枝　真 (48) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	**准教授**	**石木　哲子** **(48)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅱ**
兼担	准教授	三浦　誉史加 (48) ＜令和元年4月＞	**（削除）** 日本語表現（実践）
兼担	**准教授**	**井黒　忍** **(47)** **＜令和元年4月＞**	**東アジアの宗教文化** **中国の宗教と文化**
兼担	准教授	廣川　智貴 (47) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	**准教授**	**赤澤　清孝** **(46)** **＜令和元年4月＞**	**人間学Ⅱ**
兼担	**准教授**	新田　智通 (50) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	**准教授**	**藤元　雅文** **(48)** **＜令和元年4月＞**	**仏教社会論**
兼担	**准教授**	**M. J. CONWAY** **(44)** **＜令和元年4月＞**	**観響に学ぶ**
兼任	**講師**	**野末　幸子** **(43)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅰ**
兼担	講師	大原　ゆい (42) ＜平成30年4月＞	市民活動論 ボランティア論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	諸根　貞夫 (68) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	高谷　修 (64) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譜　西賢 (65) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	本多　義治 (64) ＜平成30年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	東　治子 (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	西尾　由利子 (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	河原　慶子 (60) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	中尾　都史子 (60) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	山内　小夜子 (58) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	諸根　貞夫 (68) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	高谷　修 (64) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譜　西賢 (65) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	本多　義治 (64) ＜平成30年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	西尾　由利子 (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	河原　慶子 (60) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	中尾　都史子 (60) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	山内　小夜子 (58) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	諸根　貞夫 (69) ＜平成30年4月＞	日本国憲法 1 日本国憲法 2 日本国憲法 3
兼任	講師	高谷　修 (65) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譜　西賢 (66) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	西尾　由利子 (64) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	岡嶋　伊二 (63) ＜令和元年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	杉山　潤 (62) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	河原　慶子 (61) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	中尾　都史子 (61) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	桂　千章 (60) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	山内　小夜子 (59) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	高谷　修 (66) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譜　西賢 (67) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	西尾　由利子 (65) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	水野　尚之 (65) ＜令和2年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	岡嶋　伊二 (64) ＜令和元年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	河原　慶子 (62) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	中尾　都史子 (62) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	桂　千章 (61) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	山内　小夜子 (60) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	高谷　修 (67) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譜　西賢 (68) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	真城　義麿 (68) ＜令和3年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	西尾　由利子 (66) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	水野　尚之 (66) ＜令和2年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	岡嶋　伊二 (65) ＜令和元年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	河原　慶子 (63) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	桂　千章 (62) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	山内　小夜子 (61) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	青木　恵子 (57) ＜平成30年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	杉本　理 (56) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	古屋　哲 (56) ＜平成31年4月＞	社会調査論 エスノグラフィ講読・作成2 文化人類学文献講読1
兼任	講師	山口　祥二 (57) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	大野　哲也 (56) ＜平成30年4月＞	スポーツと社会
兼任	講師	本林　靖久 (55) ＜平成31年4月＞	宗教と社会 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 文化人類学文献講読2 人と文化
兼任	講師	訓覇　浩 (55) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	太田　純 (54) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	寺岡　伸悟 (53) ＜平成31年4月＞	観光社会学
兼任	講師	木塚　恵子 (53) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	堅田　理 (52) ＜平成30年4月＞	仏教と美術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	青木　恵子 (57) ＜平成30年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	杉本　理 (56) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	古屋　哲 (56) ＜平成31年4月＞	社会調査論 エスノグラフィ講読・作成2 文化人類学文献講読1
兼任	講師	山口　祥二 (57) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	大野　哲也 (56) ＜平成30年4月＞	スポーツと社会
兼任	講師	本林　靖久 (55) ＜平成31年4月＞	宗教と社会 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 文化人類学文献講読2 人と文化
兼任	講師	訓覇　浩 (55) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	太田　純 (54) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	寺岡　伸悟 (53) ＜平成31年4月＞	観光社会学
兼任	講師	木塚　恵子 (53) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	宮前　千雅子 (53) ＜平成30年4月＞	部落史論１ 部落史論２
兼任	講師	堅田　理 (52) ＜平成30年4月＞	仏教と美術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	青木　恵子 (58) ＜平成30年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	杉本　理 (57) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	古屋　哲 (57) ＜令和元年4月＞	社会調査論 エスノグラフィ講読・作成2 文化人類学文献講読1
兼任	講師	山口　祥二 (58) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	大野　哲也 (57) ＜平成30年4月＞	スポーツと社会
兼任	講師	本林　靖久 (56) ＜令和元年4月＞	宗教と社会 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 文化人類学文献講読2 人と文化
兼任	講師	訓覇　浩 (56) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	太田　純 (55) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	寺岡　伸悟 (54) ＜令和元年4月＞	観光社会学
兼任	講師	木塚　恵子 (54) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	宮前　千雅子 (54) ＜平成30年4月＞	部落史論１ 部落史論２
兼任	講師	堅田　理 (53) ＜平成30年4月＞	仏教と美術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	青木　恵子 (59) ＜平成30年4月＞	（削除） （削除） 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	杉本　理 (58) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	古屋　哲 (58) ＜令和元年4月＞	社会調査論 エスノグラフィ講読・作成2 文化人類学文献講読1
兼任	講師	丹羽　徹 (58) ＜令和2年4月＞	日本国憲法1 日本国憲法2 日本国憲法3
兼任	講師	山口　祥二 (59) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	大野　哲也 (58) ＜平成30年4月＞	スポーツと社会
兼任	講師	本林　靖久 (57) ＜令和元年4月＞	宗教と社会 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 文化人類学文献講読2 人と文化
兼任	講師	訓覇　浩 (57) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	太田　純 (56) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	寺岡　伸悟 (55) ＜令和元年4月＞	観光社会学
兼任	講師	木塚　恵子 (55) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	宮前　千雅子 (55) ＜平成30年4月＞	部落史論１ 部落史論２
兼任	講師	堅田　理 (54) ＜平成30年4月＞	仏教と美術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	杉本　理 (59) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	古屋　哲 (59) ＜令和元年4月＞	社会調査論 エスノグラフィ講読・作成2 文化人類学文献講読1
兼任	講師	丹羽　徹 (59) ＜令和2年4月＞	日本国憲法1 日本国憲法2 日本国憲法3
兼任	講師	山口　祥二 (60) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	大野　哲也 (59) ＜平成30年4月＞	スポーツと社会
兼任	講師	本林　靖久 (58) ＜令和元年4月＞	宗教と社会 探究フィールドワーク1 探究フィールドワーク2 文化人類学文献講読2 人と文化 文化人類学
兼任	講師	訓覇　浩 (58) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	太田　純 (57) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	寺岡　伸悟 (56) ＜令和元年4月＞	観光社会学
兼任	講師	木塚　恵子 (56) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	宮前　千雅子 (56) ＜平成30年4月＞	部落史論１ 部落史論２
兼任	講師	田中　治 (56) ＜令和3年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	堅田　理 (55) ＜平成30年4月＞	仏教と美術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西田　廣和 (52) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	三木　彰円 (52) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (52) ＜平成30年4月＞	社会統計基礎 画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	河井　純子 (51) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	笠原　俊典 (50) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	講師	川田　耕 (49) ＜平成31年4月＞	文化社会学 社会学史
兼任	講師	福山　幸子 (50) ＜平成30年4月＞	カウンセリング
兼任	講師	田中　智子 (49) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	講師	種子田　香 (49) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	池末　陽子 (48) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	杉山　正治 (48) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西田　廣和 (52) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	三木　彰円 (52) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (52) ＜平成30年4月＞	社会統計基礎 画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	河井　純子 (51) ＜平成30年4月＞	**（削除）** 英語Ⅱ
兼任	講師	笠原　俊典 (50) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	講師	川田　耕 (49) ＜平成31年4月＞	文化社会学 社会学史
兼任	講師	福山　幸子 (50) ＜平成30年4月＞	カウンセリング
兼任	講師	田中　智子 (49) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	講師	種子田　香 (49) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	池末　陽子 (48) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	杉山　正治 (48) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西田　廣和 (53) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
専担	**教授**	三木　彰円 (53) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ **（削除）** インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (53) ＜平成30年4月＞	社会統計基礎 画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	笠原　俊典 (51) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	講師	川田　耕 (50) ＜令和元年4月＞	文化社会学 社会学史
兼任	講師	福山　幸子 (51) **＜令和元年4月＞**	カウンセリング
兼任	**講師**	**小西　貴子** **(50)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅱ**
兼任	講師	田中　智子 (50) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	**講師**	**北島　美映** **(49)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅱ**
兼任	講師	杉山　正治 (49) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西田　廣和 (54) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
専担	**教授**	三木　彰円 (54) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ **（削除）** インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (54) ＜平成30年4月＞	社会統計基礎 画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	笠原　俊典 (52) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	講師	川田　耕 (51) ＜令和元年4月＞	文化社会学 社会学史
兼任	講師	福山　幸子 (52) **＜令和元年4月＞**	カウンセリング
兼任	**講師**	**小西　貴子** **(51)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅱ**
兼任	講師	田中　智子 (51) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	**講師**	**北島　美映** **(50)** **＜令和元年4月＞**	**英語Ⅱ**
兼任	講師	杉山　正治 (50) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西田　廣和 (55) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
専担	**教授**	三木　彰円 (55) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ **（削除）** インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (55) ＜平成30年4月＞	社会統計基礎 画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	笠原　俊典 (53) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	**講師**	**西田　彰** **(63)** **＜令和3年4月＞**	**人間学Ⅱ**
兼任	講師	川田　耕 (52) ＜令和元年4月＞	文化社会学 社会学史
兼任	講師	福山　幸子 (53) **＜令和元年4月＞**	カウンセリング
兼任	講師	田中　智子 (52) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	講師	杉山　正治 (51) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	宋　基燦 (47) ＜平成31年4月＞	アジア社会論
兼任	講師	狭間　芳樹 (48) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	森　禎弘 (48) ＜平成31年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	江南　健志 (47) ＜平成31年4月＞	環境社会学
兼任	講師	瀬戸　奈美子 (46) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	日髙　周平 (47) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	石田　あゆう (44) ＜平成32年4月＞	消費社会論
兼任	講師	鶴見　晃 (46) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	倉島　哲 (43) ＜平成32年4月＞	社会思想史
兼任	講師	佐久間　思帆 (45) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	横澤　大典 (45) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (44) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	宋　基燦 (47) ＜平成31年4月＞	アジア社会論
兼任	講師	狭間　芳樹 (48) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	江南　健志 (47) ＜平成31年4月＞	環境社会学
兼任	講師	瀬戸　奈美子 (46) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	日髙　周平 (48) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	石田　あゆう (44) ＜平成32年4月＞	消費社会論
兼任	講師	鶴見　晃 (47) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	倉島　哲 (43) ＜平成32年4月＞	社会思想史
兼任	講師	佐久間　思帆 (45) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	横澤　大典 (45) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (44) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	宋　基燦 (48) ＜令和元年4月＞	アジア社会論
兼任	講師	狭間　芳樹 (49) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	江南　健志 (48) ＜令和元年4月＞	環境社会学
兼任	講師	瀬戸　奈美子 (47) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	日髙　周平 (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	石田　あゆう (45) ＜令和2年4月＞	消費社会論
兼任	講師	鶴見　晃 (48) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	倉島　哲 (44) ＜令和2年4月＞	社会思想史
兼任	講師	道岡　修 (46) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	横澤　大典 (46) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (45) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	宋　基燦 (49) ＜令和元年4月＞	アジア社会論
兼任	講師	狭間　芳樹 (50) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	江南　健志 (49) ＜令和元年4月＞	環境社会学
兼任	講師	瀬戸　奈美子 (48) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	日髙　周平 (50) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	石田　あゆう (46) ＜令和2年4月＞	消費社会論
兼任	講師	鶴見　晃 (49) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	倉島　哲 (45) ＜令和2年4月＞	社会思想史
兼任	講師	道岡　修 (47) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	横澤　大典 (47) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (46) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤　美奈子 (61) ＜令和3年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	宋　基燦 (50) ＜令和元年4月＞	アジア社会論
兼任	講師	狭間　芳樹 (51) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	江南　健志 (50) ＜令和元年4月＞	環境社会学
兼任	講師	瀬戸　奈美子 (49) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	日髙　周平 (51) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	石田　あゆう (47) ＜令和2年4月＞	消費社会論 ジェンダーと社会
兼任	講師	鶴見　晃 (50) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	倉島　哲 (46) ＜令和2年4月＞	社会思想史
兼任	講師	横澤　大典 (48) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (47) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用 PC利用によるレポート・論文技法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	清水　洋平 （44） ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	講師	伊村　大樹 （43） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	西本　祐攝 （43） ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 親鸞に学ぶ
		平梨　聡 （43） ＜平成30年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	三上　禎次 （43） ＜平成30年4月＞	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
		清水　利明 （42） ＜平成30年4月＞	発想から表現へ
兼任	講師	桑原（多田）桃音 （40） ＜平成31年4月＞	現代家族論 ジェンダーと社会
兼任	講師	中田（阿部）英利子 （40） ＜平成30年4月＞	心理学基礎
兼任	講師	中村　真里絵 （40） ＜平成30年4月＞	現代東南アジア事情

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	清水　洋平 （45） ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	講師	伊村　大樹 （44） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	西本　祐攝 （44） ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ （削除）
専任	講師	平梨　聡 （44） ＜平成30年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	三上　禎次 （44） ＜平成30年4月＞	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
専任	講師	清水　利明 （43） ＜平成30年4月＞	発想から表現へ
兼任	講師	桑原（多田）桃音 （41） ＜令和元年4月＞	現代家族論 ジェンダーと社会
専任	講師	近藤　維生 （42） ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
専任	講師	藤原　由美 （42） ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	中田（阿部）英利子 （41） ＜平成30年4月＞	心理学基礎
兼任	講師	中村　真里絵 （41） ＜平成30年4月＞	現代東南アジア事情

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	清水　洋平 （46） ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	講師	伊村　大樹 （45） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
専担	准教授	西本　祐攝 （45） ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ （削除）
専任	講師	平梨　聡 （45） ＜平成30年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	三上　禎次 （45） ＜平成30年4月＞	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
専任	講師	清水　利明 （44） ＜平成30年4月＞	発想から表現へ
兼任	講師	桑原（多田）桃音 （42） ＜令和元年4月＞	現代家族論 ジェンダーと社会
専任	講師	近藤　維生 （43） ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
専任	講師	藤原　由美 （43） ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	中村　真里絵 （42） ＜平成30年4月＞	現代東南アジア事情

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	清水　洋平 （47） ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
専任	講師	長野　真奈 （47） ＜令和3年4月＞	心理療法と教育
専任	講師	柳生　利恵 （47） ＜令和3年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2
兼任	講師	伊村　大樹 （46） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
専担	准教授	西本　祐攝 （46） ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ （削除）
専任	講師	平梨　聡 （46） ＜平成30年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	三上　禎次 （46） ＜平成30年4月＞	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
専任	講師	皇兼　香織 （46） ＜令和3年4月＞	心理学基礎
専任	講師	清水　利明 （45） ＜平成30年4月＞	発想から表現へ
兼任	講師	桑原（多田）桃音 （43） ＜令和元年4月＞	現代家族論 （削除）
専任	講師	近藤　維生 （44） ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
専任	講師	藤原　由美 （44） ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	中村　真里絵 （43） ＜平成30年4月＞	現代東南アジア事情

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	野村　洋平 (40) ＜平成30年4月＞	教育社会学 教育学2
兼任	講師	木島　菜菜子 (37) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	竹内　早耶香 (36) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	中田　千穂 (35) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）
兼任	講師	岡崎　沙織 (34) ＜平成30年4月＞	教育学1
兼任	講師	児島　庸介 (31) ＜平成30年4月＞	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	野村　洋平 (40) ＜平成30年4月＞	教育社会学 教育学2
兼任	講師	緒賀　忠宏 (38) ＜平成30年4月＞	大乗文化論
兼任	講師	木島　菜菜子 (37) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	竹内　早耶香 (36) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	中田　千穂 (35) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ） 生涯スポーツ・レクリエーション
兼任	講師	岡崎　沙織 (34) ＜平成30年4月＞	教育学1
兼任	講師	複野　亮介 (33) ＜平成30年4月＞	東アジアの宗教文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	野村　洋平 (41) ＜平成30年4月＞	教育社会学 教育学2
兼任	講師	上野　牧生 (40) ＜令和元年4月＞	仏教社会論
兼任	講師	岡田　恭子 (40) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	緒賀　忠宏 (39) ＜平成30年4月＞	大乗文化論
兼任	講師	藤澤　知佩 (38) ＜令和元年4月＞	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学
兼任	講師	竹内　早耶香 (37) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	中田　千穂 (36) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ） （削除）
兼任	講師	岡崎　沙織 (35) ＜平成30年4月＞	教育学1

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	野村　洋平 (42) ＜平成30年4月＞	教育社会学 教育学2
兼担	講師	上野　牧生 (41) ＜令和元年4月＞	仏教社会論
兼任	講師	岡田　恭子 (41) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	緒賀　忠宏 (40) ＜平成30年4月＞	大乗文化論
兼任	講師	藤澤　知佩 (39) ＜令和元年4月＞	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学
兼任	講師	竹内　早耶香 (38) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	中田　千穂 (37) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ） （削除）
兼任	講師	岡崎　沙織 (36) ＜平成30年4月＞	教育学1
兼任	講師	筒井　香 (33) ＜令和2年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	野村　洋平 (43) ＜平成30年4月＞	教育社会学 教育学2
兼担	講師	上野　牧生 (42) ＜令和元年4月＞	仏教社会論
兼任	講師	岡田　恭子 (42) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	竹内　早耶香 (39) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	金森　謝補 (39) ＜令和3年4月＞	青年と社会教育
兼任	講師	中田　千穂 (38) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ） （削除）
兼任	講師	岡崎　沙織 (37) ＜平成30年4月＞	教育学1
兼任	講師	筒井　香 (34) ＜令和2年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	井上　慧真 （28） ＜平成30年4月＞	大衆文化論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	古俣　慎也 （30） ＜平成30年4月＞	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	大高　千明 （29） ＜令和元年4月＞	生涯スポーツ・レクリエーション活動

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	大高　千明 （30） ＜令和元年4月＞	生涯スポーツ・レクリエーション活動
兼任	講師	黛川　尚枝 （29） ＜令和2年4月＞	心理学基礎 心理療法概論 心理療法と教育
兼任	講師	奥村　旅人 （28） ＜令和2年4月＞	青年と社会教育 社会福祉と社会教育

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤　真 （32） ＜令和3年4月＞	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学
兼任	講師	大高　千明 （31） ＜令和元年4月＞	生涯スポーツ・レクリエーション活動
兼任	講師	黛川　尚枝 （30） ＜令和2年4月＞	（削除） 心理療法概論 （削除）
兼任	講師	中村　友香 （30） ＜令和3年4月＞	社会福祉と社会教育

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・学科専門科目「フィールドワーク技法基礎」の担当を専任講師に変更。
・共通基礎科目「学びの発見」の担当を専任講師に変更。
・現代総合科目「探究基礎演習」の担当を専任教授に変更。
・学科専門科目「市民活動論」を旧学科と共通で開講することから、専任講師のみの担当に加え旧学科兼担教授の担当を追加。
・共通基礎科目「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」の担当を専任教授に変更。
・共通基礎科目「人間学Ⅰ」の担当を専任教授に変更。
・共通基礎科目「人間学Ⅱ」の担当を専任准教授に変更。
・現代総合科目「部落史論１・２」の担当を兼任講師に変更。
・現代総合科目「発想から表現へ」の担当を兼任講師に変更。
・共通基礎科目「英語Ⅰ」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「PC利用による表計算入門・応用」の担当を他の兼任講師に変更。
・学科専門科目「大衆文化論」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「生涯スポーツ・レクリエーション」の担当を兼任講師に変更。
・現代総合科目「東アジアの宗教文化」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「生命のしくみと多様性」「自然と生物の科学」の担当を他の兼任講師に変更。

【令和元年度】

【専任教員の昇格】
高橋　真　講師→准教授
【兼担教員の追加】
・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加：
四方　保仁（兼担 准教授）、DASH SHOBHA（兼担 准教授）、藤元　雅文（兼担 准教授）、赤澤　清孝（兼担 准教授）
・専任担当者の担当コマ数の事情（旧学科科目の担当開講科目数の増加）により別の専任教員に担当を変更したことに伴う担当者追加：
山本　貴子（兼担 教授）、M.J.CONWAY（兼担 講師）
・兼任担当者の就任辞退に伴う担当者変更による担当者追加：石本　哲子（兼担 准教授）、井黒　忍（兼担 准教授）、野末　幸子（兼担 助教）
【兼担教員の昇格】
武田　和哉　准教授→教授、喜多　恵美子　准教授→教授（18年度訂正漏れ）、三宅　伸一郎　准教授→教授（18年度訂正漏れ）、
新田　智通　講師→准教授（18年度訂正漏れ）、井上　摩紀　准教授→教授、藤田　義孝　准教授→教授、箕浦　暁雄　准教授→教授
【兼担教員の定年退職】
R.F.RHODES　兼担　教授→兼任　講師、朴　一功　兼担　教授→兼任　講師
【兼任教員の就任辞退】
・本人の都合による就任辞退：本多　義治、河井　純子、種子田　香、池末　陽子、佐久間　思帆、木島　菜菜子、濱野　亮介、古俣　慎也
【兼任教員の追加】
・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加：桂　千草、蓮岡　修、近藤　雄生、上野　牧生
・就任辞退となった兼任教員の補填：岡嶋　詳二、杉山　潤、小西　貴子、北島　美咲、藤原　由美、岡田　律子、藤澤　知親、大高　千明
【兼任教員の所属変更】
三木　彰円　兼任　講師→兼担　教授
【前年度の誤記】
・冨岡　量秀　講師→教授
・喜多恵美子　准教授→教授
・三宅伸一郎　准教授→教授
・新田　智通　講師→准教授

【令和２年度】

【専任教員の退職】
荒瀬　克己　兼担　→　退職（自己都合）
織田　顕祐　兼担　→　兼任（定年退職）
【専任教員の所属変更】
上野　牧生　兼任　→　兼担
西本　祐攝　兼任　→　兼担
【兼担教員の昇格】
西本　祐攝　講師　→　准教授
【兼担教員の追加】
井上　尚実（コマ数調整のため）
戸次　顕彰（コマ数調整のため）
宮崎　健司（新規科目開講のため）
【兼任教員の退職】
諸根　貞夫　兼任　→　退職（定年退職）
杉山　潤　兼任　→　退職（自己都合）
中田　英利子兼任　→　退職（自己都合）
【兼任教員の追加】
奥村　旅人　当該学部科目を新たに担当（新規科目開講のため）
粉川　尚枝　当該学部科目を新たに担当（新規科目開講、退職教員の補填のため）
筒井　香　採用（兼任教員の担当科目辞退の補填のため）
丹羽　徹　採用（退職教員の補填のため）
水野　尚之　採用（退職教員の補填のため）

【令和３年度】

【兼担教員の昇格】
DASH SHOBHA　准教授　→　教授、采睪　晃　准教授　→　教授、M.J.CONWAY　講師　→　准教授

【兼担教員の退職】
山下　憲昭（定年退職）、野末　幸子（任期満了）

【兼担教員の担当変更】
山本　貴子（担当コマ数調整のため）、四方　保仁（担当コマ数調整のため）、三宅　伸一郎（担当コマ数調整のため）、箕浦　暁雄（担当コマ数調整のため）、戸次　顕彰（担当コマ数調整のため）

【兼任教員の担当変更】
中尾　都史子（自己都合による退職）、青木　恵子（自己都合による退職）、小西　貴子（自己都合による担当辞退）、北島　美咲（自己都合による担当辞退）、蓮岡　修（自己都合による退職）、雑賀　忠宏（自己都合による退職）、藤澤　知親（自己都合による退職）、奥村　旅人（自己都合による担当辞退）

【兼担教員の追加】
浅若　裕彦（前任者（兼担）担当コマ数調整のため）、安田　誠人（前任者（兼担）定年退職のため）

【兼任教員の追加】
野末　幸子（助教任期満了に伴い兼任講師として新たに採用）、真城　義麿（前任者（兼担）担当コマ数調整のため）、田中　浩（前任者（兼任）担当辞退のため）、西田彩（採用／前任者（兼任）退職のため）、佐藤　美奈子（前任者（兼任）担当辞退のため）、長野　真奈（採用／前任者（兼任）担当辞退のため）、柳生　利恵（採用／前任者（兼任）退職のため）、星津　香織（前任者（兼任）担当辞退のため）、金森　謙輔（採用／前任者（兼任）担当辞退のため）、伊藤　真（採用／前任者（兼任）退職のため）、中村　友香（採用／前任者（兼任）担当辞退のため）

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
１０ 名	５ 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
６ （６）	３ （３）	２ （２）	０ （０）	１１ （１１）	０ （０）	６	４	１	０	１１	０
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
６	４	１	０	１１	０	６	４	１	０	１１	０
［０］	［１］	［△１］	［０］	［０］	［０］	［０］	［１］	［△１］	［０］	［０］	［０］

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
６５ 歳	１ 名	１ 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{11}{11} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{11} = 9.09\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計（D）		後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0　人	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	
	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	
	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	
	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					

合計（F）		後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0　人	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	
	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	
	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	
	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）		後任補充状況の集計（E）＋（G）			
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0　人	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	
	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	
	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	
	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{11} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0　人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）　専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の 実施計画
認　可　時 （平成30年4月）	①大谷大学文学部文学科の入学定員超過の是正に努めること ②大谷大学短期大学部仏教科及び九州大谷短期大学福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	①平成29年度の超過率が1.61倍となってことについて、入学定員の厳格化に努め、平成30年度は0.91倍となった。 ②大谷大学短期大学部仏教科については、その教育機能を文学部へ発展的に統合し、平成30年度より学生募集を停止することとした。 九州大谷短期大学福祉学科については、学生募集の強化に努めるも0.34倍という結果になった。さらなる募集強化の取り組みを進めるとともに、入学定員の適正化を図るべき準備を進める。	履行中	九州大谷短期大学福祉学科については、入学者支援を含めた募集強化の取り組みを進めるとともに、入学定員の適正化を図るべき準備を進める。
設置計画履行状況調　査　時 （平成３０年）	「該当なし」				
設置計画履行状況調　査　時 （令和元年）	「該当なし」				
設置計画履行状況調　査　時 （令和２年）	「該当なし」				

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜社会学部　現代社会学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし。	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

教務委員会「ＦＤ部会」

全学をあげて取り組む姿勢を明確にするため、教務委員会の中にカリキュラムの検討を中心とする「教務部会」と、ＦＤ活動を中心とする「ＦＤ部会」とを2007年度に設置。ＦＤ活動とカリキュラムの連携を図りながら、取り組みを進めている。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

本学として必要なＦＤ活動を検討するＦＤ部会を年４回程度開催。

ｃ　委員会の審議事項等

ＦＤ部会の審議及び推進事項（教務委員会規程第3条第2号）

ア　教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)

イ　授業評価アンケートの活用

ウ　FDに係る研究会及び研修会の実施

エ　FDに係る調査及び研究

オ　その他FDに関すること

②　実施状況

ａ　実施内容

ＦＤ部会活動内容

・　新任教員向けFD研修会の実施

・　授業評価アンケートの活用による授業優秀賞・事情確認科目の検討、事情確認対象科目担当者への確認

・　授業優秀賞受賞科目の授業公開の実施

・　全学的な教職員向けFD研修会とミニFD研修会（教授会内研修）の実施

・　他大学・団体等との連携、他団体研修会等の参加及び部会内での報告

・「授業計画（シラバス）」の記載内容確認及び修正が必要な科目の内容修正依頼

ｂ　実施方法

全学的な研修会や授業公開については、非常勤講師も含め実施を告知。対象者が限定されるものについては、原則、対象者全員参加として呼びかけている。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

＊新型コロナウィルス感染拡大防止のため、政府・自治体の要請に従い、活動の一部を縮小して実施（2020年度実績）

・　新任教員向けFD研修会（2020年10月7日実施）

・　授業評価アンケートの活用（2020年9月17日・2021年3月17日FD部会にて検討・決定）

・　授業公開の実施（2020年11月18日～12月17日に開催：対象科目4科目）

・　ミニFD研修会の実施（2020年11月11日開催、「シラバス作成について」）

・　「授業計画（シラバス）」の記載内容の確認（2021年2月実施）

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会や懇話会を開催することにより、本学学生の実情を把握し、本学の教育理念や育成する学生像の共有を図り、継続的な授業改善に取り組むことの意識付けを行っている。

個々の授業担当者の資質向上を図るために、「学生による授業評価アンケート」を活用し、振り返りをおこなっている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

「学生による授業評価アンケート」を、本学の内部質保証に係るＦＤとして、本学の教育システムの不断の点検・改善に役立てると同時に、授業担当者が日頃の教育活動の成果を確認し、今後の授業改善の参考資料として活用するために、全学を対象に実施している。前期については、６月下旬から７月上旬に実施、後期については、１２月上旬から１２月中旬にかけて実施。

また、2020年度前期については、アンケート内容を「オンライン授業の実施について＿学生アンケート」と変更し実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

授業評価アンケート結果については、各授業担当者に科目ごとに報告される。アンケート内容は、Ⅰ．回答者の属性　Ⅱ．授業における受講生の取り組みについて、Ⅲ．授業内容や担当教員の授業運営について、Ⅳ．総合的評価、Ⅴ．自由記述からなっており、数値やグラフにして提供している。

受講学生に対しては、学内ネットワーク上に科目ごとの評価結果を公開し、自由に閲覧できるようになっている。また、大学全体及び学部ごとの評価結果を大学ＨＰ上に公開し、社会一般からの閲覧に供している。

公開の時期は、ともに前期が９月から１０月頃、後期が３月頃に公開をおこなっている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建学の理念を仏教、殊に浄土真宗に据え、いかなる時代・社会の状況においても、自己と人間の課題を深く見つめ、人間の立脚地を考えつづける姿勢をその学びの根幹においてきた。つまり、自己の信念の確立を建学の理念として掲げ、学修、研究をすすめてきた。その達成の状況は、建学の理念、教育目標のもとに各方針、教育内容やその方法等を体系的に関連づけた体制として構築し、各学部・学科、各研究科・専攻とも学生に対する教育、研究指導を充全に実施しており、そのことは、平成27年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、同協会の大学基準に適合していると認定された。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・７月下旬頃

ｂ　公表方法

・大学運営会議構成員（各学部・研究科長、並びに事務部長含む）に報告書を配付

・大学ホームページ上に公開

③　認証評価を受ける計画

・令和４年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受ける予定で準備を進めている。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和３年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後１ヶ月以内　・　公表後２～３ヶ月以内　・　公表後３ヶ月以降　〕

ｃ　公表方法　〔　ウェブサイトへの掲載　・　その他（　　）　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○教務委員会規程

2002年3月4日　制定

(設置)

第1条　大谷大学及び大谷大学短期大学部(以下「本学」という。)に、教育・学生支援担当副学長の教務に関する補佐機関として、教務委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

第2条　委員会は、教育推進室と連携し、教育課程及び教育方法等の改善を図るとともに、FD(ファカルティ・ディベロップメント)活動を推進し、もって大学教育の充実と発展を図ることを目的とする。

(審議及び推進事項)

第3条　前条の目的を達成するために、委員会に部会を置き、次の事項について審議し、その推進にあたる。

(1)　教務部会

ア　教育課程改善のための具体案

イ　教育課程に付随する諸制度(成績評価、単位認定、進級、登録等)

ウ　開講科目、開講形態及び履修方法

エ　その他教務に関すること。

(2)　FD部会

ア　教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)

イ　授業評価アンケートの活用

ウ　FDに係る研究会及び研修会の実施

エ　FDに係る調査及び研究

オ　その他FDに関すること。

(構成)

第4条　委員会は、次の者をもって構成する。

(1)　委員長　1名

(2)　部会長　2名

(3)　委員　若干名

(4)　学生支援部事務部長

(5)　学生支援部教務課長

2　委員長、部会長及び委員は、本学専任教育職員のうちから教育・学生支援担当副学長が推薦する者を学長が委嘱し、任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

3　委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

（所管）

第５条　委員会に関する事務の所管は、学生支援部教務課とする。

（改廃）

第６条　この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が決定する。

付　則

この規程は、2002 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 4 条第 1 項第 3 号に定める「教務部事務部長」は、2002 年 5 月 31 日までは、「教務部教務課長」と読み替えるものとする。

付　則

この規程は、2007 年 2 月 13 日一部改正し、2007 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この規程は、2008 年 6 月 18 日一部改正し、2008 年 6 月 1 日に遡及して施行する。

付　則

この規程は、2012 年 2 月 1 日に一部改正し、2012 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この規程は、2013 年 2 月 25 日に一部改正し、2013 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この規程は、2015 年 3 月 11 日に一部改正し、2015 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この規程は、2016 年 3 月 10 日に一部改正し、2016 年 4 月 1 日から施行する。

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人真宗大谷学園

（２）大　学　名

大谷大学

（３）調査対象大学等の位置

〒６０３－８１４３
京都府京都市北区小山上総町２０番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（タジマ　ヒロシ） 但 馬　　弘 （平成２８年１２月１９日）		
学　　長	（キゴシ　ヤスシ） 木 越　　康 （平成２８年４月１日）		
学 部 長	（シドウ　シュウシ） 志 藤　修 史 （平成３０年４月１日）	（ノムラ　アキヒロ） 野村　明宏 （令和３年４月１日）	任期満了のため 令和３年４月１日 （３）
学科長等	（マツカワ　タカシ） 松 川　　節 （平成３０年４月１日）	（スズキ　ヒサシ） 鈴木　寿志 （令和２年４月１日）	任期満了のため 令和２年４月１日 （２）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和２年度に報告済の内容　→（２）
令和３年度に報告する内容　→（３）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
・　様式は、平成２９年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
社会学部 コミュニティデザイン学科 学士（社会学）	社会学・社会福祉学関係	年 4	人 100	年次 人 －	人 400		

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 100 （　－　） ［　－　］	人	人 100 （　－　） ［　－　］	人	人 100 （　－　） ［　－　］	人	人 100 （　－　） ［　－　］	人	1.01倍	—倍	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	767 （－） ［－］	－ （－） ［－］	979 （－） ［－］	－ （－） ［－］	1009 （－） ［－］	－ （－） ［－］	666 （－） ［１］	－ （－） ［－］			
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	744 （－） ［－］	－ （－） ［－］	955 （－） ［－］	－ （－） ［－］	979 （－） ［－］	－ （－） ［－］	642 （－） ［１］	－ （－） ［－］			
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	273 （－） ［－］	－ （－） ［－］	334 （－） ［－］	－ （－） ［－］	392 （－） ［－］	－ （－） ［－］	468 （－） ［１］	－ （－） ［－］			
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	103 （－） ［－］	－ （－） ［－］	114 （－） ［－］	－ （－） ［－］	102 （－） ［－］	－ （－） ［－］	86 （－） ［１］	－ （－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		1.03		1.14		1.02		0.86				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	103 [－] (－)	－ [－] (－)	114 [－] (－)	－ [－] (－)	104 [－] (2)	－ [－] (－)	89 [1] (3)	－ [－] (－)	
２年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	102 [－] (－)	－ [－] (－)	113 [－] (3)	－ [－] (－)	105 [－] (4)	－ [－] (－)	
３年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	95 [－] (－)	－ [－] (－)	109 [－] (3)	－ [－] (－)	
４年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	92 [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		103 [－] (－)		216 [－] (－)		312 [－] (5)		395 [1] (10)		

・令和３年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・［　　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成29年度	－ 人	－ 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
平成30年度	103 人	1 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	1 人	0 人	その他＜他大学受験＞(1人)
令和元年度	216 人	5 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	3 人	0 人	その他＜就職＞(2人)、その他＜他大学受験＞(1人)
			令和元年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、その他＜進路変更＞(1人)
令和2年度	312 人	2 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和元年度	1 人	0 人	その他＜進路変更＞(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	395 人	0 人	平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合　計		8 人		8 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = － / － = #VALUE! %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 1 / 103 = 0.97 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 5 / 216 = 2.31 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 2 / 312 = 0.64 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 0 / 395 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜社会学部　コミュニティデザイン学科＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	1前・後	4								兼3
			人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4			1					兼12
	大学導入		学びの発見	1前	2					1			
	必修外国語		英語Ⅰ	1前・後	4								兼9
			英語Ⅱ	2前・後	4								兼12
学科専門科目	演習		コミュニティデザイン演習Ⅰa	1前	2			4	2	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅰb	1後	2			4	2	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅱa	2前	2			2	3	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅱb	2後	2			2	3	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅲa	3前	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅲb	3後	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅳa	4前	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅳb	4後	2			3	2	3			
	概論	A	仏教社会論	2前	2								兼1
			社会学概論	2後	2								兼1
			コミュニティデザイン概論	1前	2			1					
		B	公共政策概論1	1前		2							兼1
			公共政策概論2	1後		2							兼1
			社会情報学概論1	1前		2		1					
			社会情報学概論2	1後		2			1				
			現代社会と福祉1	1前		2		1					
			現代社会と福祉2	1後		2		1					
	講義		ボランティア論	1前		2				1			
			現代社会論	1前		2							兼1
			生活問題論	1前		2							兼1
			社会政策論	1前		2							兼1
			メディアと市民社会	1前		2			1				
			市民活動論	1後		2				1			
			現代社会とコミュニケーション	2後		2							兼1
			社会調査論	2前		2							兼1
			宗教と社会	2後		2							兼1
			情報と倫理	1後		2							兼1
			情報社会論	1後		2							兼1
			地域と経済	2前		2		1					
			非営利組織マネジメント論	2後		2			1				
			コミュニティ形成論	2後		2		1					
			ソーシャルビジネス論	3前		2			1				
			地域と環境	2前		2		1					
			犯罪と社会	2前		2							兼1
			地方自治論	3前		2		1					
			地域社会論	1後		2							兼1
			現代家族論	2前		2							兼1
			グローバリゼーション論	3前		2							兼1
			社会問題論	2後		2							兼1
			情報技術論	2後		2			1				
			コミュニティプランニング論	3後		2		1					
			情報マーケティング論	2後		2							兼1
			社会福祉発達史	2後		2		1					
			災害と防災	2後		2		1					
			ターミナルケア論	3後		2							兼1
			高齢者福祉	1後		2							兼1
			障害者福祉	1後		2							兼1
			児童福祉	1後		2							兼1
			社会保障論1	2前		2				1			
			社会保障論2	2後		2				1			
			地域福祉論1	2前		2		1					
			地域福祉論2	2後		2		1					
			心理学	1前		2				1			
			社会学	1前		2							兼1
			医学一般	2前		2							兼1
			社会福祉調査論	2前		2							兼1
			介護概論	2前		2							兼1
			公的扶助論	2後		2							兼1
			就労支援	2後		1				1			
			司法福祉論	2後		1							兼1
			福祉行財政と福祉計画	3前		2				1			
			社会福祉施設経営論	3前		2							兼1
			保健医療サービス論	3前		2							兼1
			権利擁護と成年後見制度	3前		2							兼1
			相談援助の基盤と専門職1	1前		2			1				
			相談援助の基盤と専門職2	1後		2			1				
			相談援助の理論と方法1	1後		2							兼1
			相談援助の理論と方法2	2前		2							兼1
			相談援助の理論と方法3	2後		2							兼1
			相談援助の理論と方法4	3前		2							兼1
	プロジェクト研究（実践研究）		プロジェクト研究入門Ⅰ	1前		2		4	3	1			
			プロジェクト研究入門Ⅱ	1後		2		3	2				
			プロジェクト研究実践Ⅰ	2前		4		2	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅱ	2後		4		2	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅲ	3前		4		3	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅳ	3後		4		3	2	1			
			社会福祉援助技術演習1	1後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習2	2前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習3	2後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習4	3前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習5	4前		2			1	1			兼1
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2後		2			1	2			
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	4前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習	3後		4			1	2			兼3
			社会福祉学特殊演習Ⅰ	4前		2				1			
			社会福祉学特殊演習Ⅱ	4後		2				1			
	卒業研究		卒業研究	4通	8			3	2	3	0	0	
	キ		日本国憲法	1・2・3・4前・後		2							兼1
			発想から表現へ	1・2・3・4後		2							兼1
			思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
			日本語表現（入門）	1・2・3・4前・後		2							兼1
			日本語表現（実践）	2・3・4前		2							兼1
			探究基礎演習	1・2・3・4後		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
			インターンシップ1大学コンソ京都	2・3後		2							兼1
			インターンシップ2大谷大学	1・2・3・4後		2							兼1

【令和３年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	1前・後	4			4	1				兼2
			人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4			1	1				兼17
	大学導入		学びの発見	1前	2					1			
	必修外国語		英語Ⅰ	1前・後	4								兼6
			英語Ⅱ	2前・後	4								兼6
学科専門科目	演習		コミュニティデザイン演習Ⅰa	1前	2			4	2	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅰb	1後	2			4	3	1			
			コミュニティデザイン演習Ⅱa	2前	2			3	3	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅱb	2後	2			3	3	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅲa	3前	2			3	3	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅲb	3後	2			3	3	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅳa	4前	2			5	2	1			
			コミュニティデザイン演習Ⅳb	4後	2			5	2	1			
	概論	A	仏教社会論	2前	2								兼4
			社会学概論	2後	2								兼1
			コミュニティデザイン概論	1前	2			1					
		B	公共政策概論1	1前		2							兼1
			公共政策概論2	1後		2							兼1
			社会情報学概論1	1前		2		1					
			社会情報学概論2	1後		2			1				
			現代社会と福祉1	1前		2		1					
			現代社会と福祉2	1後		2		1					
	講義		ボランティア論	1前		2				1			
			現代社会論	1前		2							兼1
			生活問題論	1前		2							兼1
			社会政策論	1前		2							兼1
			メディアと市民社会	1前		2			1				
			市民活動論	1後		2				1			
			現代社会とコミュニケーション	2後		2							兼1
			社会調査論	2・3前		2							兼1
			宗教と社会	2後		2							兼1
			情報と倫理	1後		2							兼1
			情報社会論	1後		2							兼1
			地域と経済	2前		2		1					
			非営利組織マネジメント論	2後		2			1				
			コミュニティ形成論	2後		2		1					
			ソーシャルビジネス論	3前		2			1				
			地域と環境	2前		2		1					
			犯罪と社会	2前		2							兼1
			地方自治論	3前		2		1					
			地域社会論	1後		2							兼1
			現代家族論	2前		2							兼1
			グローバリゼーション論	3前		2							兼1
			社会問題論	2後		2							兼1
			情報技術論	2後		2			1				
			コミュニティプランニング論	3後		2		1					
			情報マーケティング論	2後		2							兼1
			社会福祉発達史	2後		2		1					
			災害と防災	2後		2		1					
			ターミナルケア論	3後		2							兼1
			高齢者福祉	1後		2							兼1
			障害者福祉	1後		2							兼1
			児童福祉	1後		2							兼1
			社会保障論1	2前		2				1			
			社会保障論2	2後		2				1			
			地域福祉論1	2前		2		1					
			地域福祉論2	2後		2		1					
			心理学	1前		2				1			
			社会学	1前		2							兼1
			医学一般	2前		2							兼1
			社会福祉調査論	2前		2							兼1
			介護概論	2前		2							兼1
			公的扶助論	2後		2							兼1
			就労支援	2後		1				1			
			司法福祉論	2後		1							兼1
			福祉行財政と福祉計画	3前		2				1			
			社会福祉施設経営論	3前		2							兼1
			保健医療サービス論	3前		2							兼1
			権利擁護と成年後見制度	3前		2							兼1
			相談援助の基盤と専門職1	1前		2			1				
			相談援助の基盤と専門職2	1後		2			1				
			相談援助の理論と方法1	1後		2							兼1
			相談援助の理論と方法2	2前		2							兼1
			相談援助の理論と方法3	2後		2							兼1
			相談援助の理論と方法4	3前		2							兼1
	プロジェクト研究（実践研究）		プロジェクト研究入門Ⅰ	1前		2		4	2	2			
			プロジェクト研究入門Ⅱ	1後		2		3	2				
			プロジェクト研究実践Ⅰ	2前		4		4	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅱ	2後		4		4	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅲ	3前		4		4	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅳ	3後		4		4	2	1			
			社会福祉援助技術演習1	1後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習2	2前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習3	2後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習4	3前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習5	4前		2		1	1	1			
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2後		2			1	2			
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	4前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習	3後		4		2	1	2			兼3
			社会福祉学特殊演習Ⅰ	4前		2				1			
			社会福祉学特殊演習Ⅱ	4後		2				1			
	卒業研究		卒業研究	4通	8			5	2	1	0	0	
	キ		日本国憲法 1	1・2・3・4前		2							兼1
			日本国憲法 2	1・2・3・4後		2							兼1
			日本国憲法 3	1・2・3・4前		2							兼1
			発想から表現へ	1・2・3・4後		2							兼1
			思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
			日本語表現（入門）	1・2前・後		2							兼1
			日本語表現（実践）	2・3・4前		2							兼1
			探究基礎演習（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
			インターンシップ特殊演習1 大学コンソ京都	2・3後		2							兼1
			インターンシップ特殊演習2 大谷大学	1・2・3・4後		2							兼1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	リア形成系科目	キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
		キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
		ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
		ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
		PC利用による表計算入門	2・3・4前		2							兼1
		PC利用による表計算応用	2・3・4後		2							兼1
		PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
		PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
		画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
		画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
		PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
		PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
		Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
		Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
現代総合科目	自然生命系科目	生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
		自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
		地震と火山1	1・2・3・4前		2		1					
		地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
		こころの科学	1・2前		2							兼1
		人間理解の心理学	1・2後		2							兼1
		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4後		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	1・2・3・4前		2							兼1
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼1
		中国の宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼1
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4前		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
合計(171科目)			－	48	312	0	5	3	3	0	0	兼96

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、概論[A]6単位、概論[B]4単位、講義科目から38単位、実践研究（プロジェクト研究）から20単位、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の単位として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
	リア形成系科目	キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
		キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
		キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
		ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
		ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
		PC利用による表計算入門	**1・2・3・4**前		2							兼1
		PC利用による表計算応用	**1・2・3・4**後		2							兼1
		PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
		PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
		画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
		画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
		PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
		PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
		Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
		Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
		フィールドワーク特殊演習（PBL）	**1・2・3・4後**		**2**							**兼1**
		青年と社会教育	**2・3・4前**		**2**							**兼1**
		社会福祉と社会教育	**2・3・4前**		**2**							**兼1**
現代総合科目	自然生命系科目	生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
		自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
		地震と火山1	1・2・3・4前		2		1					
		地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
		こころの科学	**1・2・3・4**前		2							兼1
		人間理解の心理学	**1・2・3・4**後		2							兼1
		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4**前**		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	**2・3・4後**		2							兼1
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4**前**		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
		心理療法概論	**2・3・4前**		**2**							**兼1**
		心理療法と教育	**2・3・4後**		**2**							**兼1**
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化**（未開講）**	1・2・3・4**後**		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼**2**
		中国の宗教と文化**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼**2**
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4**後**		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4**前**		2							兼1
合計(**178**科目)			－	48	**320**	0	5	3	3	0	0	**兼105**

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、概論[A]6単位、概論[B]4単位、講義科目から38単位、実践研究（プロジェクト研究）から20単位、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の単位　として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

【平成３０年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	1前・後	4								兼3
			人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4			1					兼12
	大学導入		学びの発見	1前	2					1			
	必修外国語		英語Ⅰ	1前・後	4								兼9
			英語Ⅱ	2前・後	4								兼12
学科専門科目	演習		コミュニティデザイン演習Ⅰa	1前	2			4	3	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅰb	1後	2			4	2	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅱa	2前	2			2	3	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅱb	2後	2			2	3	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅲa	3前	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅲb	3後	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅳa	4前	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅳb	4後	2			3	2	3			
	概論	A	仏教社会論	2前	2								兼1
			社会学概論	2後	2								兼1
			コミュニティデザイン概論	1前	2			1					
		B	公共政策概論1	1前		2							兼1
			公共政策概論2	1後		2							兼1
			社会情報学概論1	1前		2		1					
			社会情報学概論2	1後		2			1				
			現代社会と福祉1	1前		2		1					
			現代社会と福祉2	1後		2		1					
	講義		ボランティア論	1前		2				1			
			現代社会論	1前		2							兼1
			生活問題論	1前		2							兼1
			社会政策論	1前		2							兼1
			メディアと市民社会	1前		2			1				
			市民活動論	1後		2				1			
			現代社会とコミュニケーション	2後		2							兼1
			社会調査論	2前		2							兼1
			宗教と社会	2後		2							兼1
			情報と倫理	1後		2							兼1
			情報社会論	1後		2							兼1
			地域と経済	2前		2		1					
			非営利組織マネジメント論	2後		2			1				
			コミュニティ形成論	2後		2		1					
			ソーシャルビジネス論	3前		2			1				
			地域と環境	2前		2		1					
			犯罪と社会	2前		2							兼1
			地方自治論	3前		2		1					
			地域社会論	1後		2							兼1
			現代家族論	2前		2							兼1
			グローバリゼーション論	3前		2							兼1
			社会問題論	2後		2							兼1
			情報技術論	2後		2			1				
			コミュニティプランニング論	3後		2		1					
			情報マーケティング論	2後		2							兼1
			社会福祉発達史	2後		2		1					
			災害と防災	2後		2		1					
			ターミナルケア論	3後		2							兼1
			高齢者福祉	1後		2							兼1
			障害者福祉	1後		2							兼1
			児童福祉	1後		2							兼1
			社会保障論1	2前		2				1			
			社会保障論2	2後		2				1			
			地域福祉論1	2前		2		1					
			地域福祉論2	2後		2		1					
			心理学	1前		2				1			
			社会学	1前		2							兼1
			医学一般	2前		2							兼1
			社会福祉調査論	2前		2							兼1
			介護概論	2前		2							兼1
			公的扶助論	2後		2							兼1
			就労支援	2後		1				1			
			司法福祉論	2後		1							兼1
			福祉行財政と福祉計画	3前		2				1			
			社会福祉施設経営論	3前		2							兼1
			保健医療サービス論	3前		2							兼1
			権利擁護と成年後見制度	3前		2							兼1
			相談援助の基盤と専門職1	1前		2			1				
			相談援助の基盤と専門職2	1後		2			1				
			相談援助の理論と方法1	1後		2							兼1
			相談援助の理論と方法2	2前		2							兼1
			相談援助の理論と方法3	2後		2							兼1
			相談援助の理論と方法4	3前		2							兼1
	プロジェクト研究（実践研究）		プロジェクト研究入門Ⅰ	1前		2		4	3	1			
			プロジェクト研究入門Ⅱ	1後		2		3	2				
			プロジェクト研究実践Ⅰ	2前		4		2	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅱ	2後		4		2	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅲ	3前		4		3	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅳ	3後		4		3	2	1			
			社会福祉援助技術演習1	1後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習2	2前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習3	2後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習4	3前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習5	4前		2			1	1			兼1
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2後		2			1	2			
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	4前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習	3後		4			1	2			兼3
			社会福祉学特殊演習Ⅰ	4前		2				1			
			社会福祉学特殊演習Ⅱ	4後		2				1			
	卒業研究		卒業研究	4通	8			3	2	3	0	0	
	キャリア形成系科目		日本国憲法	1・2・3・4前・後		2							兼1
			発想から表現へ	1・2・3・4前		2							兼1
			思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
			日本語表現（入門）	1・2前・後		2							兼1
			日本語表現（実践）	2・3・4後		2							兼1
			探究基礎演習	1・2・3・4後		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
			インターンシップ1 大学コンソ京都	2・3後		2				1			
			インターンシップ2 大谷大学	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
			キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用による表計算入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PC利用による表計算応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
			Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
			Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
			生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
			自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
			地震と火山1	1・2・3・4前		2		1					
			地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
			地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
			こころの科学	1・2・3・4前		2							兼1

【令和元年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	1前・後	4				1				兼2
			人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4			1	1				兼16
	大学導入		学びの発見	1前	2					1			
	必修外国語		英語Ⅰ	1前・後	4								兼6
			英語Ⅱ	2前・後	4								兼6
学科専門科目	演習		コミュニティデザイン演習Ⅰa	1前	2			4	2	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅰb	1後	2			4	2	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅱa	2前	2			2	3	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅱb	2後	2			2	3	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅲa	3前	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅲb	3後	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅳa	4前	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅳb	4後	2			3	2	3			
	概論	A	仏教社会論	2前	2								兼4
			社会学概論	2後	2								兼1
			コミュニティデザイン概論	1前	2			1					
		B	公共政策概論1	1前		2							兼1
			公共政策概論2	1後		2							兼1
			社会情報学概論1	1前		2		1					
			社会情報学概論2	1後		2			1				
			現代社会と福祉1	1前		2		1					
			現代社会と福祉2	1後		2		1					
	講義		ボランティア論	1前		2				1			
			現代社会論	1前		2							兼1
			生活問題論	1前		2							兼1
			社会政策論	1前		2							兼1
			メディアと市民社会	1前		2			1				
			市民活動論	1後		2				1			兼1
			現代社会とコミュニケーション	2後		2							兼1
			社会調査論	2・3前		2							兼1
			宗教と社会	2後		2							兼1
			情報と倫理	1後		2							兼1
			情報社会論	1後		2							兼1
			地域と経済	2前		2		1					
			非営利組織マネジメント論	2後		2			1				
			コミュニティ形成論	2後		2		1					
			ソーシャルビジネス論	3前		2			1				
			地域と環境	2前		2		1					
			犯罪と社会	2前		2							兼1
			地方自治論	3前		2		1					
			地域社会論	1後		2							兼1
			現代家族論	2前		2							兼1
			グローバリゼーション論	3前		2							兼1
			社会問題論	2後		2							兼1
			情報技術論	2後		2			1				
			コミュニティプランニング論	3後		2		1					
			情報マーケティング論	2後		2							兼1
			社会福祉発達史	2後		2		1					
			災害と防災	2後		2		1					
			ターミナルケア論	3後		2							兼1
			高齢者福祉	1後		2							兼1
			障害者福祉	1後		2							兼1
			児童福祉	1後		2							兼1
			社会保障論1	2前		2				1			
			社会保障論2	2後		2				1			
			地域福祉論1	2前		2		1					
			地域福祉論2	2後		2		1					
			心理学	1前		2				1			
			社会学	1前		2							兼1
			医学一般	2前		2							兼1
			社会福祉調査論	2前		2		1					
			介護概論	2前		2							兼1
			公的扶助論	2後		2							兼1
			就労支援	2後		1				1			
			司法福祉論	2後		1							兼1
			福祉行財政と福祉計画	3前		2				1			
			社会福祉施設経営論	3前		2							兼1
			保健医療サービス論	3前		2							兼1
			権利擁護と成年後見制度	3前		2							兼1
			相談援助の基盤と専門職1	1前		2			1				
			相談援助の基盤と専門職2	1後		2			1				
			相談援助の理論と方法1	1後		2							兼1
			相談援助の理論と方法2	2前		2							兼1
			相談援助の理論と方法3	2後		2							兼1
			相談援助の理論と方法4	3前		2							兼1
	プロジェクト研究（実践研究）		プロジェクト研究入門Ⅰ	1前		2		4	2	2			
			プロジェクト研究入門Ⅱ	1後		2		3	2				
			プロジェクト研究実践Ⅰ	2前		4		4	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅱ	2後		4		4	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅲ	3前		4		3	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅳ	3後		4		3	2	1			
			社会福祉援助技術演習1	1後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習2	2前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習3	2後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習4	3前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習5	4前		2			1	1			兼1
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2後		2			1	2			
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	4前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習	3後		4			1	2			兼3
			社会福祉学特殊演習Ⅰ	4前		2				1			
			社会福祉学特殊演習Ⅱ	4後		2				1			
	卒業研究		卒業研究	4通	8			3	2	3	0	0	
	キャリア形成系科目		日本国憲法1	1・2・3・4前		2							兼1
			日本国憲法2	1・2・3・4後		2							兼1
			日本国憲法3	1・2・3・4前		2							兼1
			発想から表現へ	1・2・3・4後		2							兼1
			思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
			日本語表現（入門）	1・2前・後		2							兼1
			日本語表現（実践）	2・3・4前		2							兼1
			探究基礎演習	1・2・3・4後		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
			インターンシップ1 大学コンソ京都	2・3後		2							兼1
			インターンシップ2 大谷大学	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
			キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用による表計算入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PC利用による表計算応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
			Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
			Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
			生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
			自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
			地震と火山1	1・2・3・4前		2		1					
			地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
			地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
			地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
			こころの科学	1・2・3・4前		2							兼1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
現代総合科目	自然生命系科目	人間理解の心理学	1・2・3・4後		2							兼1
		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4後		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	**2・3・4**前		2							兼1
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化	1・2・3・4**後**		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼1
		中国の宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼1
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4**後**		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
合計（171科目）			－	48	312	0	5	3	3	0	0	兼96

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、概論[A]6単位、概論[B]4単位、講義科目から
36単位、実践研究（プロジェクト研究）から20単位、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の単位
として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、
フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
現代総合科目	自然生命系科目	人間理解の心理学	**1・2・3・4**後		2							兼1
		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4**前**		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	**2・3・4後**		2							兼1
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化	1・2・3・4**後**		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化	1・2・3・4後		2							兼**2**
		中国の宗教と文化**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼1
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4**後**		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
合計（**173**科目）			－	48	**316**	0	5	3	3	0	0	**兼102**

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、概論[A]6単位、概論[B]4単位、講義科目から
36単位、実践研究（プロジェクト研究）から20単位、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の単位
として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、
フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

【令和２年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	1前・後	4				1				兼2
			人間学Ⅱ	2・3・4前・後	4			1	1				兼17
	大学導入		学びの発見	1前	2					1			
	必修外国語		英語Ⅰ	1前・後	4								兼6
			英語Ⅱ	2前・後	4								兼6
学科専門科目	演習		コミュニティデザイン演習Ⅰa	1前	2			4	2	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅰb	1後	2			4	3	1			
			コミュニティデザイン演習Ⅱa	2前	2			2	3	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅱb	2後	2			2	3	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅲa	3前	2			3	3	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅲb	3後	2			3	3	2			
			コミュニティデザイン演習Ⅳa	4前	2			3	2	3			
			コミュニティデザイン演習Ⅳb	4後	2			3	2	3			
	概論	A	広教社会論	2前	2								兼4
			社会学概論	2後	2								兼1
			コミュニティデザイン概論	1前	2			1					
		B	公共政策概論1	1前		2							兼1
			公共政策概論2	1後		2							兼1
			社会情報学概論1	1前		2		1					
			社会情報学概論2	1後		2			1				
			現代社会と福祉1	1前		2		1					
			現代社会と福祉2	1後		2		1					
	講義		ボランティア論	1前		2				1			
			現代社会論	1前		2							兼1
			生活問題論	1前		2							兼1
			社会政策論	1前		2							兼1
			メディアと市民社会	1前		2			1				
			市民活動論	1後		2				1			兼1
			現代社会とコミュニケーション	2後		2							兼1
			社会調査論	2・3前		2							兼1
			宗教と社会	2後		2							兼1
			情報と倫理	1後		2							兼1
			情報社会論	1後		2							兼1
			地域と経済	2前		2		1					
			非営利組織マネジメント論	2後		2			1				
			コミュニティ形成論	2後		2		1					
			ソーシャルビジネス論	3前		2			1				
			地域と環境	2前		2		1					
			犯罪と社会	2前		2							兼1
			地方自治論	3前		2		1					
			地域社会論	1後		2							兼1
			現代家族論	2前		2							兼1
			グローバリゼーション論	3前		2							兼1
			社会問題論	2後		2							兼1
			情報技術論	2後		2			1				
			コミュニティプランニング論	3後		2		1					
			情報マーケティング論	2後		2							兼1
			社会福祉発達史	2後		2		1					
			災害と防災	2後		2		1					
			ターミナルケア論	3後		2							兼1
			高齢者福祉	1後		2							兼1
			障害者福祉	1後		2							兼1
			児童福祉	1後		2							兼1
			社会保障論1	2前		2				1			
			社会保障論2	2後		2				1			
			地域福祉論1	2前		2		1					
			地域福祉論2	2後		2		1					
			心理学	1前		2				1			
			社会学	1前		2							兼1
			医学一般	2前		2							兼1
			社会福祉調査論	2前		2							兼1
			介護概論	2前		2							兼1
			公的扶助論	2後		2							兼1
			就労支援	2後		1				1			
			司法福祉論	2後		1							兼1
			福祉行財政と福祉計画	3前		2				1			
			社会福祉施設経営論	3前		2							兼1
			保健医療サービス論	3前		2							兼1
			権利擁護と成年後見制度	3前		2							兼1
			相談援助の基盤と専門職1	1前		2			1				
			相談援助の基盤と専門職2	1後		2			1				
			相談援助の理論と方法1	1後		2							兼1
			相談援助の理論と方法2	2前		2							兼1
			相談援助の理論と方法3	2後		2							兼1
			相談援助の理論と方法4	3前		2							兼1
	プロジェクト研究（実践研究）		プロジェクト研究入門Ⅰ	1前		2		4	2	2			
			プロジェクト研究入門Ⅱ	1後		2		3	2				
			プロジェクト研究実践Ⅰ	2前		4		4	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅱ	2後		4		4	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅲ	3前		4		4	2	1			
			プロジェクト研究実践Ⅳ	3後		4		4	2	1			
			社会福祉援助技術演習1	1後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習2	2前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習3	2後		2							兼2
			社会福祉援助技術演習4	3前		2							兼2
			社会福祉援助技術演習5	4前		2			1	1			兼1
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2後		2			1	2			
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	4前		2				1			兼3
			社会福祉援助技術現場実習	3後		4		2	1	2			兼3
			社会福祉学特殊演習Ⅰ	4前		2				1			
			社会福祉学特殊演習Ⅱ	4後		2				1			
	卒業研究		卒業研究	4通	8			3	2	3	0	0	
	キャリア形成系科目		日本国憲法１	1・2・3・4前		2							兼1
			日本国憲法２	1・2・3・4後		2							兼1
			日本国憲法３	1・2・3・4前		2							兼1
			発想から表現へ	1・2・3・4後		2							兼1
			思考法入門	1・2・3・4後		2							兼1
			日本語表現（入門）	1・2前・後		2							兼1
			日本語表現（実践）	2・3・4前		2							兼1
			探究基礎演習（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉1	1・2・3・4前		2							兼1
			ポルトガル語圏のくらしと言葉2	1・2・3・4後		2							兼1
			インターンシップ1 大学コンソ京都（未開講）	2・3後		2							兼1
			インターンシップ2 大谷大学（未開講）	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン概論1	1・2・3・4前		2							兼1
			キャリアデザイン概論2	1・2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践1	2・3・4後		2							兼1
			キャリアデザイン実践2	3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング入門	1・2・3・4前		2							兼1
			ワード・プロセッシング応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用による表計算入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PC利用によるる表計算応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるプレゼンテーション	1・2・3・4後		2							兼1
			PC利用によるレポート・論文技法	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理入門	1・2・3・4前		2							兼1
			画像処理応用	1・2・3・4後		2							兼1
			PCミュージック入門	1・2・3・4前		2							兼1
			PCミュージック応用	1・2・3・4後		2							兼1
			Webサイト構築入門	1・2・3・4前		2							兼1
			Webサイト構築応用	1・2・3・4後		2							兼1
			フィールドワーク特殊演習（PBL）	1・2・3・4後		2							兼1
			青年と社会教育	2・3・4前		2							兼1
			社会福祉と社会教育	2・3・4後		2							兼1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
現代総合科目	自然生命系科目	生命のしくみと多様性	1・2・3・4前		2							兼1
		自然と生物の科学	1・2・3・4後		2							兼1
		地震と火山1	1・2・3・4前		2		1					
		地震と火山2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		地球科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		地球環境と生命の共進化	1・2・3・4後		2							兼1
		こころの科学	**1・2・3・4**前		2							兼1
		人間理解の心理学	**1・2・3・4**後		2							兼1
		スポーツと健康の科学1	1・2・3・4前		2							兼1
		スポーツと健康の科学2	1・2・3・4後		2							兼1
		脳とこころ	1・2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ論	1・2・3・4後		2							兼1
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	1・2・3・4**前**		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		障害者スポーツ研究演習Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		カウンセリング	**2・3・4後**		2							兼1
		身体活動Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼2
		身体活動Ⅰ（障害者スポーツ）	1・2・3・4前		1							兼1
		身体活動Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼2
		身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）	1・2・3・4後		1							兼1
		人間関係と身体表現	1・2・3・4**後**		2							兼1
		障害者・病者と共に生きる	1・2・3・4前		2							兼1
		心理療法概論	**2・3・4前**		**2**							**兼1**
		心理療法と教育	**2・3・4後**		**2**							**兼1**
	歴史文化系科目	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼1
		ヨーロッパの宗教と文化（フランス）**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼1
		現代朝鮮半島事情	1・2・3・4後		2							兼1
		現代東南アジア事情	1・2・3・4後		2							兼1
		東南アジアの宗教文化	1・2・3・4前		2							兼1
		近代日本とアジア	1・2・3・4後		2							兼1
		東アジアの宗教文化	1・2・3・4**後**		2							兼1
		古都の歴史と文化	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教と美術	1・2・3・4後		2							兼1
		インドの宗教と文化**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼**2**
		中国の宗教と文化**（未開講）**	1・2・3・4後		2							兼**2**
		人と文化	2・3・4後		2							兼1
		教育学1	1・2・3・4前		2							兼1
		教育学2	1・2・3・4後		2							兼1
		ブッダに学ぶ	1・2・3・4前		2							兼1
		親鸞に学ぶ	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と大谷派教団1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と大谷派教団2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落差別と浄土真宗1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落差別と浄土真宗2	1・2・3・4後		2							兼1
		部落史論1	1・2・3・4前		2							兼1
		部落史論2	1・2・3・4後		2							兼1
		反カースト運動論	1・2・3・4後		2							兼1
		アイヌ民族と共に	1・2・3・4**後**		2							兼1
		アジア侵略と宗教	1・2・3・4後		2							兼1
		非戦の系譜	1・2・3・4前		2							兼1
		仏教福祉論	1・2・3・4後		2							兼1
合計（**178**科目）			－	48	**328**	0	5	3	3	0	0	**兼106**

卒業要件及び履修方法

①共通基礎科目18単位以上（人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位）
②学科専門科目92単位以上（演習16単位、概論[A]8単位、概論[B]4単位、講義科目から
38単位、実践研究（プロジェクト研究）から20単位、卒業研究8単位を修得）
③現代総合科目から6単位以上を修得
④他学部開講科目を興味・関心により履修した場合、最大8単位までを自己選択科目の単位
として認める
①～④の科目を修得し、124単位以上を履修すること

＊必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、
フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる
＊履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を
黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるように してください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、
「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（1）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・専任担当者の担当コマ数の事情（旧学科科目の担当開講科目数の増加）により別の専任教員に担当を変更。
「コミュニティデザイン演習Ｉｂ」　講師→准教授
・前年度受講者の状況や要望、兼任担当者の事情等を勘案した受講対象学年・開講期別の変更
「発想から表現」　後期→前期
「日本語表現（入門）」　1・2・3・4→1・2
「日本語表現（実践）」　前期→後期
「PC利用による表計算入門」　2・3・4→1・2・3・4
「PC利用による表計算応用」　2・3・4→1・2・3・4
「こころの科学」　1・2→1・2・3・4
「人間理解の心理学」　1・2→1・2・3・4
「カウンセリング」　1・2・3・4→2・3・4
「東アジアの宗教文化」　前期→後期
「アイヌ民族と共に」　前期→後期

【令和元年度】

・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことによる変更。
「人間学Ⅱ」：教授1・兼12→教授1・准教授1・兼16、
「プロジェクト研究実践Ⅰ・Ⅱ」：教授2・准教授2・講師1→教授4・准教授2・講師1、
「日本国憲法」→「日本国憲法１・２・３」兼1
・受講人数の適正化、教育の質保証を図るために科目担当教員数を増加したことによる変更。
「コミュニティデザイン演習Ｉｂ」：教授4・准教授2・講師2→教授4・准教授3・講師2、「仏教社会論」：兼1→兼4、
「市民活動論」：講師1→講師1・兼1、「インドの宗教と文化」：兼1→兼2
・兼担教員の定年退職に伴う担当者変更による変更。
「人間学Ｉ」：兼3→准教授1・兼2
・専任担当者の担当コマ数の事情（旧学科科目の担当開講科目数の増加）により別の専任教員に担当を変更。
「インターンシップ１大学コンソ京都」：講師1→兼1
・兼任担当者の就任辞退に伴う担当者変更による変更。
「英語Ｉ」：兼9→兼6、「英語Ⅱ」：兼12→兼6、「社会福祉調査論」：兼1→教授1、
「生涯スポーツ・レクリエーション活動」：後期→前期
・前年度の誤記・修正漏れ
「コミュニティデザイン演習Ｉａ」：准教授3→2、「社会調査論」2前→2・3前、
「プロジェクト研究入門Ｉ」：教授4・准教授3・講師1→教授4・准教授2・講師2
「発想から表現へ」：前期→後期、「日本語表現（実践）」：後期→前期、「地震と火山１」：兼1→教授1、
「カウンセリング」：前期→後期

【令和２年度】

・担当者交代に伴う変更
「人間学Ⅱ」　教授1、准教授1、兼16→教授1、准教授1、兼17（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「コミュニティデザイン演習Ｉｂ」　教授4、准教授3、講師2→教授4、准教授3、講師1（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「コミュニティデザイン演習Ⅲａ・ｂ」　教授3、准教授2、講師3→教授3、准教授3、講師2（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「社会福祉調査論」　教授1→兼1（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「中国の宗教と文化」　兼1→兼2（担当教員の持ちコマ調整による変更）

・担当者追加に伴う変更（教育環境の改善）
「プロジェクト研究実践Ⅲ・Ⅳ」　教授3、准教授2、講師1→教授4、准教授2、講師1
「社会福祉援助技術現場実習」　准教授1、講師2、兼3→教授2、准教授1、講師2、兼3

・授業科目の新規開設
「青年と社会教育」、「社会福祉と社会教育」、「心理療法概論」、「心理療法と教育」（2020年社会教育課程法改正に対応）
「フィールドワーク特殊演習（PBL）」（「京都市京セラ美術館」をフィールドとしたPBL科目の新規開設）

・開講期別変更
「人間関係と身体表現」：前期→後期（担当教員の体調不良による変更）

【令和３年度】

・担当者交代に伴う変更
「コミュニティデザイン演習Ⅱａ・ｂ」　教授2、准教授3、講師3→教授3、准教授3、講師2（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「コミュニティデザイン演習Ⅳａ・ｂ」　教授3、准教授2、講師3→教授5、准教授2、講師1（担当教員の持ちコマ調整による変更）
「市民活動論」　講師1、兼1→講師1（担当教員の退職による変更）
「社会福祉援助技術演習５」　准教授1、講師1、兼1→教授1、准教授1、講師1（担当教員の個人的事情による就任辞退に伴う変更）
「卒業研究」　教授3、准教授2、講師3→教授5、准教授2、講師1（担当教員の持ちコマ調整による変更）

・授業名称の変更
「インターンシップ１大学コンソ京都」　→　「インターンシップ特殊演習１大学コンソ京都」
「インターンシップ２大谷大学」　→　「インターンシップ特殊演習２大谷大学」

・開講期別変更
「社会福祉と社会教育」：後期→前期（担当教員（兼任）の本務先都合による担当辞退に伴う担当者変更により）
「人間関係と身体表現」：後期→前期（担当教員（兼担）の体調不良により20年度に期別変更を行ったが、21年度より当初に届け出ていた期別に戻した）
「仏教社会論」：後期→前期（担当教員（兼任）の本務先都合により）

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
144 科目	204 科目	0 科目	348 科目	144 科目 [0]	217 科目 [13]	0 科目 [0]	361 科目 [13]	・共通基礎科目「人間学Ⅱ」を6科目増設 ・現代総合科目「日本国憲法」を2科目増設 ・現代総合科目「青年と社会教育」など5科目増設

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
2	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
3	東アジアの宗教文化	2	1・2・3・4	一般	選択	担当教員（兼担）の在外研究により
4	インドの宗教と文化	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
5	中国の宗教と文化	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生向け情報提供システムにて学生へ周知を行った。

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{5}{348} = 1.43\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	~~0.00 ㎡~~ 41,194.92 ㎡	~~44,452.60 ㎡~~ ~~41,194.92 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~44,452.60 ㎡~~ 41,194.92 ㎡	~~大谷大学短期大学部と共用~~ 大谷大学短期大学部の廃止によるもの（在籍者0名のため廃止認可申請中）（3） 旧学寮敷地を、建物譲渡特約付定期借地契約したことによるもの（3） 用途変更及び湖西キャンパス人工芝化工事の際の再測量結果によるもの（2）
	運動場用地	~~0.00 ㎡~~ 23,655.48 ㎡	~~29,680.12 ㎡~~ ~~23,655.48 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~29,680.12 ㎡~~ 23,655.48 ㎡	
	小計	~~0.00 ㎡~~ 64,850.40 ㎡	~~74,132.72 ㎡~~ ~~64,850.40 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~74,132.72 ㎡~~ 64,850.40 ㎡	
	その他	~~0.00 ㎡~~ 20,084.21 ㎡	~~11,464.30 ㎡~~ ~~20,746.62 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~11,464.30 ㎡~~ ~~20,746.62 ㎡~~ 20,084.21 ㎡	
	合計	~~0.00 ㎡~~ 84,934.61 ㎡	~~85,597.02 ㎡~~ 0.00 ㎡	0.00 ㎡	~~85,597.02 ㎡~~ 84,934.61 ㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		~~6,236.11 ㎡~~ ~~6,160.94 ㎡~~ ~~6,136.29 ㎡~~ ~~6,444.66 ㎡~~ 53,597.58 ㎡ ~~(6,236.11 ㎡)~~ ~~(6,160.94 ㎡)~~ ~~(6,136.29 ㎡)~~ ~~(6,444.66 ㎡)~~ (53,597.58 ㎡)	~~47,260.21 ㎡~~ ~~46,989.56 ㎡~~ ~~47,117.63 ㎡~~ ~~46,999.11 ㎡~~ 0.00 ㎡ ~~(47,260.21 ㎡)~~ ~~(46,989.56 ㎡)~~ ~~(47,117.63 ㎡)~~ ~~(46,999.11 ㎡)~~ (0.00 ㎡)	~~450.46 ㎡~~ ~~447.08 ㎡~~ ~~343.66 ㎡~~ ~~153.81 ㎡~~ 0.00 ㎡ ~~(450.46 ㎡)~~ ~~(447.08 ㎡)~~ ~~(343.66 ㎡)~~ ~~(153.81 ㎡)~~ (0.00 ㎡)	~~53,946.78 ㎡~~ 53,597.58 ㎡ ~~(53,946.78 ㎡)~~ (53,597.58 ㎡)	~~大谷大学短期大学部と共用~~ 大谷大学短期大学部の廃止によるもの（3） 教員の所属変更に伴う変更（元）（2）
(3) 教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設
		61 ~~63~~ ~~66~~ 室	52 ~~49~~ 室	60 ~~40~~ 室	8 室 （補助職員 0人）	1 ~~0~~ 室 （補助職員 1人）
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室数		
		社会学部　コミュニティデザイン学科		11 室		

(5) 図書・設備

新設学部等の名称	図書 冊	〔うち外国書〕	学術雑誌 種	〔うち外国書〕	電子ジャーナル	〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
社会学部コミュニティデザイン学科	889,727	〔186,467〕 ~~882,796~~	~~〔181,621〕~~	6,648	〔645〕 ~~6,561~~	~~〔667〕~~	115	~~〔0〕~~ ~~589~~	~~〔530〕~~	2,100	30	0	大学全体、大谷大学短期大学部との共用 ①学術雑誌：重複登録雑誌を除外したため（30） ②電子ジャーナル：利用実態を勘案し、契約更新時に一部解約したため（30） ③視聴覚資料：再生不能になった資料を除却したため（30） ④図書・学術雑誌：国際学部新設のため図書の増設があり、完成年度の見込み数が増加したため（2） ⑤電子ジャーナル：購読誌数増加の見込みがないため（2） ~~⑥外国書：英語以外の言語圏の図書の希望が減少し想定増加数が鈍化したため。（3）~~ ~~⑦学術雑誌：重複雑誌登録を除外したため。（3）~~
	(891,286	〔185,507〕)	(6,653	〔640〕)	(115	〔 0〕)	2,126				
	~~(882,729~~	~~〔185,538〕)~~	~~(6,610~~	~~〔640〕)~~	~~(116~~	~~〔 0〕)~~	~~(2,107)~~				
	~~(873,727~~	~~〔183,467〕)~~	~~(6,503~~	~~〔640〕)~~	~~(589~~	~~〔530〕)~~	~~(2,088)~~	(30)	(0)		
	~~(863,572~~	~~〔181,405〕)~~	~~(6,479~~	~~〔640〕)~~			~~(2,078)~~				
	~~(846,796~~	~~〔175,621〕)~~	~~(6,481~~	~~〔647〕)~~			~~(2,080)~~				
計	889,727	〔186,467〕 ~~882,796~~	~~〔181,621〕~~	6,648	〔645〕 ~~6,561~~	~~〔667〕~~	115	~~〔0〕~~ ~~589~~	~~〔530〕~~	2,100	30	0	⑤電子ジャーナル：購読誌数増加の見込みがないため（2） ~~⑥外国書：英語以外の言語圏の図書の希望が減少し想定増加数が鈍化したため。（3）~~ ~~⑦学術雑誌：重複雑誌登録を除外したため。（3）~~
	(891,286	〔185,507〕)	(6,653	〔640〕)	(115	〔 0〕)	2,126				
	~~(882,729~~	~~〔185,538〕)~~	~~(6,610~~	~~〔640〕)~~	~~(116~~	~~〔 0〕)~~	~~(2,107)~~				
	~~(873,727~~	~~〔183,467〕)~~	~~(6,503~~	~~〔640〕)~~	~~(589~~	~~〔530〕)~~	~~(2,088)~~	(30)	(0)		
	~~(863,572~~	~~〔181,405〕)~~	~~(6,479~~	~~〔640〕)~~			~~(2,078)~~				
	~~(846,796~~	~~〔175,621〕)~~	~~(6,481~~	~~〔647〕)~~			~~(2,080)~~				

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	7,604.82 ㎡	588	1,115,833

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	4,857.06 ㎡	柔道場	弓道場

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員１人当り研究費等	350 千円	350 千円	図書購入費	~~65,970 千円~~ 52,458 千円	~~65,000 千円~~ ~~63,028 千円~~ 55,917 千円	~~65,000 千円~~ 62,689 千円
	共同研究費等	~~80,000 千円~~ 54,167 千円	~~80,000 千円~~ 76,446 千円	設備購入費	~~38,300 千円~~ 40,150 千円	~~8,000 千円~~ ~~39,836 千円~~ 32,614 千円	~~8,000 千円~~ 10,997 千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,190 千円	1,140 千円	1,140 千円	1,140 千円	－ 千円	－ 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	手数料、寄付金、補助金、受取利息・配当金収入等

備考：
共同研究費等は大学全体。
図書購入費、設備購入費は、大谷大学短期大学部との共用図書および設備として購入。
図書費には、電子ジャーナル・データベースの整備費を含む。
図書購入費および設備購入費の増減は、執行の見直しおよび予算額の変更による。（30）
共同研究費等、図書購入費および設備購入費の減額は、執行の見直しによる。（元）
~~共同研究費等、図書購入費および設備購入費の増減は、予算額の変更による。（3）~~

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和３年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
　なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	大谷大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
社会学部	4	220	－	880	－	1.03	0.95	－	平成30年度	－	
ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	100	－	400	学士（社会学）	1.01	0.86	－	平成30年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	
現代社会学科	4	120	－	480	学士（社会学）	1.05	1.04	－	平成30年度	同上	
教育学部	4	130	－	520	－	1.02	1.03	－	平成30年度	－	
教育学科	4	130	－	520	学士（教育学）	1.02	1.03	－	平成30年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	
初等教育コース	4	50	－	200	学士（教育学）	1.08	1.06	－	平成30年度	同上	
幼児教育コース	4	80	－	320	学士（教育学）	0.99	1.01	－	平成30年度	同上	
文学部	4	318	－	1,246	－	1.04	0.99	－	昭和24年度	－	
真宗学科	4	60	－	240	学士（文学）	0.98	0.96	－	昭和40年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	
仏教学科	4	25	－	100	学士（文学）	0.89	0.64	－	昭和24年度	同上	
哲学科	4	50	－	200	学士（文学）	1.19	1.16	－	昭和24年度	同上	
社会学科	4	－	－	－	学士（社会学）	－	－	－	昭和40年度	同上	平成30年学生募集停止
歴史学科	4	105	－	410	学士（文学）	1.04	1.05	令和２年度	昭和40年度	同上	定員変更（5）
文学科	4	78	－	296	学士（文学）	1.03	0.92	令和２年度	昭和40年度	同上	定員変更（8）
国際文化学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成 5年度	同上	令和3年学生募集停止
人文情報学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成12年度	同上	平成30年学生募集停止
教育・心理学科	4	－	－	－	学士（教育学）	－	－	－	平成21年度	同上	平成30年学生募集停止
国際学部	4	100	－	100	－	1.03	1.03	－	令和3年度	－	
国際文化学科	4	100	－	100	学士（文学）	1.03	1.03	令和3年度	令和3年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	定員変更（10）

大学の名称	大谷大学大学院						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
文学研究科											
真宗学専攻			－								
（修士課程）	2	20	－	40	修士（文学）	0.75	0.60	－	昭和28年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.88	0.66	－	昭和30年度		
仏教学専攻			－								
（修士課程）	2	15	－	30	修士（文学）	0.06	0.06	－	昭和28年度	同上	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.55	1.00	－	昭和30年度		
哲学専攻			－								
（修士課程）	2	10	－	20	修士（文学）	0.00	0.00	－	昭和29年度	同上	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.00	0.00	－	昭和31年度		
社会学専攻			－								
（博士後期課程）	3	－	－	－	博士（文学）	－	－	－	平成13年度	同上	令和2年学生募集停止
仏教文化専攻			－								
（修士課程）	2	10	－	20	修士（文学）	0.60	0.20	－	昭和29年度	同上	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.00	0.00	－	昭和31年度		
国際文化専攻			－								
（修士課程）	2	10	－	20	修士（文学）	0.00	0.00	－	平成11年度	同上	
（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（文学）	0.00	0.00	－	平成13年度		
教育･心理学専攻			－								
（修士課程）	2	8	－	16	修士（教育学）	0.12	0.00	－	平成25年度	同上	

大学の名称	大谷大学短期大学部						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
幼児教育保育科	2	－	－	－	短期大学士（幼児教育保育学）	－	－	－	昭和24年度	京都府京都市北区小山上総町20番地	平成31年学生募集停止

大 学 の 名 称	九州大谷短期大学	学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備　　考

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所　在　地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
仏教学科	2	10	－	20	短期大学士（仏教学）	0.65	0.60	－	昭和45年度	福岡県筑後市蔵数495-1	
表現学科	2	65	－	130	短期大学士（表現学）	0.66	0.56	－	昭和45年度	同上	定員変更（15）
幼児教育学科	2	100	－	200	短期大学士（幼児教育学）	0.75	0.82	－	昭和45年度	同上	
福祉学科	2	20	－	40	短期大学士（介護福祉学）	0.50	0.45	－	平成11年度	同上	定員変更（△15）

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜社会学部　コミュニティデザイン学科＞

（1）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授 （学部長）	志藤　修史 (54) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 現代社会と福祉1 現代社会と福祉2 地方自治論 プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究
専	教授	西村　雄郎 (61) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン概論 地域と経済 コミュニティ形成論 コミュニティプランニング論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ
専	教授	平尾　良治 (60) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会福祉発達史 地域福祉論1 地域福祉論2 プロジェクト研究入門Ⅰ 卒業研究
専	教授	松川　節 (57) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb 社会情報学概論1 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授 （学部長）	志藤　修史 (54) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 現代社会と福祉1 現代社会と福祉2 地方自治論 プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 **プロジェクト研究入門Ⅰ** **プロジェクト研究入門Ⅱ**
専	教授	西村　雄郎 (61) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン概論 地域と経済 コミュニティ形成論 コミュニティプランニング論 **（削除）** **（削除）** プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ
専	教授	平尾　良治 (60) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会福祉発達史 地域福祉論1 地域福祉論2 プロジェクト研究入門Ⅰ 卒業研究
専	教授	松川　節 (57) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb 社会情報学概論1 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授 （学部長）	志藤　修史 (55) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 現代社会と福祉1 現代社会と福祉2 地方自治論 プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 **プロジェクト研究入門Ⅰ** **プロジェクト研究入門Ⅱ**
専	教授	西村　雄郎 (62) ＜平成30年4月＞ **（削除）** **（削除）** コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン概論 地域と経済 コミュニティ形成論 コミュニティプランニング論 **（削除）** **（削除）** プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ
専	教授	平尾　良治 (61) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会福祉発達史 地域福祉論1 地域福祉論2 **社会福祉調査論** プロジェクト研究入門Ⅰ 卒業研究
専	教授	松川　節 (58) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb 社会情報学概論1 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ **プロジェクト研究実践Ⅰ** **プロジェクト研究実践Ⅱ** プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授 （学部長）	志藤　修史 (56) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 現代社会と福祉1 現代社会と福祉2 地方自治論 プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 **プロジェクト研究入門Ⅰ** **プロジェクト研究入門Ⅱ** **社会福祉援助技術現場実習**
専	教授	西村　雄郎 (63) ＜平成30年4月＞ **（削除）** **（削除）** **（削除）** **（削除）** コミュニティデザイン概論 地域と経済 コミュニティ形成論 コミュニティプランニング論 **（削除）** **（削除）** プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ
専	教授	平尾　良治 (62) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会福祉発達史 地域福祉論1 地域福祉論2 **（削除）** プロジェクト研究入門Ⅰ 卒業研究 **社会福祉援助技術現場実習**
専	教授	松川　節 (59) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb 社会情報学概論1 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ **プロジェクト研究実践Ⅰ** **プロジェクト研究実践Ⅱ** プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	志藤　修史 (57) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 現代社会と福祉1 現代社会と福祉2 地方自治論 プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 **プロジェクト研究入門Ⅰ** **プロジェクト研究入門Ⅱ** **社会福祉援助技術現場実習**
専	教授	西村　雄郎 (64) ＜平成30年4月＞ **（削除）** **（削除）** **（削除）** **（削除）** **コミュニティデザイン演習Ⅳa** **コミュニティデザイン演習Ⅳb** **卒業研究** コミュニティデザイン概論 地域と経済 コミュニティ形成論 コミュニティプランニング論 **（削除）** **（削除）** プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ
専	教授	平尾　良治 (63) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会福祉発達史 地域福祉論1 地域福祉論2 **（削除）** プロジェクト研究入門Ⅰ 卒業研究 **社会福祉援助技術現場実習** **社会福祉援助技術演習5**
専	教授	松川　節 (60) ＜平成30年4月＞ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb **コミュニティデザイン演習Ⅱa** **コミュニティデザイン演習Ⅱb** **コミュニティデザイン演習Ⅳa** **コミュニティデザイン演習Ⅳb** **卒業研究** 社会情報学概論1 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ **プロジェクト研究実践Ⅰ** **プロジェクト研究実践Ⅱ** プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	鈴木　寿志 (51) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 地域と環境 災害と防災 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ 卒業研究 地震と火山1
専	准教授	酒井　恵光 (50) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会情報学概論2 情報技術論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究
専	准教授	赤澤　清孝 (43) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb メディアと市民社会 非営利組織マネジメント論 ソーシャルビジネス論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究
専	准教授	中野　加奈子 (44) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb 相談援助の基盤と専門職1 相談援助の基盤と専門職2 プロジェクト研究入門Ⅰ 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	鈴木　寿志 (51) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 地域と環境 災害と防災 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ 卒業研究 地震と火山1
専	准教授	酒井　恵光 (50) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会情報学概論2 情報技術論 （削除） プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 コミュニティデザイン演習Ⅰb
専	准教授	赤澤　清孝 (43) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb メディアと市民社会 非営利組織マネジメント論 ソーシャルビジネス論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究
専	准教授	中野　加奈子 (44) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb 相談援助の基盤と専門職1 相談援助の基盤と専門職2 プロジェクト研究入門Ⅰ 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	鈴木　寿志 (52) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 地域と環境 災害と防災 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ 卒業研究 地震と火山1
専	准教授	酒井　恵光 (51) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会情報学概論2 情報技術論 （削除） プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 コミュニティデザイン演習Ⅰb 人間学Ⅰ
専	准教授	赤澤　清孝 (44) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb メディアと市民社会 非営利組織マネジメント論 ソーシャルビジネス論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 人間学Ⅱ
専	准教授	中野　加奈子 (45) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb 相談援助の基盤と専門職1 相談援助の基盤と専門職2 プロジェクト研究入門Ⅰ 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	鈴木　寿志 (53) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 地域と環境 災害と防災 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ 卒業研究 地震と火山1 コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ
専	准教授	酒井　恵光 (52) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会情報学概論2 情報技術論 （削除） プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 コミュニティデザイン演習Ⅰb 人間学Ⅰ
専	准教授	赤澤　清孝 (45) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb メディアと市民社会 非営利組織マネジメント論 ソーシャルビジネス論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 人間学Ⅱ コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb
専	准教授	中野　加奈子 (46) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb 相談援助の基盤と専門職1 相談援助の基盤と専門職2 プロジェクト研究入門Ⅰ 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	鈴木　寿志 (54) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 地域と環境 災害と防災 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ 卒業研究 地震と火山1 コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ
専	准教授	酒井　恵光 (53) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb （削除） （削除） 社会情報学概論2 情報技術論 （削除） プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ （削除） コミュニティデザイン演習Ⅰb 人間学Ⅰ
専	准教授	赤澤　清孝 (46) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb メディアと市民社会 非営利組織マネジメント論 ソーシャルビジネス論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究入門Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究 人間学Ⅱ コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb
専	准教授	中野　加奈子 (47) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 卒業研究 相談援助の基盤と専門職1 相談援助の基盤と専門職2 プロジェクト研究入門Ⅰ 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	大原 ゆい (39) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb ボランティア論 市民活動論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究
専	講師	鎌谷　勇宏 (36) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会保障論1 社会保障論2 福祉行財政と福祉計画 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉学特殊演習Ⅰ 社会福祉学特殊演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	岡部　茜 (29) ＜平成30年4月＞	学びの発見 コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 心理学 就労支援 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 卒業研究
兼担	教授	ロバート　ローズ (64) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	織田　顕祐 (63) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	朴 一 功 (64) ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	大原 ゆい (39) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa **（削除）** コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb ボランティア論 市民活動論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究
専	講師	鎌谷　勇宏 (36) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会保障論1 社会保障論2 福祉行財政と福祉計画 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉学特殊演習Ⅰ 社会福祉学特殊演習Ⅱ 卒業研究 **プロジェクト研究入門Ⅰ**
専	講師	岡部　茜 (29) ＜平成30年4月＞	学びの発見 コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 心理学 就労支援 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 卒業研究
兼担	教授	ロバート　ローズ (64) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	**教授**	**荒瀬　克己** **(64)** **＜平成30年4月＞**	**探究基礎演習**
兼担	教授	織田　顕祐 (63) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	朴 一 功 (64) ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	大原 ゆい (40) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa **コミュニティデザイン演習Ⅰb** コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb ボランティア論 市民活動論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究
専	講師	鎌谷　勇宏 (37) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会保障論1 社会保障論2 福祉行財政と福祉計画 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉学特殊演習Ⅰ 社会福祉学特殊演習Ⅱ 卒業研究 **プロジェクト研究入門Ⅰ**
専	講師	岡部　茜 **(30)** ＜平成30年4月＞	学びの発見 コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 心理学 就労支援 社会福祉援助技術現場**実習**指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場**実習**指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場**実習**指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 卒業研究
兼任	**講師**	ロバート　ローズ (65) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	**教授**	**荒瀬　克己** **(65)** **＜平成30年4月＞**	**探究基礎演習**
兼担	教授	織田　顕祐 (64) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	**講師**	朴 一 功 (65) ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	大原 ゆい (41) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa **（削除）** コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb ボランティア論 市民活動論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ 卒業研究
専	講師	鎌谷　勇宏 (38) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb **（削除）** **（削除）** コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 社会保障論1 社会保障論2 福祉行財政と福祉計画 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉学特殊演習Ⅰ 社会福祉学特殊演習Ⅱ 卒業研究 **プロジェクト研究入門Ⅰ**
専	講師	岡部　茜 **(31)** ＜平成30年4月＞	学びの発見 コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 心理学 就労支援 社会福祉援助技術現場**実習**指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場**実習**指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場**実習**指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 卒業研究
兼任	**講師**	ロバート　ローズ (66) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	**講師**	織田　顕祐 (65) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	**講師**	朴 一 功 (66) ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	大原 ゆい (42) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa **（削除）** **（削除）** **（削除）** コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb **（削除）** **（削除）** ボランティア論 市民活動論 プロジェクト研究入門Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅰ プロジェクト研究実践Ⅱ プロジェクト研究実践Ⅲ プロジェクト研究実践Ⅳ **（削除）**
専	講師	鎌谷　勇宏 (39) ＜平成30年4月＞	コミュニティデザイン演習Ⅰa コミュニティデザイン演習Ⅰb コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb **（削除）** **（削除）** **（削除）** **（削除）** 社会保障論1 社会保障論2 福祉行財政と福祉計画 社会福祉援助技術演習5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉学特殊演習Ⅰ 社会福祉学特殊演習Ⅱ **（削除）** **プロジェクト研究入門Ⅰ**
専	講師	岡部　茜 **(32)** ＜平成30年4月＞	学びの発見 コミュニティデザイン演習Ⅱa コミュニティデザイン演習Ⅱb コミュニティデザイン演習Ⅲa コミュニティデザイン演習Ⅲb コミュニティデザイン演習Ⅳa コミュニティデザイン演習Ⅳb 心理学 就労支援 社会福祉援助技術現場**実習**指導Ⅰ 社会福祉援助技術現場**実習**指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場**実習**指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 卒業研究
兼任	**講師**	ロバート　ローズ (67) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	**講師**	織田　顕祐 (66) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	**講師**	朴 一 功 (67) ＜平成30年4月＞	日本語表現（入門）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	山下　憲昭 (62) ＜平成30年4月＞	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2
兼担	教授	脇中　洋 (58) ＜平成31年4月＞	犯罪と社会
兼担	教授	渡辺　啓真 (59) ＜平成30年4月＞	情報と倫理
兼担	教授	木越　康 (55) ＜平成31年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	柴田　みゆき (54) ＜平成30年4月＞	情報社会論
兼担	教授	福島　栄寿 (53) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	山下　憲昭 (62) ＜平成30年4月＞	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2 市民活動論 現代社会と福祉１ 現代社会と福祉２
専任	教授	一楽　真 (60) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	教授	脇中　洋 (58) ＜平成31年4月＞	犯罪と社会
兼担	教授	渡辺　啓真 (59) ＜平成30年4月＞	情報と倫理
兼担	教授	木越　康 (55) ＜平成31年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	柴田　みゆき (54) ＜平成30年4月＞	情報社会論
専任	准教授	井上　和久 (56) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	山下　憲昭 (63) ＜平成30年4月＞	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2 市民活動論 （削除） （削除）
専任	教授	山本　貴子 (62) ＜令和元年4月＞	インターンシップ1大学コンソ京都
専任	教授	一楽　真 (61) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	教授	脇中　洋 (59) ＜令和元年4月＞	犯罪と社会
兼担	教授	渡辺　啓真 (60) ＜平成30年4月＞	情報と倫理
兼担	教授	木越　康 (56) ＜令和元年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	柴田　みゆき (55) ＜平成30年4月＞	情報社会論
専任	准教授	井上　和久 (57) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	山下　憲昭 (64) ＜平成30年4月＞	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2 市民活動論 （削除） （削除）
専任	教授	山本　貴子 (63) ＜令和元年4月＞	インターンシップ1大学コンソ京都
専任	教授	一楽　真 (62) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
専任	教授	井上　尚寅 (60) ＜令和2年4月＞	人間学Ⅱ
専任	教授	宮崎　健司 (60) ＜令和2年4月＞	フィールドワーク特殊演習（PBL）
兼担	教授	脇中　洋 (60) ＜令和元年4月＞	犯罪と社会
兼担	教授	渡辺　啓真 (61) ＜平成30年4月＞	情報と倫理
兼担	教授	木越　康 (57) ＜令和元年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	柴田　みゆき (56) ＜平成30年4月＞	情報社会論
専任	准教授	井上　和久 (58) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専任	教授	一楽　真 (63) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
専任	教授	井上　尚寅 (61) ＜令和2年4月＞	人間学Ⅱ
専任	教授	宮崎　健司 (61) ＜令和2年4月＞	フィールドワーク特殊演習（PBL）
兼担	教授	脇中　洋 (61) ＜令和元年4月＞	犯罪と社会
兼担	教授	渡辺　啓真 (62) ＜平成30年4月＞	情報と倫理
兼担	教授	木越　康 (58) ＜令和元年4月＞	仏教社会論
兼担	教授	柴田　みゆき (57) ＜平成30年4月＞	情報社会論
専任	准教授	井上　和久 (59) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤原　正寿 (55) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 部落史論1 部落史論2
兼担	准教授	喜多　恵美子 (51) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	ダシュ　ショパ　ラニ (51) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ
兼担	准教授	三宅　伸一郎 (51) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ PC利用によるレポート・論文技法 ブッダに学ぶ
兼担	准教授	田中　正隆 (50) ＜平成30年4月＞	現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論
兼担	准教授	釆墨　晃 (48) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	井上　摩紀 (49) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	准教授	藤田　義孝 (49) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤原　正寿 (55) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 （削除） （削除）
兼担	准教授	喜多　恵美子 (51) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	ダシュ　ショパ　ラニ (51) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ
兼担	准教授	三宅　伸一郎 (51) ＜平成30年4月＞	（削除） PC利用によるレポート・論文技法 ブッダに学ぶ
兼担	准教授	田中　正隆 (50) ＜平成30年4月＞	現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論
兼担	准教授	釆墨　晃 (48) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	井上　摩紀 (49) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	准教授	藤田　義孝 (49) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤原　正寿 (56) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 （削除） （削除） 仏教社会論
兼担	教授	喜多　恵美子 (52) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	ダシュ　ショパ　ラニ (52) ＜平成30年4月＞	（削除） インドの宗教と文化
兼担	教授	三宅　伸一郎 (52) ＜平成30年4月＞	（削除） PC利用によるレポート・論文技法 ブッダに学ぶ
兼担	准教授	田中　正隆 (51) ＜平成30年4月＞	現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論
兼担	准教授	釆墨　晃 (49) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	井上　摩紀 (50) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	教授	藤田　義孝 (50) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤原　正寿 (57) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 （削除） （削除） 仏教社会論 中国の宗教と文化
兼担	教授	喜多　恵美子 (53) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	准教授	ダシュ　ショパ　ラニ (53) ＜平成30年4月＞	（削除） インドの宗教と文化
兼担	教授	三宅　伸一郎 (53) ＜平成30年4月＞	（削除） PC利用によるレポート・論文技法 （削除）
兼担	准教授	田中　正隆 (52) ＜平成30年4月＞	現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論
兼担	准教授	釆墨　晃 (50) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	教授	井上　摩紀 (51) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	教授	藤田　義孝 (51) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	藤原　正寿 (58) ＜平成30年4月＞	部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 （削除） （削除） 仏教社会論 中国の宗教と文化
兼担	教授	喜多　恵美子 (54) ＜平成30年4月＞	現代朝鮮半島事情
兼担	教授	ダシュ　ショパ　ラニ (54) ＜平成30年4月＞	（削除） インドの宗教と文化 反カースト運動論
兼担	教授	三宅　伸一郎 (53) ＜平成30年4月＞	（削除） PC利用によるレポート・論文技法 （削除）
兼担	准教授	田中　正隆 (53) ＜平成30年4月＞	現代社会論 現代社会とコミュニケーション グローバリゼーション論
兼担	教授	釆墨　晃 (51) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ ブッダに学ぶ
兼担	教授	井上　摩紀 (52) ＜平成30年4月＞	人間関係と身体表現
兼担	教授	藤田　義孝 (52) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（フランス）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	箕浦　暁雄 (48) ＜平成30年4月＞	中国の宗教と文化 反カースト運動論
兼担	准教授	山田　恵文 (47) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	准教授	徳田　剛 (46) ＜平成31年4月＞	社会学概論 社会問題論
兼担	准教授	大秦　一浩 (45) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	藤枝　真 (45) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ ターミナルケア論
兼担	准教授	三浦　誉史加 (45) ＜平成30年4月＞	発想から表現へ 日本語表現（実践）
兼担	准教授	高瀬　淳也 (44) ＜平成30年4月＞	生涯スポーツ・レクリエーション活動
兼担	准教授	廣川　智貴 (44) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	准教授	井黒　忍 (43) ＜平成30年4月＞	東アジアの宗教文化
兼担	講師	新田　智通 (47) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	箕浦　暁雄 (48) ＜平成30年4月＞	中国の宗教と文化 反カースト運動論
兼担	准教授	山田　恵文 (47) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	准教授	徳田　剛 (46) **＜平成30年4月＞**	社会学概論 社会問題論 **地域社会論**
兼担	准教授	大秦　一浩 (45) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	藤枝　真 (45) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ ターミナルケア論
兼担	准教授	三浦　誉史加 (45) ＜平成30年4月＞	**（削除）** 日本語表現（実践）
兼担	准教授	廣川　智貴 (44) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	講師	新田　智通 (47) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	**教授**	箕浦　暁雄 (49) ＜平成30年4月＞	中国の宗教と文化 反カースト運動論
兼担	准教授	山田　恵文 (48) ＜平成30年4月＞	**（削除）** 人間学Ⅱ
兼担	准教授	徳田　剛 (47) **＜平成30年4月＞**	社会学概論 社会問題論 **地域社会論**
兼担	准教授	大秦　一浩 (46) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	藤枝　真 (46) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ ターミナルケア論
兼担	准教授	三浦　誉史加 (46) ＜令和元年4月＞	**（削除）** 日本語表現（実践）
兼担	准教授	廣川　智貴 (45) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	**准教授**	**井黒　忍** **(46)** **＜令和元年4月＞**	**東アジアの宗教文化**
兼担	**准教授**	新田　智通 (48) **＜平成30年4月＞**	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	**准教授**	**藤元　雅文** **(46)** **＜令和元年4月＞**	**仏教社会論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	**教授**	箕浦　暁雄 (50) ＜平成30年4月＞	**（削除）** 反カースト運動論
兼担	准教授	山田　恵文 (49) ＜平成30年4月＞	**（削除）** 人間学Ⅱ
兼担	准教授	徳田　剛 (48) **＜平成30年4月＞**	社会学概論 社会問題論 **地域社会論**
兼担	准教授	大秦　一浩 (47) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	藤枝　真 (47) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ ターミナルケア論
兼担	准教授	三浦　誉史加 (47) ＜令和元年4月＞	**（削除）** 日本語表現（実践）
兼担	准教授	廣川　智貴 (46) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	**准教授**	**井黒　忍** **(46)** **＜令和元年4月＞**	**東アジアの宗教文化** **中国の宗教と文化**
兼担	**准教授**	新田　智通 (49) **＜平成30年4月＞**	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	**准教授**	**藤元　雅文** **(47)** **＜令和元年4月＞**	**仏教社会論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	山田　恵文 (50) ＜平成30年4月＞	**（削除）** 人間学Ⅱ
兼担	准教授	徳田　剛 (49) **＜平成30年4月＞**	社会学概論 社会問題論 **地域社会論**
兼担	准教授	大秦　一浩 (48) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼担	准教授	藤枝　真 (48) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ ターミナルケア論
兼担	准教授	三浦　誉史加 (48) ＜令和元年4月＞	**（削除）** 日本語表現（実践）
兼担	准教授	廣川　智貴 (47) ＜平成30年4月＞	ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）
兼担	**准教授**	**井黒　忍** **(47)** **＜令和元年4月＞**	**東アジアの宗教文化** **中国の宗教と文化**
兼担	**准教授**	新田　智通 (50) **＜平成30年4月＞**	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ
兼担	**准教授**	**藤元　雅文** **(48)** **＜令和元年4月＞**	**仏教社会論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	川端　泰幸 (42) ＜平成30年4月＞	探究基礎演習
兼担	講師	高橋　真 (40) ＜平成31年4月＞	インターンシップ1大学コンソ京都
兼任	講師	諸根　貞夫 (68) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	高谷　修 (64) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譲　西賢 (65) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	本多　義治 (64) ＜平成30年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	牧野　哲治 (64) ＜平成30年4月＞	児童福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	高橋　真 (40) ＜平成31年4月＞	インターンシップ1大学コンソ京都
兼担	助教	野村　実 (27) ＜平成30年4月＞	生活問題論
兼任	講師	諸根　貞夫 (68) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	高谷　修 (64) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譲　西賢 (65) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	本多　義治 (64) ＜平成30年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	牧野　哲治 (64) ＜平成30年4月＞	児童福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	M. J. CONWAY (42) ＜令和元年4月＞	観雪に学ぶ
兼担	講師	野村　実 (28) ＜平成30年4月＞	生活問題論
兼任	講師	諸根　貞夫 (69) ＜平成30年4月＞	日本国憲法1 日本国憲法2 日本国憲法3
兼任	講師	高谷　修 (65) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譲　西賢 (66) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	牧野　哲治 (65) ＜平成30年4月＞	児童福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	M. J. CONWAY (43) ＜令和元年4月＞	観雪に学ぶ
兼担	講師	戸次　顕彰 (38) ＜令和2年4月＞	ブッダに学ぶ
兼担	助教	野村　実 (29) ＜平成30年4月＞	生活問題論
兼任	講師	高谷　修 (66) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譲　西賢 (67) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	牧野　哲治 (66) ＜平成30年4月＞	児童福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	M. J. CONWAY (44) ＜令和元年4月＞	観雪に学ぶ
兼任	講師	野村　実 (30) ＜平成30年4月＞	生活問題論
兼任	講師	高谷　修 (67) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	譲　西賢 (68) ＜平成30年4月＞	こころの科学 人間理解の心理学
兼任	講師	真狩　龍麿 (68) ＜令和3年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	牧野　哲治 (67) ＜平成30年4月＞	児童福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	東　治子 (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	西尾　由利子 (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	松田　美智子 (60) ＜平成31年4月＞	介護概論
兼任	講師	上羽　毅 (59) ＜平成31年4月＞	医学一般 保健医療サービス論
兼任	講師	河原　慶子 (60) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	中尾　都史子 (60) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	山内　小夜子 (58) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜
兼任	講師	青木　惠子 (57) ＜平成30年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	杉本　理 (56) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西尾　由利子 (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	松田　美智子 (60) ＜平成31年4月＞	介護概論
兼任	講師	上羽　毅 (59) ＜平成31年4月＞	医学一般 保健医療サービス論
兼任	講師	河原　慶子 (60) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	中尾　都史子 (60) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	山内　小夜子 (58) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜
兼任	講師	青木　惠子 (57) ＜平成30年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	杉本　理 (56) ＜平成31年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西尾　由利子 (64) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	岡嶋　群二 (63) ＜令和元年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	松田　美智子 (61) ＜令和元年4月＞	介護概論
兼任	講師	上羽　毅 (60) ＜令和元年4月＞	医学一般 保健医療サービス論
兼任	講師	河原　慶子 (61) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	中尾　都史子 (61) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	桂　千章 (60) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	山内　小夜子 (59) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜
兼任	講師	青木　惠子 (58) ＜平成30年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	杉本　理 (57) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西尾　由利子 (65) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	岡嶋　群二 (64) ＜令和元年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	松田　美智子 (62) ＜令和元年4月＞	介護概論
兼任	講師	上羽　毅 (61) ＜令和元年4月＞	医学一般 保健医療サービス論
兼任	講師	河原　慶子 (62) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	中尾　都史子 (62) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	桂　千章 (61) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	山内　小夜子 (60) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜
兼任	講師	青木　惠子 (59) ＜平成30年4月＞	（削除） （削除） 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	杉本　理 (58) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西尾　由利子 (66) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	岡嶋　群二 (65) ＜令和元年4月＞	脳とこころ
兼任	講師	松田　美智子 (63) ＜令和元年4月＞	介護概論
兼任	講師	上羽　毅 (62) ＜令和元年4月＞	医学一般 保健医療サービス論
兼任	講師	河原　慶子 (63) ＜平成30年4月＞	身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任	講師	桂　千章 (62) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	山内　小夜子 (61) ＜平成30年4月＞	アジア侵略と宗教 非戦の系譜
兼任	講師	杉本　理 (59) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	橋本　武也 (57) ＜平成30年4月＞	高齢者福祉 社会福祉施設経営論
兼任	講師	古屋　哲 (56) ＜平成31年4月＞	社会調査論
兼任	講師	山口　祥二 (57) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	吉弘　淳一 (56) ＜平成30年4月＞	社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3
兼任	講師	訓覇　浩 (55) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	本林　靖久 (55) ＜平成31年4月＞	宗教と社会 地域社会論 人と文化
兼任	講師	太田　純 (54) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	木塚　恵子 (53) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	橋本　武也 (57) ＜平成30年4月＞	高齢者福祉 社会福祉施設経営論
兼任	講師	古屋　哲 (56) ＜平成31年4月＞	社会調査論
兼任	講師	山口　祥二 (57) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	吉弘　淳一 (56) ＜平成30年4月＞	社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3
兼任	講師	訓覇　浩 (55) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	本林　靖久 (55) ＜平成31年4月＞	宗教と社会 **（削除）** 人と文化
兼任	講師	太田　純 (54) ＜平成31年4月＞	**（削除）** 英語Ⅱ
兼任	講師	木塚　恵子 (53) ＜平成30年4月＞	**（削除）** 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	橋本　武也 (58) ＜平成30年4月＞	高齢者福祉 社会福祉施設経営論
兼任	講師	古屋　哲 (57) ＜令和元年4月＞	社会調査論
兼任	講師	山口　祥二 (58) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	吉弘　淳一 (57) ＜平成30年4月＞	社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3
兼任	講師	訓覇　浩 (56) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	本林　靖久 (56) ＜令和元年4月＞	宗教と社会 **（削除）** 人と文化
兼任	**講師**	**朴　仁叡** **(56)** **＜令和元年4月＞**	**公的扶助論** **社会福祉援助技術演習2**
兼任	講師	太田　純 (55) **＜令和元年4月＞**	**（削除）** 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	橋本　武也 (59) ＜平成30年4月＞	高齢者福祉 社会福祉施設経営論
兼任	講師	古屋　哲 (58) ＜令和元年4月＞	社会調査論
兼任	講師	山口　祥二 (59) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	吉弘　淳一 (58) ＜平成30年4月＞	社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3
兼任	**講師**	**丹羽　徹** **(59)** **＜令和2年4月＞**	**日本国憲法1** **日本国憲法2** **日本国憲法3**
兼任	講師	訓覇　浩 (57) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	本林　靖久 (57) ＜令和元年4月＞	宗教と社会 **（削除）** 人と文化
兼任	**講師**	**朴　仁叡** **(57)** **＜令和元年4月＞**	**公的扶助論** **（削除）**
兼任	講師	太田　純 (56) **＜令和元年4月＞**	**（削除）** 英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	古屋　哲 (59) ＜令和元年4月＞	社会調査論
兼任	講師	山口　祥二 (60) ＜平成30年4月＞	古都の歴史と文化
兼任	講師	吉弘　淳一 (59) ＜平成30年4月＞	社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3
兼任	**講師**	**丹羽　徹** **(59)** **＜令和2年4月＞**	**日本国憲法1** **日本国憲法2** **日本国憲法3**
兼任	講師	訓覇　浩 (58) ＜平成30年4月＞	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任	講師	本林　靖久 (58) ＜令和元年4月＞	宗教と社会 **（削除）** 人と文化
兼任	**講師**	**朴　仁叡** **(58)** **＜令和元年4月＞**	**公的扶助論** **（削除）** **相談援助の運論と方法4** **社会福祉援助技術演習3** **社会福祉援助技術演習4**
兼任	**講師**	**杉原　優子** **(58)** **＜令和3年4月＞**	**社会福祉施設経営論** **高齢者福祉**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	堅田　理 (52) ＜平成30年4月＞	仏教と美術
兼任	講師	西田　廣和 (52) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	三木　彰円 (52) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (52) ＜平成30年4月＞	画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	河井　純子 (51) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	笠原　俊典 (50) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	講師	川田　耕 (50) ＜平成31年4月＞	文化社会学 社会学史
兼任	講師	福山　幸子 (50) ＜平成30年4月＞	カウンセリング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	宮前　千穂子 (53) ＜平成30年4月＞	部落史論１ 部落史論２
兼任	講師	堅田　理 (52) ＜平成30年4月＞	仏教と美術
兼任	講師	西田　廣和 (52) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	三木　彰円 (52) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (52) ＜平成30年4月＞	画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	河井　純子 (51) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	笠原　俊典 (50) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	講師	川田　耕 (50) ＜平成31年4月＞	文化社会学 社会学史
兼任	講師	福山　幸子 (50) ＜平成30年4月＞	カウンセリング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	宮前　千穂子 (54) ＜平成30年4月＞	部落史論１ 部落史論２
兼任	講師	堅田　理 (53) ＜平成30年4月＞	仏教と美術
兼任	講師	西田　廣和 (53) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	松田　美樹 (53) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼担	教授	三木　彰円 (53) ＜平成30年4月＞	（削除） インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (53) ＜平成30年4月＞	画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	河井　純子 (52) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	笠原　俊典 (51) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	講師	福山　幸子 (51) ＜令和元年4月＞	カウンセリング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	宮前　千穂子 (55) ＜平成30年4月＞	部落史論１ 部落史論２
兼任	講師	堅田　理 (54) ＜平成30年4月＞	仏教と美術
兼任	講師	西田　廣和 (54) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	松田　美樹 (54) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼担	教授	三木　彰円 (54) ＜平成30年4月＞	（削除） インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (54) ＜平成30年4月＞	画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	河井　純子 (53) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	笠原　俊典 (52) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	講師	福山　幸子 (52) ＜令和元年4月＞	カウンセリング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	宮前　千穂子 (56) ＜平成30年4月＞	部落史論１ 部落史論２
兼任	講師	田中　浩 (56) ＜令和3年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	堅田　理 (55) ＜平成30年4月＞	仏教と美術
兼任	講師	西田　廣和 (55) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	松田　美樹 (55) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ
兼担	教授	三木　彰円 (55) ＜平成30年4月＞	（削除） インドの宗教と文化
兼任	講師	山城　稔暢 (55) ＜平成30年4月＞	画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	河井　純子 (54) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	笠原　俊典 (53) ＜平成30年4月＞	仏教福祉論
兼任	講師	福山　幸子 (53) ＜令和元年4月＞	カウンセリング

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	田中　智子 (49) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	講師	種子田　香 (49) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	濱島(宮川)淑恵 (49) ＜平成32年4月＞	相談援助の理論と方法4 社会福祉援助技術演習4
兼任	講師	池末　陽子 (48) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	滋野　浩毅 (48) ＜平成30年4月＞	公共政策概論1 公共政策概論2
兼任	講師	杉山　正治 (48) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間　芳樹 (48) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	森　禎弘 (48) ＜平成31年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (46) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	田中　智子 (49) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	講師	種子田　香 (49) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	濱島(宮川)淑恵 (49) ＜平成32年4月＞	相談援助の理論と方法4 社会福祉援助技術演習4
兼任	講師	池末　陽子 (48) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ
兼任	講師	滋野　浩毅 (48) ＜平成30年4月＞	公共政策概論1 公共政策概論2
兼任	講師	杉山　正治 (48) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間　芳樹 (48) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (46) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	田中　智子 (50) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	講師	濱島(宮川)淑恵 (50) ＜令和2年4月＞	相談援助の理論と方法4 社会福祉援助技術演習4
兼任	講師	杉山　正治 (49) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間　芳樹 (49) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	江南　健志 (48) ＜令和元年4月＞	社会学
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (47) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	田中　智子 (51) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	講師	杉山　正治 (50) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間　芳樹 (50) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	江南　健志 (49) ＜令和元年4月＞	社会学
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (48) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	田中　智子 (52) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	講師	杉山　正治 (51) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間　芳樹 (51) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	江南　健志 (50) ＜令和元年4月＞	社会学
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (49) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	西田　彩 (53) ＜令和3年4月＞	人間学Ⅱ
兼任	講師	田中　智子 (53) ＜平成30年4月＞	近代日本とアジア
兼任	講師	杉山　正治 (52) ＜平成30年4月＞	PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間　芳樹 (52) ＜平成30年4月＞	思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	江南　健志 (51) ＜令和元年4月＞	社会学
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (50) ＜令和元年4月＞	英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	日高　周平 (47) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	松木　宏史 (47) ＜平成32年4月＞	権利擁護と成年後見制度
兼任	講師	鶴見　晃 (47) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	船本　淑恵 (46) ＜平成30年4月＞	障害者福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	佐久間　思帆 (45) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	横澤　大典 (45) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (44) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用
兼任	講師	清水　洋平 (44) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	日高　周平 (48) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	松木　宏史 (47) ＜平成32年4月＞	権利擁護と成年後見制度
兼任	講師	鶴見　晃 (47) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	船本　淑恵 (46) ＜平成30年4月＞	障害者福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	佐久間　思帆 (45) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	横澤　大典 (45) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (44) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用
兼任	講師	清水　洋平 (44) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	日高　周平 (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	松木　宏史 (47) ＜令和2年4月＞	権利擁護と成年後見制度
兼任	講師	鶴見　晃 (48) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	船本　淑恵 (47) ＜平成30年4月＞	障害者福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	佐久間　思帆 (46) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ **（削除）**
兼任	**講師**	**瀧岡　修** **(46)** **＜令和元年4月＞**	**人間学Ⅱ**
兼任	講師	横澤　大典 (46) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (45) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用
兼任	講師	清水　洋平 (45) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	日高　周平 (50) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	松木　宏史 (47) ＜令和2年4月＞	権利擁護と成年後見制度
兼任	講師	鶴見　晃 (49) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	船本　淑恵 (48) ＜平成30年4月＞	障害者福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	佐久間　思帆 (47) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ **（削除）**
兼任	**講師**	**瀧岡　修** **(47)** **＜令和元年4月＞**	**人間学Ⅱ**
兼任	講師	横澤　大典 (47) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (46) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用
兼任	講師	清水　洋平 (46) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	**講師**	**丹波　史紀** **(46)** **＜令和2年4月＞**	**社会政策論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	日高　周平 (51) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ
兼任	講師	松木　宏史 (48) ＜令和2年4月＞	権利擁護と成年後見制度
兼任	講師	鶴見　晃 (50) ＜平成30年4月＞	部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	船本　淑恵 (49) ＜平成30年4月＞	障害者福祉 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	横澤　大典 (48) ＜平成30年4月＞	ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田　教司 (47) ＜平成30年4月＞	PCミュージック入門 PCミュージック応用 **PC利用によるレポート・論文技法**
兼任	講師	清水　洋平 (47) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	**講師**	**長野　真奈** **(47)** **＜令和3年4月＞**	**心理療法と教育**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	伊村　大樹 (43) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	長友　薫輝 (43) ＜平成31年4月＞	社会福祉調査論
兼任	講師	西本　祐攝 (43) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 親鸞に学ぶ
兼任	講師	松本(増田)聡子 (42) ＜平成31年4月＞	相談援助の理論と方法2 相談援助の理論と方法3
兼任	講師	三上　禎次 (43) ＜平成30年4月＞	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
兼任	講師	桑原(多田)桃音 (40) ＜平成31年4月＞	現代家族論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	伊村　大樹 (43) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	長友　薫輝 (43) ＜平成31年4月＞	社会福祉調査論
兼任	講師	西本　祐攝 (43) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ 親鸞に学ぶ
専任	講師	平愛　聡 (43) ＜平成30年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	松本(増田)聡子 (42) ＜平成30年4月＞	相談援助の理論と方法2 相談援助の理論と方法3
兼任	講師	三上　禎次 (43) ＜平成30年4月＞	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
専任	講師	清水　利明 (42) ＜平成30年4月＞	発想から表現へ
兼任	講師	桑原(多田)桃音 (40) ＜平成31年4月＞	現代家族論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	伊村　大樹 (44) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
兼任	講師	西本　祐攝 (44) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ （削除）
専任	講師	伴　宙 (44) ＜令和元年4月＞	情報マーケティング論
専任	講師	平愛　聡 (44) ＜平成30年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	松本(増田)聡子 (43) ＜令和元年4月＞	相談援助の理論と方法2 相談援助の理論と方法3
兼任	講師	三上　禎次 (44) ＜平成30年4月＞	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
専任	講師	清水　利明 (43) ＜平成30年4月＞	発想から表現へ
兼任	講師	桑原(多田)桃音 (41) ＜令和元年4月＞	現代家族論
専任	講師	近藤　雄生 (42) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	伊村　大樹 (45) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
専任	准教授	西本　祐攝 (45) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ （削除）
専任	講師	伴　宙 (45) ＜令和元年4月＞	情報マーケティング論
専任	講師	平愛　聡 (45) ＜平成30年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	松本(増田)聡子 (44) ＜令和元年4月＞	相談援助の理論と方法2 相談援助の理論と方法3
兼任	講師	三上　禎次 (45) ＜平成30年4月＞	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
専任	講師	清水　利明 (44) ＜平成30年4月＞	発想から表現へ
兼任	講師	桑原(多田)桃音 (42) ＜令和元年4月＞	現代家族論
専任	講師	近藤　雄生 (43) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専任	講師	柳生　利憲 (47) ＜令和3年4月＞	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2
兼任	講師	伊村　大樹 (46) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰ （削除）
専任	准教授	西本　祐攝 (46) ＜平成30年4月＞	人間学Ⅱ （削除）
専任	講師	伴　宙 (46) ＜令和元年4月＞	情報マーケティング論
専任	講師	平愛　聡 (46) ＜平成30年4月＞	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	松本(増田)聡子 (45) ＜令和元年4月＞	相談援助の理論と方法2 相談援助の理論と方法3
兼任	講師	三上　禎次 (46) ＜平成30年4月＞	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
専任	講師	清水　利明 (45) ＜平成30年4月＞	発想から表現へ
兼任	講師	桑原(多田)桃音 (43) ＜令和元年4月＞	現代家族論
専任	講師	近藤　雄生 (44) ＜令和元年4月＞	人間学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	中村　真里絵 (40) ＜平成30年4月＞	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村　洋平 (40) ＜平成30年4月＞	教育学2
兼任	講師	藤井　渉 (39) ＜平成30年4月＞	社会政策論
兼任	講師	高　誠晩 (38) ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木島　葉葉子 (37) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	中村　真里絵 (40) ＜平成30年4月＞	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村　洋平 (40) ＜平成30年4月＞	教育学2
兼任	講師	藤井　渉 (39) ＜平成30年4月＞	社会政策論
兼任	講師	高　誠晩 (38) ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木島　葉葉子 (37) ＜平成31年4月＞	英語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	中村　真里絵 (41) ＜平成30年4月＞	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村　洋平 (41) ＜平成30年4月＞	教育学2
兼任	講師	藤井　渉 (40) ＜平成30年4月＞	社会政策論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	中村　真里絵 (42) ＜平成30年4月＞	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村　洋平 (42) ＜平成30年4月＞	教育学2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	中村　真里絵 (43) ＜平成30年4月＞	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村　洋平 (43) ＜平成30年4月＞	教育学2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	竹内 早耶香 (36) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	上田　早記子 (35) ＜平成31年4月＞	情報マーケティング論 社会福祉援助技術演習4 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	志賀　信夫 (35) ＜平成30年4月＞	生活問題論 公的扶助論
兼任	講師	中田　千穂 (35) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ）
兼任	講師	安田(大塚)恵美 (34) ＜平成31年4月＞	司法福祉論
兼任	講師	岡崎　沙織 (34) ＜平成30年4月＞	教育学1
兼任	講師	児島　庸介 (31) ＜平成30年4月＞	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	竹内 早耶香 (36) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	上田　早記子 (35) ＜平成31年4月＞	情報マーケティング論 社会福祉援助技術演習4 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	志賀　信夫 (35) ＜平成30年4月＞	（削除） 公的扶助論
兼任	講師	中田　千穂 (35) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ） 生涯スポーツ・レクリエーション活動
兼任	講師	安田(大塚)恵美 (34) ＜平成31年4月＞	司法福祉論
兼任	講師	岡崎　沙織 (34) ＜平成30年4月＞	教育学1

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	竹内 早耶香 (37) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	上田　早記子 (37) ＜令和2年4月＞	（削除） 社会福祉援助技術演習4 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	中田　千穂 (36) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ） （削除）
兼任	講師	安田(大塚)恵美 (35) ＜令和元年4月＞	司法福祉論
兼任	講師	岡崎　沙織 (35) ＜平成30年4月＞	教育学1

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	竹内 早耶香 (38) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	上田　早記子 (37) ＜令和2年4月＞	（削除） 社会福祉援助技術演習4 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	中田　千穂 (37) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ） （削除）
兼任	講師	安田(大塚)恵美 (36) ＜令和元年4月＞	司法福祉論
兼任	講師	岡崎　沙織 (36) ＜平成30年4月＞	教育学1
兼任	講師	松元　佑 (35) ＜令和2年4月＞	社会福祉調査論
兼任	講師	筒井　香 (33) ＜令和2年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	竹内 早耶香 (39) ＜平成30年4月＞	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	金森　健輔 (39) ＜令和3年4月＞	青年と社会教育
兼任	講師	上田　早記子 (38) ＜令和2年4月＞	（削除） 社会福祉援助技術演習4 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習
兼任	講師	中田　千穂 (38) ＜平成30年4月＞	障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ（障害者スポーツ） 身体活動Ⅱ（障害者スポーツ） （削除）
兼任	講師	岡崎　沙織 (37) ＜平成30年4月＞	教育学1
兼任	講師	松元　佑 (36) ＜令和2年4月＞	社会福祉調査論
兼任	講師	筒井　香 (34) ＜令和2年4月＞	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	山東　綾乃 (29) ＜平成30年4月＞	相談援助の理論と方法1 社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習5

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	複野　亮介 (33) ＜平成30年4月＞	東アジアの宗教文化
兼任	講師	古俣　慎也 (30) ＜平成30年4月＞	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学
兼任	講師	山東　綾乃 (29) ＜平成30年4月＞	相談援助の理論と方法1 社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習5

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	山東　綾乃 (30) ＜平成30年4月＞	相談援助の理論と方法1 社会福祉援助技術演習1 （削除） 社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習5
兼任	講師	大高　千明 (29) ＜令和元年4月＞	生涯スポーツ・レクリエーション活動

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	山東　綾乃 (31) ＜平成30年4月＞	相談援助の理論と方法1 社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 社会福祉援助技術演習3 社会福祉援助技術演習5
兼任	講師	大高　千明 (30) ＜令和元年4月＞	生涯スポーツ・レクリエーション活動
兼任	講師	粉川　尚枝 (29) ＜令和2年4月＞	心理療法概論 心理療法と教育
兼任	講師	奥村　旅人 (28) ＜令和2年4月＞	青年と社会教育 社会福祉と社会教育

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	山東　綾乃 (32) ＜平成30年4月＞	相談援助の理論と方法1 社会福祉援助技術演習1 社会福祉援助技術演習2 （削除） （削除）
兼任	講師	伊藤　寛 (32) ＜令和3年4月＞	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学
兼任	講師	高橋　康史 (32) ＜令和3年4月＞	司法福祉論
兼任	講師	大高　千明 (31) ＜令和元年4月＞	生涯スポーツ・レクリエーション活動
兼任	講師	粉川　尚枝 (30) ＜令和2年4月＞	心理療法概論 （削除）
兼任	講師	中村　友香 (30) ＜令和3年4月＞	社会福祉と社会教育

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。</u>**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**<u>それぞれの年度の５月１日時点の満年齢</u>**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・学科専門科目「フィールドワーク技法基礎」の担当を専任講師に変更。
・共通基礎科目「学びの発見」の担当を専任講師に変更。
・現代総合科目「探究基礎演習」の担当を専任教授に変更。
・学科専門科目「市民活動論」を旧学科と共通で開講することから、専任講師のみの担当に加え旧学科兼担教授の担当を追加。
・共通基礎科目「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」の担当を専任教授に変更。
・共通基礎科目「人間学Ⅰ」の担当を専任教授に変更。
・共通基礎科目「人間学Ⅱ」の担当を専任准教授に変更。
・現代総合科目「部落史論１・２」の担当を兼任講師に変更。
・現代総合科目「発想から表現へ」の担当を兼任講師に変更。
・共通基礎科目「英語Ⅰ」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「PC利用による表計算入門・応用」の担当を他の兼任講師に変更。
・学科専門科目「大衆文化論」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「生涯スポーツ・レクリエーション」の担当を兼任講師に変更。
・現代総合科目「東アジアの宗教文化」の担当を他の兼任講師に変更。
・現代総合科目「生命のしくみと多様性」「自然と生物の科学」の担当を他の兼任講師に変更。

【令和元年度】

【兼担教員の追加】
・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加：
四方　保仁（兼担 准教授）、藤元　雅文（兼担 准教授）
・専任担当者の担当コマ数の事情（旧学科科目の担当開講科目数の増加）により別の専任教員に担当を変更したことに伴う担当者追加：
髙橋　真（兼担　講師）→山本　貴子（兼担 教授）、M.J.CONWAY（兼担 講師）
・兼任担当者の就任辞退に伴う担当者変更による担当者追加：井黒　忍（兼担 准教授）
【兼担教員の昇格】
喜多　恵美子　准教授→教授（18年度訂正漏れ）、三宅　伸一郎　准教授→教授（18年度訂正漏れ）、新田　智通　講師→准教授（18年度訂正漏れ）、
井上　摩紀　准教授→教授、藤田　義孝　准教授→教授、箕浦　暁雄　准教授→教授
【兼担教員の定年退職】
R.F.RHODES　兼担　教授→兼任　講師、朴　一功　兼担　教授→兼任　講師
【兼任教員の就任辞退】
・本人の都合による就任辞退：本多　義治、木塚　恵子、種子田　香、池末　陽子、滋野　浩毅、長友　薫輝、高　誠晩、木島　菜菜子、志賀　信夫、濱野　亮介、
古俣　慎也
【兼任教員の追加】
・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加：桂　千草、蓮岡　修、近藤　雄生、上野　牧生
・就任辞退となった兼任教員の補填：岡嶋　詳二、朴　仁淑、松田　美樹、江南　健志、伴　宙、藤原　由美、藤澤　知親、久保　友美、大高　千明
【兼任教員の所属変更】
三木　彰円　兼任　講師→兼担　教授
【誤記訂正】
【前年度の誤記】
・喜多恵美子　准教授→教授
・三宅伸一郎　准教授→教授
・新田　智通　講師→准教授
・川田　耕　→削除

【令和２年度】

【専任教員の退職】
荒瀬　克己　兼担　→　退職（自己都合）
織田　顕祐　兼担　→　兼任（定年退職）
【専任教員の所属変更】
上野　牧生　兼任　→　兼担
西本　祐攝　兼任　→　兼担
【兼担教員の昇格】
西本　祐攝　講師　→　准教授
【兼担教員の追加】
井上　尚実（コマ数調整のため）
戸次　顕彰（コマ数調整のため）
宮﨑　健司（新規科目開講のため）
【兼任教員の退職】
諸根　貞夫　兼任　→　退職（定年退職）
濱島　淑恵　兼任　→　退職（自己都合）
藤井　渉　兼任　→　退職（自己都合）
久保　友美　兼任　→　退職（自己都合）
【兼任教員の追加】
奥村　旅人　当該学部科目を新たに担当（新規科目開講のため）
風岡　宗人　採用（退職教員の補填のため）
粉川　尚枝　当該学部科目を新たに担当（新規科目開講のため）
丹波　史紀　採用（退職教員の補填のため）
筒井　香　採用（兼任教員の担当科目辞退の補填のため）
丹羽　徹　採用（退職教員の補填のため）
松元　佑　採用（退職教員の補填のため）
小村　絹恵　当該学部科目を新たに担当（退職教員の補填のため）

【令和３年度】

【兼担教員の昇格】
DASH SHOBHA　准教授　→　教授、采睿　晃　准教授　→　教授、M.J.CONWAY　講師　→　准教授

【兼担教員の退職】
山下　憲昭（定年退職）、野村　実（任期満了）

【兼担教員の担当変更】
山本　貴子（担当コマ数調整のため）、四方　保仁（担当コマ数調整のため）、三宅　伸一郎（担当コマ数調整のため）、箕浦　暁雄（担当コマ数調整のため）、戸次　顕彰（担当コマ数調整のため）

【兼任教員の担当変更】
中尾　都史子（自己都合による退職）、青木　惠子（自己都合による退職）、橋本　武也（自己都合による退職）、太田　純（自己都合による担当辞退）、佐久間　思帆（自己都合による担当辞退）、蓮岡　修（自己都合による退職）、丹波　史紀（自己都合による退職）、小村　絹恵（自己都合による退職）、藤澤　知親（自己都合による退職）、安田(大塚)　恵美（自己都合による退職）、奥村　旅人（自己都合による担当辞退）

【兼担教員の追加】
浅若　裕彦（前任者（兼担）担当コマ数調整のため）、安田　誠人（前任者（兼担）定年退職のため）

【兼任教員の追加】
野村　実（助教任期満了に伴い兼任講師として新たに採用）、真城　義麿（前任者（兼担）担当コマ数調整のため）、杉原　優子（採用／前任者（兼任）退職のため）、田中浩（前任者（兼任）担当辞退のため）、西田　彩（採用／前任者（兼任）退職のため）、長野　真奈（採用／前任者（兼任）担当辞退のため）、柳生　利恵（採用／前任者（兼任）退職のため）、金森　謙輔（採用／前任者（兼任）担当辞退のため）、伊藤　真（採用／前任者（兼任）退職のため）、高橋　康史（採用／前任者（兼任）退職のため）、中村　友香（採用／前任者（兼任）担当辞退のため）

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
１０ 名	５ 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
５	３	３	０	１１	０	５	３	３	０	１１	０
（５）	（３）	（３）	（０）	（１１）	（０）						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
５	３	３	０	１１	０	５	３	３	０	１１	０
［０］	［０］	［０］	［０］	［０］	［０］	［０］	［０］	［０］	［０］	［０］	［０］

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
６５ 歳	０ 名	０ 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{11} = \boxed{100}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{\#DIV/0!}}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計（D）		後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0　人	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	
	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	
	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	
	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					

合計（F）		後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0　人	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	
	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	
	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	
	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）		後任補充状況の集計（E）＋（G）			
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0　人	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	
	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	
	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	
	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{11} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0　人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （平成30年4月）	①大谷大学文学部文学科の入学定員超過の是正に努めること ②大谷大学短期大学部仏教科及び九州大谷短期大学福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	①平成29年度の超過率が1.61倍となってことについて、入学定員の厳格化に努め、平成30年度は0.91倍となった。 ②大谷大学短期大学部仏教科については、その教育機能を文学部へ発展的に統合し、平成30年度より学生募集を停止することとした。 九州大谷短期大学福祉学科については、学生募集の強化に努めるも0.34倍という結果になった。さらなる募集強化の取り組みを進めるとともに、入学定員の適正化を図るべき準備を進める。	履行中	九州大谷短期大学福祉学科については、入学者支援を含めた募集強化の取り組みを進めるとともに、入学定員の適正化を図るべき準備を進める。
設置計画履行状況調　査　時 （平成３０年）	「該当なし」				
設置計画履行状況調　査　時 （令和元年）	「該当なし」				
設置計画履行状況調　査　時 （令和２年）	「該当なし」				

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜社会学部　コミュニティデザイン学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし。	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

教務委員会「ＦＤ部会」

全学をあげて取り組む姿勢を明確にするため、教務委員会の中にカリキュラムの検討を中心とする「教務部会」と、ＦＤ活動を中心とする「ＦＤ部会」とを2007年度に設置。ＦＤ活動とカリキュラムの連携を図りながら、取り組みを進めている。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

本学として必要なＦＤ活動を検討するＦＤ部会を年４回程度開催。

ｃ　委員会の審議事項等

ＦＤ部会の審議及び推進事項（教務委員会規程第3条第2号）

ア　教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)

イ　授業評価アンケートの活用

ウ　FDに係る研究会及び研修会の実施

エ　FDに係る調査及び研究

オ　その他FDに関すること

②　実施状況

ａ　実施内容

ＦＤ部会活動内容

・　新任教員向けFD研修会の実施

・　授業評価アンケートの活用による授業優秀賞・事情確認科目の検討、事情確認対象科目担当者への確認

・　授業優秀賞受賞科目の授業公開の実施

・　全学的な教職員向けFD研修会とミニFD研修会（教授会内研修）の実施

・　他大学・団体等との連携、他団体研修会等の参加及び部会内での報告

・「授業計画（シラバス）」の記載内容確認及び修正が必要な科目の内容修正依頼

ｂ　実施方法

全学的な研修会や授業公開については、非常勤講師も含め実施を告知。対象者が限定されるものについては、原則、対象者全員参加として呼びかけている。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

＊新型コロナウィルス感染拡大防止のため、政府・自治体の要請に従い、活動の一部を縮小して実施（2020年度実績）

・　新任教員向けFD研修会（2020年10月7日実施）

・　授業評価アンケートの活用（2020年9月17日・2021年3月17日FD部会にて検討・決定）

・　授業公開の実施（2020年11月18日～12月17日に開催：対象科目4科目）

・　ミニFD研修会の実施（2020年11月11日開催、「シラバス作成について」）

・　「授業計画（シラバス）」の記載内容の確認（2021年2月実施）

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会や懇話会を開催することにより、本学学生の実情を把握し、本学の教育理念や育成する学生像の共有を図り、継続的な授業改善に取り組むことの意識付けを行っている。

個々の授業担当者の資質向上を図るために、「学生による授業評価アンケート」を活用し、振り返りをおこなっている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

「学生による授業評価アンケート」を、本学の内部質保証に係るＦＤとして、本学の教育システムの不断の点検・改善に役立てると同時に、授業担当者が日頃の教育活動の成果を確認し、今後の授業改善の参考資料として活用するために、全学を対象に実施している。前期については、６月下旬から７月上旬に実施、後期については、１２月上旬から１２月中旬にかけて実施。

また、2020年度前期については、アンケート内容を「オンライン授業の実施について＿学生アンケート」と変更し実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

授業評価アンケート結果については、各授業担当者に科目ごとに報告される。アンケート内容は、Ⅰ．回答者の属性　Ⅱ．授業における受講生の取り組みについて、Ⅲ．授業内容や担当教員の授業運営について、Ⅳ．総合的評価、Ⅴ．自由記述からなっており、数値やグラフにして提供している。

受講学生に対しては、学内ネットワーク上に科目ごとの評価結果を公開し、自由に閲覧できるようになっている。また、大学全体及び学部ごとの評価結果を大学ＨＰ上に公開し、社会一般からの閲覧に供している。

公開の時期は、ともに前期が９月から１０月頃、後期が３月頃に公開をおこなっている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建学の理念を仏教、殊に浄土真宗に据え、いかなる時代・社会の状況においても、自己と人間の課題を深く見つめ、人間の立脚地を考えつづける姿勢をその学びの根幹においてきた。つまり、自己の信念の確立を建学の理念として掲げ、学修、研究をすすめてきた。その達成の状況は、建学の理念、教育目標のもとに各方針、教育内容やその方法等を体系的に関連づけた体制として構築し、各学部・学科、各研究科・専攻とも学生に対する教育、研究指導を充全に実施しており、そのことは、平成27年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、同協会の大学基準に適合していると認定された。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・７月下旬頃

ｂ　公表方法

・大学運営会議構成員（各学部・研究科長、並びに事務部長含む）に報告書を配付

・大学ホームページ上に公開

③　認証評価を受ける計画

・令和４年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受ける予定で準備を進めている。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和３年度）

ａ　公表予定の有無　〔　有　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ　公表（予定）時期　〔　調査結果公表後１ヶ月以内　・　公表後２～３ヶ月以内　・　公表後３ヶ月以降　〕

ｃ　公表方法　〔　ウェブサイトへの掲載　・　その他（　　）　〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○教務委員会規程

2002 年 3 月 4 日　制定

(設置)

第 1 条　大谷大学及び大谷大学短期大学部(以下「本学」という。)に、教育・学生支援担当副学長の教務に関する補佐機関として、教務委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

第 2 条　委員会は、教育推進室と連携し、教育課程及び教育方法等の改善を図るとともに、FD(ファカルティ・ディベロップメント)活動を推進し、もって大学教育の充実と発展を図ることを目的とする。

(審議及び推進事項)

第 3 条　前条の目的を達成するために、委員会に部会を置き、次の事項について審議し、その推進にあたる。

(1)　教務部会

ア　教育課程改善のための具体案

イ　教育課程に付随する諸制度(成績評価、単位認定、進級、登録等)

ウ　開講科目、開講形態及び履修方法

エ　その他教務に関すること。

(2)　FD 部会

ア　教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)

イ　授業評価アンケートの活用

ウ　FD に係る研究会及び研修会の実施

エ　FD に係る調査及び研究

オ　その他 FD に関すること。

(構成)

第 4 条　委員会は、次の者をもって構成する。

(1)　委員長　1 名

(2)　部会長　2 名

(3)　委員　若干名

(4)　学生支援部事務部長

(5)　学生支援部教務課長

2　委員長、部会長及び委員は、本学専任教育職員のうちから教育・学生支援担当副学長が推薦する者を学長が委嘱し、任期は 2 年とする。ただし、再任は妨げない。

3　委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

（所管）

第 5 条　委員会に関する事務の所管は、学生支援部教務課とする。

（改廃）

第 6 条　この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が決定する。

付　則

この規程は、2002 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 4 条第 1 項第 3 号に定める「教務部事務部長」は、2002 年 5 月 31 日までは、「教務部教務課長」と読み替えるものとする。

付　則

この規程は、2007 年 2 月 13 日一部改正し、2007 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この規程は、2008 年 6 月 18 日一部改正し、2008 年 6 月 1 日に遡及して施行する。

付　則

この規程は、2012 年 2 月 1 日に一部改正し、2012 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この規程は、2013 年 2 月 25 日に一部改正し、2013 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この規程は、2015 年 3 月 11 日に一部改正し、2015 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この規程は、2016 年 3 月 10 日に一部改正し、2016 年 4 月 1 日から施行する。